

# 目次

## 郡山市立美術館年報 平成31年度・令和元年度

### 目次

<b>I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格</b>	2
<b>II 展覧会事業</b>	3
1) 常設展	4
2) 企画展	19
<b>III 教育普及事業</b>	42
1) アート・トーク	42
2) 講演会	42
3) 美術講座	43
4) ギャラリートーク	43
5) ワークショップ	43
6) ミュージアム・シアター	45
7) グリーティング・イベント	45
8) 学校との連携事業	46
9) 対外協力	47
10) 図書資料・視聴覚資料	48
11) 刊行物	48
12) 館外での活動及び関連記事・報道	49
<b>IV 作品収集・保存管理事業</b>	51
1) 新収蔵作品・美術資料一覧	51
2) 収蔵作品貸出状況	55
3) 収蔵作品修復状況	57
<b>V 利用者数</b>	60
1) 展覧会	60
2) 教育普及事業	61
3) 過去5年間の利用者数の推移状況	62
4) 教育普及事業別参加者数の推移状況	62
<b>VI 管理運営</b>	63
1) 関係法規	63
2) 名簿・組織	67
3) 建築設備概要・平面図・面積表	68
4) 利用案内	72

## I 沿革・郡山市立美術館の目的と性格

### 沿革

1981（昭和56）年9月	美術館建設懇談会設置
1982（昭和57）年2月	美術館基本構想懇話会設置
1983（昭和58）年3月	「郡山市美術館基本構想」答申
1985（昭和60）年12月	美術品取得基金条例公布・施行
1987（昭和62）年4月	美術館建設準備室設置
1987（昭和62）年6月	郡山市立美術館建設検討委員会設置
1988（昭和63）年1月	美術館建設場所決定
1989（平成元）年11月	美術館建設設計競技審査会開催
1990（平成2）年1月	収蔵美術品特別展示開催（於：郡山市民文化センター） （株）TAK建設・都市計画研究所の設計案当選（同社に設計を委託）
1990（平成2）年3月	美術館建設基本設計完了
1990（平成2）年10月	美術館建設実施設計完了
1990（平成2）年12月	美術館建設工事着工
1992（平成4）年6月	美術館建設本体工事完了
1992（平成4）年7月	郡山市立美術館条例施行 美術館建設準備室を解散して美術館としてスタート
1992（平成4）年11月	美術館建設外構工事完了 11月21日 美術館開館
2017（平成29）年10月1日	改修工事のため休館
2018（平成30）年7月7日	再オープン

### 郡山市立美術館の目的と性格

郡山市立美術館は、「市民がすぐれた美術作品に接することにより美術文化に対する深い理解と親しみを持ち、より豊かな市民生活を享受できる場とするとともに、郷土ゆかりの美術作品、国際的視野と高い水準をもった美術作品及び美術資料を収集・保存・展示して市民文化の向上を図る」という構想のもとに建設が計画された。

作品の収集は、①イギリス近代美術、②日本近代美術、③郷土ゆかりの美術、④本（版）の美術という柱をもっておこなわれている。特にイギリス近代美術について、体系的に収集したコレクションはこれまでの国内の美術館においても例を見ないもので、内外の大きな評価を得ている。

今後についても、この特色あるコレクションの一層の充実を図りつつ、調査研究、展示、教育普及など多彩な活動をおこなっていく。

また、郡山市街から安達太良山までを一望できる緑豊かな丘陵地の自然を背景とした恵まれた立地条件を十分に生かし、多くの方々にやすらぎを与える場とするために、整備していく。

## Ⅱ 展覧会事業 (令和2年2月1日(土)～29日(土) 諸設備点検等のため休館)

### 1) 常設展

平成31年度・令和元年度 第1期 平成31年4月24日～令和元年7月21日

1.ホガースvsアカデミシャン 2.日本水彩画の魅力 3.加藤太郎とその周辺 4-①ヘンリー・ムーアの版画  
4-②佐藤潤四郎―タンブラーと新収蔵品を中心に―

令和元年度 第2期 令和元年7月24日～10月20日

1.小特集:フランク・ブランギン 2.日本近代美術と文学性 3.郡山と彫刻 4-①挿絵の魅力  
4-②くらしを彩るデザイン

令和元年度 第3期 令和元年10月23日～令和2年1月31日

1.イギリス絵画―油彩と水彩 2.日本近代美術の黎明期 3.安藤重春のまなざし 4-①イギリス版画の世界  
4-②佐藤潤四郎とガラス

令和元年度 第4期 令和2年3月1日～4月19日

1.来日したイギリスの画家たち 2.大正・昭和―日本洋画の青春期 3.現代美術の表現  
4-①ブレイクとパーマー 4-②ガラスの造形

### 2) 企画展

平成31年4月20日～令和元年6月23日

フジフィルム・フォトコレクション展 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」

令和元年7月6日～9月8日

くまのパディントン<sup>TM</sup>展

令和元年9月21日～11月4日(令和元年10月13日は台風19号の影響により臨時休館)

志村ふくみ展 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

令和元年11月16日～令和2年1月26日

クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物

令和2年3月1日～4月19日

石田智子展 雑華 ありのままに

## 1) 常設展

平成31年度・令和元年度 第1期 平成31年4月24日～令和元年7月21日

## 展示室1 ホガースvsアカデミシャン

ウィリアム・ホガース（1697 - 1764）は「イギリス絵画の父」と呼ばれています。彼は当時、イギリス美術界で議論されていたロイヤル・アカデミーの創設には反対でした。それは、このアカデミーがフランスなど外国のそれに倣ったもので、神話や聖書などに題材をとった伝統的な歴史画を推奨していたからです。

ホガースの死から4年後の1768年、当時の国王ジョージ3世の署名を得て、ロイヤル・アカデミーが創設されました。初代会長は、レイノルズです。その後、このアカデミーからターナー、コンスタブルといった風景画の巨匠が活躍することになりました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
<b>●ウィリアム・ホガース</b>			
ウィリアム・ホガース	『当世風結婚』より6点	1745	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ジン小路	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	ビール街とジン小路 ビール街	1750-51	エッチング、エングレーヴィング・紙
ウィリアム・ホガース	誤った遠近法		エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	美の分析I	1753	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	美の分析II	1753	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	性格と戯画	1743	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	卵を割るコロンプス	1752	エッチング・紙
ウィリアム・ホガース	「選挙」第3図 投票日		エッチング・紙
<b>●アカデミシャン</b>			
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
<b>●当館名品選</b>			
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス

## 展示室2 日本水彩画の魅力

18-19世紀、特にイギリスで広く普及した水彩画が、日本で本格的に取り上げられ始めたのは明治のことでした。明治20年代、アルフレッド・イーストやアルフレッド・パーソンズ、ジョン・ヴァーレー・ジュニアの画家たちが来日し、各地の風景を水彩で描いて展覧会を開きました。それに感銘を受けた三宅克己や大下藤次郎は水彩画に深く傾倒していきます。生涯をかけて水彩

画を描いた彼らの作品からは、表現のための技法の追求のみならず、水彩画に対する愛情が感じられるでしょう。彼らの活躍は、その後の日本の水彩画普及への大きな力となりました。

やわらかな色彩と生き生きとした筆致が、四季折々の自然や人々の暮らしを豊かに表現する作品をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
アルフレッド・イースト	雨後の傘干し	1889頃	水彩・紙
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	鎌倉の茶店		グワッシュ・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の街並	1890	水彩・紙
三宅克己	渋谷村天現寺附近の茶店	1893(明治26)	水彩・紙
三宅克己	箱根		水彩・紙
大下藤次郎	蓮池		水彩・紙
大下藤次郎	舟のある風景	1906(明治39)	水彩・紙
石川欽一郎	信州の田舎		水彩・紙
石川欽一郎	牛荘(NEWCHWANG)		水彩・紙
南 薫造	川べりの家		水彩・紙
南 薫造	日没		水彩・紙
牧野義雄	セント・ジョン・ザ・デイヴァイン大聖堂	1924(大正13)	水彩・紙
牧野義雄	ハドソン川上流	1926(大正15)	水彩・紙

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
丸山晚霞	霜晴れの高原		水彩・紙	
丸山晚霞	少女のいる風景、春		水彩・紙	
中川八郎	早春		水彩・紙	
中川八郎	おぼろ月夜		水彩・紙	
吉田 博	風景	1894-99(明治27-32)頃	水彩・紙	
吉田 博	村里の子供たち(岩戸)	1901-03(明治34-36)頃	水彩・紙	
五百城文哉	日光		水彩・紙	
原 撫松	木春菊		水彩、鉛筆・紙	原優子氏寄贈
原 撫松	桔梗		水彩、鉛筆・紙	原優子氏寄贈
五姓田芳柳(二世)	月の瀬・奥の谷		水彩・紙	
五姓田芳柳(二世)	妙義山第一門		水彩・紙	
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場		水彩・紙	
鹿子木孟郎	水車小屋		水彩・紙	

### 展示室3 加藤太郎とその周辺

神戸に生まれ、東京で活動した加藤太郎(1915-1945)は、早くから白日会に油彩画が入選し、東京美術学校油画科に入学すると木版画も学び、日本版画協会に入選するなど早くから将来を嘱望されていました。また、同級生たちとグループ〈貌〉を結成して戦前の日本の前衛美術運

動に足跡を残しています。

しかし1945(昭和20)年、終戦を待たずに30歳で没しました。今回はわずかに遺された貴重な作品とともに、〈貌〉をはじめとして彼と同時代を生きた画家たちの作品を展示します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
加藤太郎	アネモネ		油彩・板	長谷川保裕氏寄贈
加藤太郎	無題		木版・紙	長谷川保裕氏寄贈
加藤太郎	百合		木版・紙	
加藤太郎	オバコ	1944(昭和19)	木版・紙	
加藤太郎	朴		木版・紙	
加藤太郎	朴(下絵)		水彩、ボールペン・紙	長谷川保裕氏寄贈
加藤太郎	植物デッサン		鉛筆・紙	長谷川保裕氏寄贈
加藤太郎	製縄機		油彩・ガラス	加藤勇氏寄贈
加藤太郎	『JEU D'OBJET 1』	1945(昭和20)	木版・紙／本	日向綾子氏寄贈
加藤太郎	『JEU D'OBJET 2』	1945(昭和20)	木版・紙／本	日向綾子氏寄贈
加藤太郎	『一木会豆版画帖 博物譜』より5点	1950(昭和25)	木版・紙／本	
杉原正巳	チャンドラ・ボース	1943(昭和18)	木版・紙	吉留直輝氏寄贈
杉原正巳	愛書票	1943(昭和18)	木版・紙	吉留直輝氏寄贈
杉原正巳	暑中見舞	1937(昭和12)	木版・紙	吉留直輝氏寄贈
鎌田正蔵	無題	1949(昭和24)	鉛筆、スクラッチング・印画紙	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	無題	1949(昭和24)頃	鉛筆、フロッタージュ・印画紙	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	無題	1949(昭和24)頃	鉛筆、フロッタージュ・紙	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	無題	1949(昭和24)	鉛筆、フロッタージュ、スクラッチング・印画紙	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	魔の山	1938(昭和13)頃	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	白日夢	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	鎌田正蔵氏寄贈
杉全 直	ふたりの肖像	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	
杉原正巳	『一木会豆版画帖 博物譜』より5点	1950(昭和25)	木版・紙／本	
杉全 直	鉄筆デッサン(『JEU D'ESPRIT』第6号)	1939(昭和14)刊	謄写版・紙／本	鎌田正蔵氏寄贈
杉原正巳	ハイヒールの殺人(『JEU D'ESPRIT』第7号)	1939(昭和14)刊	木版・紙／本	鎌田正蔵氏寄贈
杉全 直	デッサン(『JEU D'ESPRIT』第8号)	1939(昭和14)刊	謄写版・紙／本	鎌田正蔵氏寄贈
平澤熊一	発芽	1938(昭和13)頃	油彩・板	平澤三之助氏寄贈
白木正一	虫囊	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	
白木正一	予感	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	
早瀬龍江	營	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	
早瀬龍江	似而非宗教	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	白木正一氏寄贈
吉井 忠	私は輝く水平線を見る	1938(昭和13)	インク、水彩、コラージュ・紙	吉井忠氏寄贈
吉井 忠	落日	1938(昭和13)	インク・紙	吉井忠氏寄贈
吉井 忠	手のある風景	1937(昭和12)	インク・紙	吉井忠氏寄贈
吉井 忠	はさみと月	1938(昭和13)	インク・紙	吉井忠氏寄贈
吉井 忠	滝口氏による灯	1938(昭和13)	インク、水彩・紙	吉井忠氏寄贈

作者名	作品名	制作年	技法・材質
瑛 九	作品3「方向」	1936(昭和11)	デカルコマニー・紙
瑛 九	作品26「フォトデッサン」(“Profile-2”)		印画紙

## 展示室4-① ヘンリー・ムーアの版画

ヘンリー・ムーア(1898-1986)は20世紀を代表するイギリス出身の彫刻家です。彼は「生命の尊厳」「自然への回帰」「人間愛」などをテーマに、抽象、具象を超越した独自の形態によって現代彫刻史に確固たる地位を築きました。

ムーアは彫刻制作のかたわら、素描や版画作品も数多く手がけています。彼にとって素描や版画は、彫刻の構想を練るうえで重要な創作活動の一つでありました。

今回は彫刻家ヘンリー・ムーアが、晩年に制作した代表的な版画作品を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ヘンリー・ムーア	『エレファント・スカル・アルバム』より10点	1970	エッチング・紙/ポートフォリオ
ヘンリー・ムーア	『オーデン詩集』edition(B)	1973	リトグラフ・紙/本
ヘンリー・ムーア	『ストーンヘンジ』より7点	1974	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
ヘンリー・ムーア	『スカルプチャー・アイデア』より5点	1980	エッチング、アクアチント・紙/ポートフォリオ
ヘンリー・ムーア	座る人体:スカート	1980	ブロンズ

## 展示室4-② 佐藤潤四郎—タンブラーと新収蔵品を中心に—

郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎(1907-1988)は、後輩の工芸家、デザイナーたちに「陶磁器なら飯茶碗、木工や漆なら汁碗、ガラスならタンブラーがデザインできなければ一人前じゃない」と話していたそうです。これらはみな日常の食事で使う器です。この身近な器—タンブラーこそが潤四郎のデザイン哲学の基本となって

います。扱いやすい形と大きさ、その制限がありながらもプランツやグラヴェールといった技法を駆使したデザインのタンブラーが生まれてきました。

今回は、そのタンブラーはじめルーマー杯などの飲食器を中心に、新たに収蔵した作品を交えて展示します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	ステンドグラス《仏足跡》		ガラス、鉄	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	リュトン《ガラスの神様》	1984(昭和59)頃	ガラス/宙吹・グラヴェール	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー20点		ガラス/型吹ほか	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	グリーンタンブラー		ガラス/型吹・プランツ	林王健治氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー(スモークグラス・2点組)		ガラス/型吹き	
佐藤潤四郎	ルーマー杯《大好きな形》		ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯《なみなみのワインを》		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス/宙吹・プランツ、雲母封入	石川和子氏、長谷川貴子氏寄贈
佐藤潤四郎	水指(カットグラス)	1986(昭和61)	ガラス/型吹・カット	
佐藤潤四郎	水指《魚》	1986(昭和61)	ガラス/型吹	
佐藤潤四郎	水指(プランツ)	1986(昭和61)	ガラス/型吹・プランツ	
佐藤潤四郎	アイスクリーム皿		ガラス/宙吹	大方龍子氏寄贈
佐藤潤四郎	皿(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	ボウル(グリーン)		ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎デザイン/カガミクリスタル制作	ウイスキーボトル「インベリアル」		ガラス/機械生産	サントリー(株)提供
佐藤潤四郎デザイン/カガミクリスタル制作	「スーパーニッカ」手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス/宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ペーパーウエイト《鍵》		ガラス/サンドキャスト	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	龍文花器		ガラス/宙吹・グラヴェール	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	クリスタル花器		ガラス/宙吹・プランツ	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	三角一輪挿し(グリーン)		ガラス/型吹	
佐藤潤四郎	四角一輪挿し(グリーン)		ガラス/型吹	
佐藤潤四郎	陶板・窯座		陶器	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・五輪塔		陶器	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板		陶器	福永香氏寄贈
佐藤潤四郎	陶牌	1964(昭和39)頃	陶器	福永香氏寄贈

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
細川宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第1期 常設展示室1

## 令和元年度 第2期 令和元年7月24日～10月20日

## 展示室1 小特集:フランク・ブランギン

ベルギーのブリュージュで生まれ、後にイギリスへ渡ったフランク・ブランギン(1867-1956)は、画家、版画家、装飾家、デザイナーなど多彩な顔を持ったイギリスを代表する芸術家です。ウィリアム・モリス工房でデザインを学び、絵画の道に進んだブランギンは、色彩あふれる画面構成とダイナミックな描写力で、当時のイギリス画

壇に新風を吹き込みました。

ブランギンは、日本と関わりが深く、イギリスに留学した画学生との交流や、上野の国立西洋美術館設立の礎となった松方幸次郎の美術コレクションの指南役としても知られています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サー・フランク・ブランギン	花園	1899頃	油彩・板
サー・フランク・ブランギン	ヴェニス・運河	1924	油彩・キャンバス
サー・フランク・ブランギン	馬車		水彩・紙
サー・フランク・ブランギン	市場		エッチング・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	ブリュージュのフレーネレイ(運河)		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	ブリュージュのヤン・ファン・エイク広場の恋人たち		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	ブリュージュのヤン・ファン・エイク広場		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	橋、バーナード城		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	ブリュージュのブレディクヘーレン橋		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	ブリュージュのポテリエリ		木版・紙
サー・フランク・ブランギン(画)漆原木虫(刻)	『木版画集』		
	震災後のメツシナ 伊太利		木版・紙
	ヴェニス 金色の朝		木版・紙
	ロザージュ橋 端西		木版・紙
	運河の船 ブルージ 白耳義		木版・紙
	修道院 ブルージ 白耳義		木版・紙
	ロアル河の古橋		木版・紙
栗原忠二	ヴェニス風景	1921(大正10)	油彩・板
武内鶴之助	英国風景		油彩・キャンバス
石橋和訓	男性裸像	1907(明治40)	油彩・キャンバス
【当館名品選】			
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス

## 展示室2 日本近代美術と文学性

屏風絵や絵巻物に代表されるように、日本においても古くから美術と文学は密接な関係にありました。明治後期、美術界では同時代の文芸思潮と深く関わりながら、日本の歴史や物語などが主題に好まれたり、詩情に重きを置く傾向がみられました。また、明治末に創刊された

雑誌『白樺』は、文芸と美術を自由に横断する内容で大きな影響力も持ちました。

今回は、当館の日本の近代美術のコレクションから、文学の世界とさまざまに共演する作品を特集します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岡村政子	牛若丸	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
岡村政子	みなつる姫	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
岡村政子	仙女伏姫幽窟において読経の図	1889(明治22)	石版、手彩色・紙
岡村政子	きよひめ	1888(明治21)	石版、手彩色・紙
小林万吾	朽葉の袖	1907(明治40)	油彩・キャンバス
岸田劉生	『劉生図案画集』(聚英閣)	1921(大正10)	木版・紙/ポर्टフォリオ
南薫造	教会堂		水彩・紙
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
白瀧幾之助	編物をする少女	1895(明治28)	油彩・キャンバス
藤島武二	がくの花	1901(明治34)	油彩・キャンバス
木村莊八	道のある風景	1914(大正3)	油彩・キャンバス
河野通勢	ソロモンの裁判	1919(大正8)	インク・紙



作者名	作品名	制作年	技法・材質
谷中安規	鍵(詩画集の8)	1933(昭和8)	木版・紙
田中恭吉、恩地孝四郎	『月に吠える』	1917(大正6)	木版・紙／本
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス
棟方志功	愛染菩薩図(『雨ニモ負ケズ』四刷)		墨、淡彩・紙／4点組
山本芳翠	『蜻蛉集』(ユディット・ゴージェエ著)	1884(明治17)刊	石版・紙／本
竹久夢二	『出帆』	1940(昭和15)	木版・紙／本
梶田半古	蝶	1907-12(明治40-45)頃	岩絵具・絹／二曲一隻屏風
荻生天泉	行成卿	1932(昭和7)	岩絵具・紙／二曲一双屏風

## 展示室3 郡山と彫刻

市内には駅前や公共施設周辺など、ブロンズのモニュメントが点在しています。大正から昭和戦前期にかけて官展を中心に活躍した木彫家・三木宗策。その門下として長く制作を続ける佐藤静司。また、抽象表現を取り入れた塑造の制作を続けた湖南出身の三坂耿一郎など、これまで郡山出身の彫刻家たちが活躍してきた歴史は、彫刻のある町の

風景に大きく影響しているといえるでしょう。

ふだん何気なく通り過ぎていた街角で、足を止めてモニュメントを眺める機会はありません。今回はあらためて、郡山を代表する彫刻家の作品をご覧ください。また、現在、市内で活動している作家・黒沼令の作品を特別出品としてご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)	1924(大正13)	木彫
三木宗策	大葉子	1942(昭和17)	木彫
佐藤静司	瀬	1936(昭和11)	木彫
佐藤静司	合掌	1986(昭和61)	木彫
佐藤静司	閑	1986(昭和61)	木彫
佐藤静司	街の詩	2006(平成18)	木彫
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ
<b>【特別出品】</b>			
黒沼 令	物思いⅡ	2016(平成28)	木彫
黒沼 令	刹那	2019(令和元)	木彫

萩原巖氏寄贈

佐藤静司氏寄贈

佐藤静司氏寄贈

作家蔵

作家蔵

## 展示室4-① 挿絵の魅力

西欧での挿絵は、古くは中世ヨーロッパの写本の彩飾にはじまり、19世紀に最も関心が寄せられ、多くの美しい本が生まれました。挿絵の版画技法には、木版、銅版、石版などがありますが、特に18世紀末にイギリスのトマス・ビューイックが創始したとされる木口木版は、精巧な表現が可能であることと、同じ凸版である活版印刷と

の相性の良さから広く用いられました。

日本でも明治期に西欧の挿絵本がもたらされると、その挿絵を模倣した翻訳本が出版されます。一方で、浮世絵の流れを汲んだ木版画を口絵とする日本独特の本の表現も続いていきます。美しい装幀や挿絵とともに、挿絵本に表れる時代性の面白さもお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
トマス・ビューイック	『博物図集』	1809	木口木版・紙／本
トマス・ビューイック	『インソップ寓話集』	1818	木口木版・紙／本
ジョゼフ・マロード・ウリアム・ターナー	S.ロジャース『詩集』	1869	ラインエングレービング・紙／本
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	W.モリス『クビドとプシュケの物語』	1974	木口木版・紙／本
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	W.モリス『クビドとプシュケの物語』ブルーフ集より		木口木版・紙
デイヴィッド・ジョーンズ	『ヨナの書』	1926	木口木版・紙／本
デイヴィッド・ジョーンズ	『ヨナの書』のための13点の木口木版画集より	1979	木口木版・紙／ポートフォリオ
ロバート・ギビングス	L.ボウイス『野獣と聖者』		木口木版・紙／本
ロバート・ギビングス	L.ボウイス『野獣と聖者』ブルーフ集より	1934頃	木口木版・紙
村井聴泉ほか	動物図(金港堂書籍 三間石版所)	1896-1900(明治29-33)	石版・紙／本
	『日本重要水産動植物図』(大日本水産会編纂)	1897(明治30)	石版・紙／本
持田鏡男(挿画)	『日本有用 魚介藻類図説』(妹尾秀實・鐘ヶ江東作・東道太郎著)	1910(明治43)	石版・紙／本
	『新訳 魯敏孫漂流記』(英国デフォー氏原著)	1887(明治20)	表紙・石版・紙／本
	『絶世奇談 魯敏孫漂流記』再版(井上勤訳、博聞社発行)	1888(明治21)	亜鉛版・紙／本
	『狐の裁判』(井上勤訳、春陽堂書房)	1886(明治19)	石版・紙／本

作者名	作品名	制作年	技法・材質
	『日の出島』分冊本(村井弦齋・村井寛著、春陽堂書房)	1897-1902(明治30-35)	亜鉛板・紙／本
オーブリー・ピアズリー	おまの口に口づけしたよ、ヨカーン(オスカー・ワイルド[サロム]挿絵)	1893	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第5巻表紙デザイン	1895	ラインブロック・紙
オーブリー・ピアズリー	トマス・マローリー著『アーサー王の死』分冊本	1893	ラインブロック・紙／本
ロバート・ギビングス	カモメ		木口木版・紙
デイヴィッド・ジョーンズ	『チェスター劇「大洪水」』より	1927	木口木版・紙／ポートフォリオ
エリック・ギル	降架	1931	木口木版・紙
エリック・ギル	磔刑	1931	木口木版・紙
エリック・ギル	『四福音書』	1931	木口木版・紙／本
アグネス・ミラー・パーカー	『インソップ物語』	1931	木口木版・紙／本
ジョージ・グラウド・レオン・アンダーウッド	『動物界』	1926	木口木版・紙／本
グヴェンドレン・メアリー・ラヴェラ	『スコットランドの悪魔』	1934	木口木版・紙／本
チャールズ・フレデリック・タニクリフ	H.E.ベイツ『とても幸せな田舎者』	1943	木口木版・紙／本
チャールズ・フレデリック・タニクリフ	H.E.ベイツ『田園の中心で』	1942	木口木版・紙／本

## 展示室4-② くらしを彩るデザイン

私たちは、日々の生活を豊かに彩ってくれるさまざまなデザインに囲まれています。器や道具に本来求められる実用性と、デザインの美しさや味わい深さが調和した作品を展示します。

郡山市出身の佐藤潤四郎は、日本の近代ガラス工芸界を代表する作家です。柔らかな曲線による素朴で温もりある造形からは、彼のガラスへの深い愛情が感じられま

す。クリストファー・ドレッサーは、スコットランドに生まれ、モダン・デザインの先駆けとなる重要な仕事を残したデザイナーです。1876(明治9)年に来日した彼は、各地の美術工芸品を調査し、帰国後彼はその経験を自らのデザインに昇華させます。

何を入れるか、どのように置かかを想像してみるのも楽しみ方のひとつかもしれません。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス、鉄	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和61)	ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	花器・ちょっと考えて(樹)		ガラス／宙吹・グラヴュール	
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1908-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・カット	
佐藤潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ	
佐藤潤四郎	植物文瓶		ガラス／宙吹・グラヴュール	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス／宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス／宙吹	
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス／宙吹・プランツ、雲母封入	石川和子氏・長谷川貴子氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス／宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・みなみのワインを		ガラス／宙吹・グラヴュール、プランツ	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄／鍛鉄吹込	
クリスファードレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	トースト・ラック(ポイントアーチ型)		金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	トースト・ラック(楕円型)		金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	トースト・ラック(青海波)		金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	銀製ティー・セット	1885	銀、象牙、金メッキ	
クリスファードレッサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	シュガー・バスケット(穴あきふるい付き)	1884	金属、銀メッキ	
クリスファードレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ	
クリスファードレッサー	色絵草花文隅切角皿	1886	陶器	
クリスファードレッサー	色絵花模様隅切角皿	1886	陶器	
クリスファードレッサー	色絵花模様長皿	1886	陶器	
クリスファードレッサー	青釉水差		陶器	
クリスファードレッサー	水差し「ラクダの背」	1879-82頃	陶器	
クリスファードレッサー	うに形容器	1879-82頃	陶器	
パーナード・リーチ	白磁魚絵皿	1961	磁器	
パーナード・リーチ	鉄絵碗		陶器	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
浜田庄司	黒釉鑄流描角皿		陶器
浜田庄司	白釉鉄絵茶碗		ストーンウェア
浜田庄司	鉛釉花打茶碗		陶器

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
舟越保武	少女	1956(昭和31)	砂岩
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
細川宗英	道元	1988(昭和63)	ブロンズ
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント
●前庭			
パリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第2期 常設展示室3

## 展示室1 イギリス絵画—油彩と水彩

島国であるイギリスでは、大陸の影響を受けながら独自の美術が展開しました。ホガース、レイノルズらが手がけた王侯貴族の肖像画、サンドビー、カズンズらの国内外の自然や建造物を描きとめた風景画が、18世紀のイギリス絵画を彩ります。油彩の習作として扱われていた水彩画ですが、その特色を生かした詩情豊かな風景表現

が好まれ、イギリスにおいて油彩画と並ぶ地位を獲得しました。

19世紀にはイギリス風景画家の二大巨頭、ターナーとコンスタブルが活躍し、油彩・水彩の両方で多くの傑作を遺しました。彼らの影響はイギリスにとどまらず、印象派など大陸の新動向に啓示を与えています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46頃	油彩・キャンバス	
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙	
ジョン・ロバート・カズンズ	サヴォワ地方、サランシュ附近のアルプス渓谷		水彩・紙	
ジョン・ヴァーレー	ポントシスリット・アクアダクト	1826	水彩・紙	
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス	
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60頃	油彩・キャンバス	
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	
サー・トマス・ローレンス	ラビー・ウィリアムズ牧師	1790年代初頭	油彩・キャンバス	
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798頃	水彩・紙	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797頃	水彩、鉛筆・紙	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	
ピーター・デ・ウィント	ワイトビー		水彩・紙	
ジョン・ラスキン	オーヴェルニュの丘		鉛筆、ホワイトボディカラー・紙	
サー・エドワード・コリー・バーン・ジョーンズ	アヴァロンにおけるアーサー王の眠り	1894	グワッシュ・紙	
アルバート・グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙	佐藤克也氏寄贈

## 展示室2 日本近代美術の黎明期

近代の始まり、幕末から明治にかけて、日本国内に流入した西洋文明—美術の分野でも、銅版画や石版画、写真、油彩画が相次いで伝えられ、ものの見方や表現方法、画材などに関心を持ち、新しい技術の獲得を試みる画家があらわれました。幕末に來日したワグマンに師事した高橋由一、横浜で西洋風な描写を独学した五姓田芳柳、

そのもとで学んだ山本芳翠、写真家・横山松三郎に師事した亀井至一、竹二郎兄弟、日本初の美術学校といえる工部美術学校で学んだ浅井忠一。

クリストファー・ドレッサーが來日した頃、新しい表現や技術の獲得をめざしてそれぞれ奮闘していたであろう画家たちの作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
チャールズ・ワグマン	ふたりの日本女性		水彩・紙	
チャールズ・ワグマン	座る日本女性		水彩・紙	
五姓田義松	婦人像	1871(明治4)頃	油彩・キャンバス	
高橋由一	風景(鳥海山)	1880年代	油彩・キャンバス	
山本芳翠	園田銚像	1885(明治18)	油彩・キャンバス	
五姓田義松	園田御令嬢肖像	1902(明治35)	コンテ・紙	
浅井 忠	少女の顔	1878(明治11)	木炭・紙	
浅井 忠	綾瀬川付近	1885(明治18)	墨・紙	
五姓田芳柳	風俗図屏風		水彩・紙/六曲一隻屏風	
五百城文哉	真如堂図	1897(明治30)	油彩・紙	
亀井竹二郎	〈石版『懐古東海道五十三駅真景』油彩原画〉より12点 品川駅 自濱川上流望海面、 川崎駅 六合川眺望、神奈川駅、 戸塚駅、興津駅 清見寺三保松原遠望、 藤枝駅、二川駅 岩谷観音、 岡崎駅 矢矧橋、四日市駅 燈明台、 亀山駅 城内ノ図、土山駅 松ノ尾川、 水口駅 旧城内	1877-78(明治10-11)	油彩・紙	
亀井竹二郎	蜷川与志肖像	1877(明治10)	油彩・キャンバス	寄託作品
亀井至一	東京上野之景	1874(明治7)	油彩・キャンバス	寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
亀井至一	東京下谷芸妓小幾	1883(明治16)	石版・手彩色・紙	
亀井至一	東京不忍弁天景	1882(明治15)	石版・紙	
	亀井家伝来資料からスケッチブック4点			亀井よし子氏寄贈
	亀井家伝来資料から水彩スケッチ10点			佐藤家兄弟寄贈 寄託作品
蜷川式胤	明治十年徴募巡査不二川ヲ通行スルノ図	1880(明治13)年	混合技法・板	
亀井至一	『観古図説』I~IV	1876-77(明治9-10)	石版・手彩色・紙／本	
下国巖之助	『観古図説』V	1877(明治10)	石版・手彩色・紙／本	
印刷局	『国華余芳 伊勢内外神宝之部』	1880(明治13)	石版・紙／本	
印刷局	『国華余芳 正倉院御物』	1880(明治13)	石版・紙／本	
印刷局	『波間の錦』	1883(明治16)	石版・紙／本	
印刷局	『朝陽閣鑑賞』	1883(明治16)	石版・紙／本	
印刷局	『朝陽閣鑑賞錦繍帖 巻上』	1883(明治16)	木版・紙／本	
印刷局	『朝陽閣鑑賞錦繍帖 巻下』	1883(明治16)	木版・紙／本	

### 展示室3 安藤重春のまなざし

安藤重春は1912(明治45)年に郡山市清水台、安積神社の宮司の家に生まれました。旧制安積中学校(現安積高等学校)を卒業後、東京美術学校(現東京藝術大学)日本画科へ進学し、結城素明や小泉勝爾の指導を受けるとともに、一年先輩の高山辰雄に私淑しました。

終戦後、安藤は生家の神社脇に安積幼稚園を設立、あさ

か児童画クラブを創設し、幼児教育と児童画教育にも携わると同時に、日展を舞台に活躍しました。幼稚園の子どもたちの日常を、温かいまなざしをもって描いた作品も少なくありません。日本画家として長年にわたり活躍した安藤の画業と功績を振りかえってみたいと思います。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
安藤重春	笹	1932-37(昭和7-12)頃	岩絵具・絹	安藤重春氏寄贈
安藤重春	あんず	1932-37(昭和7-12)頃	岩絵具・絹	安藤重春氏寄贈
安藤重春	妙法寺仁王門	1932-37(昭和7-12)頃	岩絵具・絹	安藤重春氏寄贈
安藤重春	橋	1969(昭和44)	岩絵具・紙	安藤重春氏寄贈
安藤重春	帰去来	1972(昭和47)	岩絵具・紙	
安藤重春	山間	1974(昭和49)	岩絵具・紙	安藤重春氏寄贈
安藤重春	レッスン	1977(昭和52)	岩絵具・紙	安藤重春氏寄贈
安藤重春	水道	1977(昭和52)	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤重春	雨の華	1979(昭和54)	岩絵具・紙	
安藤重春	庭隅	1985(昭和60)頃	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤重春	皎	1987(昭和62)頃	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤重春	虫	1990(平成2)	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤重春	バス		岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
安藤重春	犬声		岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈

### 展示室4-① イギリス版画の世界

一口に版画と言っても、その主題や技法はさまざまです。18世紀後半から19世紀前半にかけて、ターナーの崇高な自然やコンスタブルの味わい深い風景、ブレイクやパーマーの神秘的で幻想的な創造世界が、銅版の精緻な描写によって巧みに表現されました。

19世紀末から20世紀になると、さらに多様な展開を見ることができます。ホイッスラーは日本美術から大き

な影響を受け、独自の画風を確立したことで知られています。そのほか、版画の独特な力強い線、白と黒の単純な構成による大胆な構図、抽象性の高い作品も数多く生み出されました。

版画の中に広がるそれぞれの豊かな世界をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	カーナーヴォン城	1776	アクアチント、エッチング
トマス・ガートン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ベン・アーサー	1819	エッチング、メゾチント
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ストーンヘンジ	1829	エッチング、ラインエングレーヴィング
ジョン・コンスタブル	荒野(ヒース)	1831	メゾチント

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・コンスタブル	水浴びをする人たち、ハムステッド	1845以前	メゾチント
ジョン・クローム	枯れた櫛の木沿いの道	1813頃	エッチング
ジョン・セル・コットマン	カストール城	1815	エッチング
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』挿絵より1点	1825	ラインエングレーヴィング
ウィリアム・ブレイク	ダンテの『神曲』のための連作より1点	1826-27	ラインエングレーヴィング、ドライポイント
ジョン・マーティン	光の創造	1825	メゾチント
ジョン・マーティン	墜落した天使たちを呼び覚ますサタン	1825	メゾチント
サミュエル・パーマー	クリスマス(最後の羊を囲う)	1850	エッチング
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860-61着手	エッチング
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858-59	エッチング、ドライポイント
ヴォルター・シッカート	古風な考えの私の母	1928頃	エッチング
テオドール・ルーセル	門、チェルシー		エッチング、ドライポイント
ジョン・ナッシュ	荷車に積まれた干草	1920	木口木版
ポール・ナッシュ	天空創造	1924	木口木版
ロバート・ギビングス	ペンキ屋	1921	木口木版
エドワード・ウォズワース	乾ドック内の迷彩船	1918	木版
エリック・ギル	キリストと両替屋	1929	木口木版
エリック・ギル	ゲッセマネの園におけるキリストの苦悶	1926	木口木版
デイヴィッド・ジョーンズ(画・刻)	チェスター劇「大洪水」のための9点の挿絵集より1	1927	木口木版
ディエル兄弟(刻)	『イギリス風景画集』	1863	木口木版/本
サー・エドワード・コーリー・バーンズ(画)	W. モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版/本
アーサー・ジョゼフ・ギヤスキ(画)	S. ベアリング・グールド編『童謡集』	1895	木口木版/本

## 展示室4-② 佐藤潤四郎とガラス

ガラスは光を反射して美しいきらめきを放ちます。ガラスは実用的であると同時にそのきらめきによって私たちの心を和ませてくれます。

郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎(1907・明治40 - 1988・昭和63)はクリスタルガラス工芸界で活躍

した作家です。彼がデザインした数々のガラス作品は気品と温もりに満ち、多くの人々に愛されてきました。

今回は、花器やワイングラス、タンブラーやウィスキーボトル、舍利器やオブジェなど、佐藤潤四郎が手がけた多様なガラス作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		ガラス、鉄	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	ガラス/宙吹	石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちよっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス/宙吹・カット	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	クリスタル花器		ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡・ロータス		ガラス/宙吹・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	植物文瓶		ガラス/宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス/宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯・みなみのワインを		ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	水指(魚)	1986(昭和61)	ガラス/型吹	
佐藤潤四郎	花器(カレット入り)		ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎デザイン /カガミクリスタル制作	ウィスキーボトル『インベリアル』		ガラス/機械生産	サントリー(株)提供
佐藤潤四郎	灰皿		ガラス/型押し	
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973-76(昭和48-51)頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	ブルー花器		ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス/宙吹	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	ガラス/宙吹・カレット封入	
佐藤潤四郎	花器(グリーン)		ガラス/宙吹	

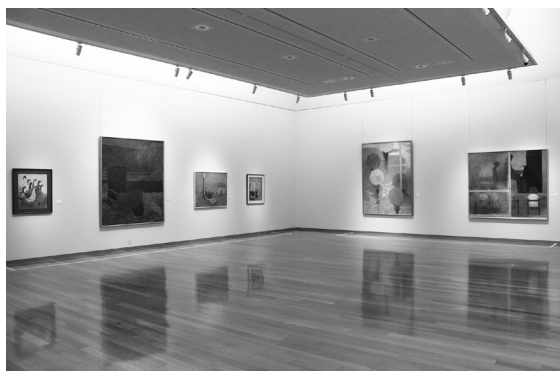
作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		ガラス／宙吹・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・ちょっと考えて(樹)		ガラス／宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	ガラス／サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	ガラス／サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス／型吹	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎デザイン /カガミノミヤ制作	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	ガラス／宙吹	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利小容器(試作)		ガラス／宙吹・プランツ	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利器(試作)	1978(昭和53)	ガラス／宙吹・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)No.1	1980(昭和55)	ガラス／宙吹・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	ガラス／宙吹・プランツ、雲母封入	

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
木内 克	露柱	1976(昭和51)	テラコッタ
西 常雄	藤原義江像	1971(昭和46)	ブロンズ
柳原義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
パリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ



第3期 常設展示室2



第3期 常設展示室3



第3期 常設展示室4-1

## 令和元年度 第4期 令和2年3月1日～令和2年4月19日

## 展示室1 来日したイギリスの画家たち

ヨーロッパで日本趣味が流行していた19世紀末、本場の日本を知るために来日するイギリス人たちがいました。ここでは、絵画において日本とイギリスをつないだ重要な画家たちを紹介します。

新聞記者として幕末の横浜にいた画家ワグマンは、日本人に西洋画を教え、メンペスは日本画家河鍋暁斎に師事しました。イーストやヴァーレー・ジュニアが日本

で描いた作品は、まるで現実世界がそのまま絵になったような感覚を初めて日本人に与えました。そしてバーナード・リーチは、日本人に銅版画技法を教え、六代目尾形乾山に陶芸を学びました。

このようにイギリスから来日した画家たちとその作品には、それぞれの日本との関係が見えてきます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
チャールズ・ワグマン	西洋紳士スケッチの図	1870代	油彩・スケッチボード
チャールズ・ワグマン	若い女		水彩・紙
チャールズ・ワグマン	北京風景	1860	水彩・紙
モーティマー・メンペス	新作芝居	1887頃	エッチング、ドライポイント・紙
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光の茶屋	1890	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	赤羽、芝公園の一隅	1891	油彩・板
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京、麻布	1891	油彩・板
サー・アルフレッド・イースト	雨の湯本	1889	水彩・紙
サー・アルフレッド・イースト	スウェル川のほとり		油彩・キャンバス 佐藤克也氏寄贈
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス
バーナード・リーチ	北京の前門	1918	ソフトグラウンドエッチング・紙
バーナード・リーチ	家	1912	エッチング・紙
バーナード・リーチ	きこり		油彩・紙
バーナード・リーチ	壺	1934	水彩・紙 (株)名古屋画廊寄贈
バーナード・リーチ	山水	1968	墨・紙
バーナード・リーチ	立杭		コンテ・紙
サー・ジョシュア・レイノルズ	キティ・フィッシャーの肖像習作	1760-62頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョゼフ・マロード・ウリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コラーバーン・ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
(資料)			
チャールズ・ワグマン	『日本の風景・神奈川奉行とその随員たちが火事現場に向かう―当社の特派員によるスケッチから』		
チャールズ・ワグマン	『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』1864年3月19日号		
チャールズ・ワグマン	『ジャパン・パンチ』1886年5月号		
モーティマー・メンペス	『芝居小屋の看板』、モーティマー・メンペス著『日本』アダム・アンド・チャールズ・ブラック社、1901年12月刊		
サー・アルフレッド・イースト	『桜が咲く頃』、F. T. ビゴット著『日本の庭』ジョージ・アレン社、1892年5月刊		

## 展示室2 大正・昭和—日本洋画の青春期

幕末にもたらされた西洋画は明治期を迎えて本格的に普及し、黒田清輝が日本の美術教育の基本をフランスの外光派に据えたことで、外光派的な表現が日本洋画壇での主流となりました。

しかし、その後に留学した有島生馬や山下新太郎らの帰国後の活躍や、『白樺』などの雑誌記事をとおりてヨーロッパ美術の新しい傾向が紹介されると、その影響を受

けた画家たちが頭角を現します。なかには美術史に名を残す巨匠に直接師事してきた者たちもいました。マティスに学んだ中川紀元、ヴラマンクに指導を受けた里見勝蔵などです。また、安井曾太郎らは日本人ならではの洋画を模索しました。大正から昭和前期、それは日本の洋画界に若い力が台頭してきた時代でした。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
有島生馬	少女	1908(明治41)	油彩・キャンバス
山下新太郎	苔寺	1922(大正11)頃	油彩・キャンバス
斎藤豊作	風景	1912(大正元)頃	油彩・キャンバス
小山敬三	風景	1922(大正11)	油彩・キャンバス
上野山清貢	サイパンにて	1925(大正14)頃	油彩・キャンバス
河野通勢	ホレブの岩		油彩・板



作者名	作品名	制作年	技法・材質	
木村荘八	祖母の顔	1916(大正5)	油彩・板	
小出橋重	自画像	1918(大正7)	油彩・キャンバス	
川島理一郎	コルシカ島サゴーン風景	1921(大正10)	油彩・キャンバス	
中川紀元	赤い下着	1920(大正9)	油彩・キャンバス	(株)興新産業寄贈
中川一政	冬の郊外(葱畑)	1918(大正7)頃	油彩・キャンバス	
伊原宇三郎	靴職人	1925-29(大正14-昭和4)頃	油彩・キャンバス	武田光司コレクション寄贈
里見勝蔵	軍人	1927(昭和2)	油彩・キャンバス	
中山 巍	赤ジレ座婦	1927(昭和2)	油彩・キャンバス	
林 武	静物	1943(昭和18)頃	油彩・キャンバス	宮崎利一氏寄贈
鈴木千久馬	橄欖樹の林(南仏カーニュ)	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	
斎藤与里	海辺秋景	1937(昭和12)頃	油彩・キャンバス	
藤島武二	「耕到天」習作	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	
安井曾太郎	初秋の北京	1944(昭和19)	油彩・キャンバス	
中村 彝	朝顔	1923(大正12)	油彩・キャンバス	
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	

### 展示室3 現代美術の表現

イギリスの現代美術家トニー・クラッグ(1949年生まれ)は、鉄、木、ガラスなど様々な素材を用いて、人と世界との関係性をテーマに制作しています。当館では平成30年度に同作家の作品を2点収蔵しました。色の付いた木片の漂着物を組み合わせた《山と湖》、化学の実験器具をすりガラスで再現した作品、どちらもその色や形から私たちに

ある種の共通イメージを喚起させるでしょう。

20世紀後半、イギリス美術の最先端で活躍してきた作家たちは、単純化されたモチーフによる構図の探求や、作品を構築する素材そのものへのこだわりから、洗練された作品を生み出してきました。彼らの鋭い感性による表現は、私たちの五感をも研ぎ澄ませてくれるのではないのでしょうか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メプナイト	
ベン・ニコルソン	水差しと楕円形	1973	オイルウォッシュ、鉛筆・紙	
ウイリアム・スコット	ホワイトボウルとブラックパン	1970	シルクスクリーン・紙	(株)カサハラ画廊寄贈
ウイリアム・スコット	静物II	1957	水彩、コラーージュ・紙	(株)カサハラ画廊寄贈
デム・パー・ハップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード	
デム・パー・ハップワース	オルフェウス(マケット2)	1956	真鍮、糸	
デム・パー・ハップワース	石柱(パヴァーズ)	1953	油彩・パネル	
ヴィクター・パスモア	ワインレッド(version 1)	1964	レリーフペインティング・パネル	
トニー・クラッグ	山と湖	1984	木	
トニー・クラッグ	無題	1984	ガラス、木、鉄	
アラン・グリーン	4つの正方形と1つの角	1991	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	赤に向かう白の天使	1992	エッチング・紙	(株)カサハラ画廊寄贈
アラン・グリーン	18コの白と50コの黒	1990	エッチング、アクアチント・紙	
アラン・グリーン	ドローイング 339	1995	ミクストメディア・紙	

### 展示室4-① ブレイクとパーマー

1824年10月9日、サミュエル・パーマー(1805-1881)は、念願であった巨匠ウィリアム・ブレイク(1757-1827)との面会を果たします。このとき、パーマー19歳、ブレイク67歳。青年パーマーがロンドンに住むブレイクの質素な自宅を訪問したとき、彼はダンテ『神曲』の作品に取り組んでいました。パーマーは自分の作品を恐る恐る

ブレイクに見せると、ブレイクは優しい励ましの言葉をかけてくれました。

「一粒の砂に世界を見る」と謳ったブレイクと同じく、パーマーも想像力を駆使した神秘的な作風が特徴です。一方、自然を嫌ったブレイクとは異なり、パーマーは自然こそが想像力の源であると考えていました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』挿絵より10点	1825	ラインエングレーヴィング
ウィリアム・ブレイク	ダンテ『神曲』のための連作より6点	1826-7	ラインエングレーヴィング、ドライポイント
ウィリアム・ブレイク	コリネットの旅:ロンドンへ62マイルの標石		木口木版
ウィリアム・ブレイク	ヴァージルの『田園詩』第1巻		木口木版/本

作者名	作品名	制作年	技法・材質
サミュエル・パーマー	ひばり	1850	エッチング
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋(日没)	1850	エッチング
サミュエル・パーマー	眠る羊飼いの早朝	1857	エッチング
サミュエル・パーマー	昇る月(イングランドの田園詩)	1857	エッチング
サミュエル・パーマー	早朝に働く農夫(山々に広がる朝)	1861以前に着手	エッチング
サミュエル・パーマー	夜回りの人	1879	エッチング
サミュエル・パーマー	孤高の塔	1879	エッチング
サミュエル・パーマー	囲いを開く(早朝)	1880	エッチング
サミュエル・パーマー	サミュエル・パーマーによるヴァージルの『田園詩』の英語版	1883	エッチング／本

## 展示室4-② ガラスの造形

きらめきや透明感など、光の反射や透過によって生まれる多彩な表情は、ガラス素材の大きな魅力といえるでしょう。ガラスはその可塑性のたかさから、近代以降産業製品としてさまざまに形づくられ、私たちの生活に深くかかわっています。一方、芸術家たちがガラス素材を用いて作品をつくる動きが起きたのは、昭和初期になってのことでした。佐藤潤四郎(1907-1988)は、郡山市出

身で世界的なガラス工芸家です。ガラスの造形性を熟知し、卓抜した技術とすぐれたデザイン性によって、ガラス作品の芸術性を高めた第一人者となりました。

今回は佐藤潤四郎の作品を中心に、「ガラスの造形」をテーマに展示します。ガラスの属性に則した多様な技法と表現性に富む造形美をおたのしみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	花器		ガラス／宙吹・雲母封入
各務鑑三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和45)頃	ガラス／宙吹・気泡封入、グラヴェール
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーサ・ガラス)		ガラス／宙吹
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	ルーマー杯・みなみのワインを		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和61)	ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	タンブラー		ガラス／宙吹・グラヴェール、プランツ
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・エッチング、カット
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡・ロータス	1984(昭和59)	ガラス／エッチング・サンドブラスト
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	放射能遮蔽ガラス／サンドブラスト
佐藤潤四郎	ステンドグラス・仏足跡		ガラス／鉄
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控)	1980(昭和55)	ガラス／宙吹・カット
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控)	1984(昭和59)	ガラス／宙吹・プランツ、雲母封入
佐藤潤四郎	これ以上芽の出ない世界	1980-82(昭和55-57)頃	ガラス／宙吹
佐藤潤四郎	「スーパーニッカ」手吹きボトル	1962(昭和37)年頃	ガラス／宙吹
*資料			
佐藤潤四郎	ウイスキーボトル「インベリアル」		ガラス／機械生産

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
木内 克	露柱	1976(昭和51)	テラコッタ
西 常雄	藤原義江像	1971(昭和46)	ブロンズ
柳原義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

## 2) 企画展

### フジフィルム・フォトコレクション展 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」

会 期：2019(平成31)年4月20日(土)～2019(令和元)年6月23日(日)  
主 催：郡山市立美術館  
特別協力：富士フィルム株式会社  
協 力：株式会社コンタクト、フォトクラシック  
観 覧 料：一般800(640)円  
          高校・大学生・65歳以上500(400)円  
          ※( )内は団体料金。中学生以下、障がい者  
          手帳をお持ちの方は無料。

#### 趣 旨

日本の写真文化を支え続けてきた富士フィルム株式会社が、2014年に創立80周年を記念して創設した写真コレクションである。写真が未知なる視覚体験として幕末に伝来してから現代に到るまで、日本ではすぐれた写真家が数多く誕生した。時代の変遷のなかで、彼らは写真表現の可能性を探り、自らの姿勢や問題意識を明らかにしてきた。

本展では、日本における写真黎明期の礎となったフェリチェ・ベアトや下岡蓮杖らの作品にはじまり、明治、大正、昭和、平成と国内外で高い評価を受けた日本人写真家の代表作を1点ずつ、銀塩プリントで紹介した。現在、デジタル技術のめざましい進歩に伴い、写真をめぐる環境も人々の意識も刻々と変化している。101点からなる、日本の写真史を通観する本展には、写真の在りように対する多様なメッセージが込められていた。

なお、会期中に一般から「あなたの1枚」を公募し、5月21日(火)から企画展示室前ギャラリーに展示した。また、6月15日(土)に郡山市観光課主催、当館協力で美術館敷地内で撮影会を行い、その成果として17点を会期終了後にロビーに展示した。

#### 関連行事

- 講演会「日本の写真史をひもとく」  
講師：飯沢耕太郎(写真、映像評論家)  
日時：令和元年5月18日(土)午後2時から  
場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク  
講師：永山多貴子(当館主任主査)、田中有沙子(当館学芸員)、杉原聡(当館主任主査)、菅野洋人(当館主任主査)  
日時：平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月・休)午後2時から  
※4月27日、29日、5月6日：永山 28日、30日、5月5日：田中  
5月1日～3日：杉原 5月4日：菅野  
場所：企画展示室
- 美術講座「写真と絵画の出会いと関係」  
講師：永山多貴子  
日時：令和元年6月16日(日)午後2時から  
場所：講義室
- 映画上映「あゝ、荒野」前篇  
日時：令和元年6月8日(土)午後1時30分から  
場所：多目的スタジオ
- 映画上映「あゝ、荒野」後篇  
日時：令和元年6月9日(日)午後1時30分から  
場所：多目的スタジオ

「私の1枚」日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」展

FUJIFILM PHOTO COLLECTION

"My One Shot" - single images of leading pioneers of Japanese photographic history

2019.4/20 SAT ▶ 6/23 SUN

郡山市立美術館  
Koriyama City Museum of Art  
https://www.city.koriyama.lg.jp/q/arts/

ポスター

フジフィルム・フォトコレクション

FUJIFILM

図録

○「あなたの1枚」展

会期:令和元年5月21日(火)~6月23日(日)

場所:企画展示室前ギャラリー

○郡山写真部フォトまちセミナー撮影作品展示

会期:令和元年6月26日(水)~7月12日(金)

場所:ロビー

発行物

『富士フィルム株式会社 創立80周年記念コレクション フジフィルム・フォトコレクション展 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」』

195×150mm 252ページ

発行日:平成28年3月25日

監修:山崎信(フォトクラシック)

監修協力:高橋則英(日本大学芸術学部写真学科)

編集:佐藤正子(コンタクト)、大澤友貴(フォトクラシック)

編集協力:シュテファン・ヴェーラー

執筆:飯沢耕太郎、井桜直美、打林俊、大澤友貴、佐藤正子、高橋則英、鳥原学、山崎信、山田明子

発行:富士フィルム株式会社

内容:ご挨拶/高橋則英「フジフィルム・フォトコレクション」によせて/カタログ/索引/作品リスト/技法解説/謝辞

※特装版有。

関連記事

「有名写真家の「私の1枚」」、「福島民友」令和元年5月4日付。

「日本の写真史飾る作家の代表作並ぶ 郡山市立美術館「フジフィルムコレクション」、「福島民報」令和元年5月5日付。

伊藤雅将「写真家101人 渾身の1枚 郡山でフジフィルム・フォトコレクション展」、「福島民友」令和元年5月8日付。

「フジフィルム・フォトコレクション展 日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」」、「福島民友」令和元年5月10日付。

「編集日記」、「福島民友」令和元年5月15日付。



「あなたの1枚」展示



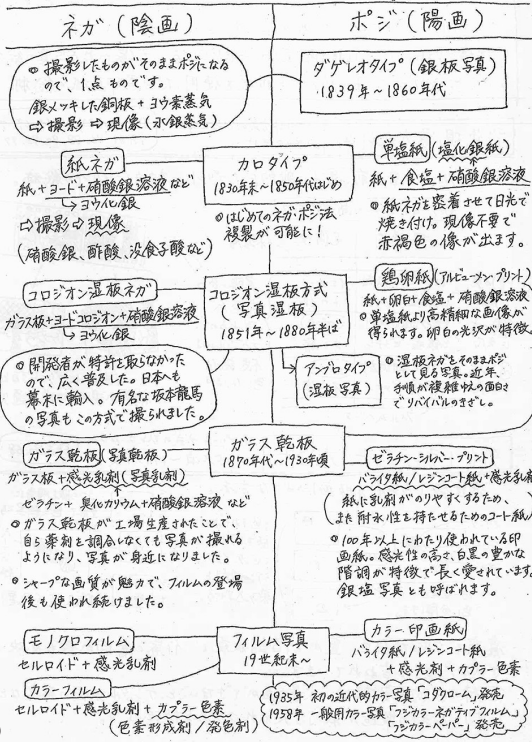
郡山写真部によるフォトまちセミナー（令和元年6月15日）

## 出品目録

No.	作家名	作品タイトル、シリーズ名	撮影年	プリント技法
1	フェリーチェ・ベアト	長崎、中島川	1865年頃	鶏卵紙
2	上野彦馬	長崎、中島川	1872年	鶏卵紙
3	下岡蓮杖	〈The Far East〉より 「果物売り」 「菘売り」 「フリキ職人」 「醤油売り」	1860年代半ば	鶏卵紙
4	内田九一	隅田川の舟遊び	1872年	ゼラチン・シルバー・プリント(複製)
5	日下部金兵衛	舞子の浜の人力車	1880年代	鶏卵紙に手彩色
6	小川一真	百美人	1891年	鶏卵紙に手彩色
7	鹿島清兵衛	ボン太	1895年頃	鶏卵紙に手彩色
8	福原信三	釣り(巴里とセイヌ)より	1913年	発色現像方式印画(複製)
9	塩谷定好	破船	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント
10	桑原甲子雄	麹町区馬場先門(現・千代田区)	1936年2月27日	ゼラチン・シルバー・プリント
11	安井仲治	海濱	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
12	福原路草	不詳 新潟・関温泉にて	1938年	発色現像方式印画(複製)
13	田淵行男	初冬の浅間 黒斑山の中腹より	1940年	乾板/ゼラチン・シルバー・プリント
14	濱谷浩	歌ってゆく鳥追い 新潟 〈雪国〉より	1940年	ゼラチン・シルバー・プリント
15	岡田紅陽	東海の松 毘沙門 静岡県	1944年	ゼラチン・シルバー・プリント
16	影山光洋	手づくりの小麦の収穫祝いの食卓	1946年6月25日	ゼラチン・シルバー・プリント
17	林忠彦	太宰治	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント
18	杵島隆	老婆像	1948年	ゼラチン・シルバー・プリント
19	植田正治	パパとママとコドモたち	1949年	ゼラチン・シルバー・プリント
20	木村伊兵衛	秋田おぼこ 秋田・大曲	1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
21	渡部義雄	内宮正殿北西側全景 〈伊勢神宮〉より	1953年	ゼラチン・シルバー・プリント
22	岩宮武二	マヌカン	1954年	発色現像方式印画
23	大竹省二	ヘルベルト・フォン・カラヤン	1954年	ゼラチン・シルバー・プリント
24	大辻清司	陳列窓	1955年	ゼラチン・シルバー・プリント
25	田沼武能	真知子巻でお使い 東京・佃島	1955年	ゼラチン・シルバー・プリント
26	鋤田正義	母	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
27	長野重一	5時のサラリーマン 東京・丸の内 〈ドリームエイジ〉より	1959年	ゼラチン・シルバー・プリント
28	石元泰博	シカゴ 子供 〈シカゴ、シカゴ〉より	1958-61年	ゼラチン・シルバー・プリント
29	川田喜久治	日の丸 〈地図〉より	1960年	ゼラチン・シルバー・プリント
30	細江英公	薔薇刑 #32	1961年	ゼラチン・シルバー・プリント
31	緑川洋一	瀬戸内海・島と灯台	1962年頃	発色現像方式印画
32	芳賀日出男	正月と盆 横手万歳	1962年	ゼラチン・シルバー・プリント
33	富山治夫	過密 〈現代語感〉より	1964年	ゼラチン・シルバー・プリント
34	白旗史朗	冬の晨 箱根姥子	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント
35	高梨豊	〈東京人〉より	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント
36	立木義浩	〈舌出し天使〉より	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント
37	桑原史成	“生ける人形”とも言われた少女 〈水俣〉より	1966年	ゼラチン・シルバー・プリント
38	坂田栄一郎	〈Just Wait〉より	1966年	ゼラチン・シルバー・プリント
39	篠山紀信	〈誕生〉より	1967年	ゼラチン・シルバー・プリント
40	土門拳	弥勒堂釈迦如来坐像左半面相 〈室生寺〉より	1967年	ゼラチン・シルバー・プリント
41	広田尚敬	C57 動輪 秋田・土崎	1967年	ゼラチン・シルバー・プリント
42	小川隆之	〈New York Is〉より	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント
43	久保田博二	沖縄	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント
44	土田ヒロミ	愛知 一色黒沢 〈俗神〉より	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント
45	荒木経惟	〈センチメンタルな旅〉より	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
46	沢渡朔	〈NADIA〉より	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
47	十文字美信	Untitled 〈首なし〉より	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
48	鈴木清	女、川崎 〈流れの歌〉より	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
49	東松照明	波照間島	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
50	森山大道	三沢の犬	1971年	ゼラチン・シルバー・プリント
51	北井一夫	長崎・平戸 〈村へ〉より	1972年	ゼラチン・シルバー・プリント
52	田村彰英	YOKOHAMA 〈午後〉より	1972年	ゼラチン・シルバー・プリント

No.	作家名	作品タイトル、シリーズ名	撮影年	プリント技法
53	奈良原一高	アメリカ・インディアン村の二つのゴミ缶〈消滅した時間〉より	1972年	ゼラチン・シルバー・プリント
54	森永純	福岡県能古島 〈波一海〉より	1972年	ゼラチン・シルバー・プリント
55	有田泰而	First Born	1973年	ゼラチン・シルバー・プリント
56	木ノ下晃	Alfred Brendel 〈世界の音楽家〉より	1974年	ゼラチン・シルバー・プリント
57	原直久	レ・アール市場跡 〈Paris〉より	1974年	ゼラチン・シルバー・プリント
58	江成常夫	スラムのアパートの三人家族7ストリート、東111番地 New York〈ニューヨークの百家族〉より	1975年	ゼラチン・シルバー・プリント
59	倉田精二	池袋・光町大橋近く 東京 池袋〈FLASH UP〉より	1975年	ゼラチン・シルバー・プリント
60	杉山守	ベンジンボトル 〈STILL LIFE〉より	1975年	ゼラチン・シルバー・プリント
61	秋山亮二	〈津軽 聊爾先生行状記〉より	1976年	ゼラチン・シルバー・プリント
62	操上和美	海を見る 〈陽と骨〉より	1976年	ゼラチン・シルバー・プリント
63	須田一政	山形 銀山温泉 〈風姿花伝〉より	1976年	ゼラチン・シルバー・プリント
64	南川三治郎	ジョアン・ミロ 〈アトリエの巨匠たち〉より	1976年	発色現像方式印画
65	石内都	絶唱・横須賀ストーリー	1977年	ゼラチン・シルバー・プリント
66	牛腸茂雄	〈SELF AND OTHERS〉より	1977年	ゼラチン・シルバー・プリント
67	深瀬昌久	鴉 金沢 〈鴉〉より	1977年	ゼラチン・シルバー・プリント
68	前田真三	麦秋鮮烈	1977年	ダイトランスファー・プリント
69	中村征夫	海軍コマンドに憑かれた男たち	1978年	発色現像方式印画
70	山崎博	〈HELIOGRAPHY〉より	1978年	ゼラチン・シルバー・プリント
71	北島敬三	新宿二丁目のゲイボーイ 〈東京1979〉より	1979年	ゼラチン・シルバー・プリント
72	水越武	天に登る光跡 カラコルム・パキスタン	1979年	ゼラチン・シルバー・プリント
73	入江泰吉	斑鳩の里落陽 法隆寺塔	1980年頃	発色現像方式印画
74	大西みつぐ	根津 〈Wonderland 1980~1989〉より	1980年	ゼラチン・シルバー・プリント
75	鳥尾伸三	〈生活〉より	1980年	ゼラチン・シルバー・プリント
76	普後均	「暗転」シリーズより	1980年	ゼラチン・シルバー・プリント
77	ハービー・山口	GALAXY, London	1981年	ゼラチン・シルバー・プリント
78	伊藤義彦	Imagery 72-82011, 1982	1982年	ゼラチン・シルバー・プリント
79	山沢栄子	What I'm doing #24 〈What I'm doing〉より	1982年	発色現像方式印画
80	清家富夫	〈Portrait of ZOE〉より	1983年	ゼラチン・シルバー・プリント
81	長倉洋海	一人、山上で本を読む戦士マズード アフガニスタン	1983年	発色現像方式印画
82	築地仁	写真像 #55 〈写真像〉より	1984年	ゼラチン・シルバー・プリント
83	水谷章人	〈白銀の閃光〉より	1984年	ゼラチン・シルバー・プリント
84	宮本隆司	解体中の有楽座、日比谷映画劇場から三信ビルを見る 〈建築の黙示録〉より	1984年	ゼラチン・シルバー・プリント
85	広川泰士	sonomama sonomama #26	1985年	ゼラチン・シルバー・プリント
86	伊奈英次	在日沖縄米軍楚辺通信所 〈ZONE〉より	1986年	発色現像方式印画
87	上田義彦	Robert Mapplethorpe	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント
88	竹内敏信	ファイヤーカーテン 三原山	1986年	発色現像方式印画
89	三好耕三	本荘 〈Picture Show 傍観〉より	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント
90	星野道夫	夕暮れの河を渡るカリーブ	1988年頃	発色現像方式印画
91	今道子	タコ+メロン	1989年	ゼラチン・シルバー・プリント
92	柴田敏雄	新潟県北魚沼郡湯之谷村 〈日本典型〉より	1989年	ゼラチン・シルバー・プリント
93	田中光常	オウサマベンギン サウスジョージア島	1992年	発色現像方式印画
94	齋藤亮一	スズダリ ロシア共和国 〈NOSTALGIA〉より	1993年	ゼラチン・シルバー・プリント
95	潮田登久子	東京 世田谷 〈冷蔵庫/Ice Box〉より	1994年	ゼラチン・シルバー・プリント
96	瀬戸正人	渋谷 〈Silent Mode〉より	1995年	ゼラチン・シルバー・プリント
97	野町和嘉	ライラト・カドルの礼拝 メッカ	1995年	発色現像方式印画
98	秋山庄太郎	薔薇	1996年頃	発色現像方式印画
99	佐藤時啓	光一呼吸 #275 Koto-ku Aomi	1996年	ゼラチン・シルバー・プリント
100	白岡順	フランス、ニーム 1999年7月13日	1999年	ゼラチン・シルバー・プリント
101	鬼海弘雄	歳の祝いの日 〈PERSONA〉より	2001年	ゼラチン・シルバー・プリント

写真が初めて発表されてから、2019年で180年になります。  
銀塩プリントの歴史を大まかに辿ってみましょう。



配付資料

### 写真プリント基礎知識



フジフィルム フォトコレクション展

では、様々な写真が101枚  
銀塩プリントで紹介されています。  
いくつかのプリント技法があり  
ますが、どのようなものでしょう？

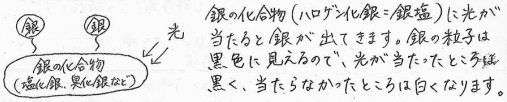


そもそも、「銀塩プリント」って？

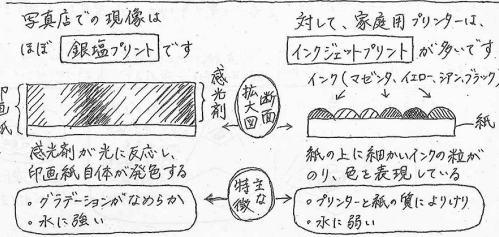
ざっくり言うと、銀の化学反応を使って像を写す方法です。

カメラのフィルムや印画紙(写真用の紙)には、  
感光剤という銀の化合物とゼラチンなどが  
混ぜたものが塗られています。光が当たった  
ところに化学反応が起き、像が現れます。

なぜ像が現れるの？

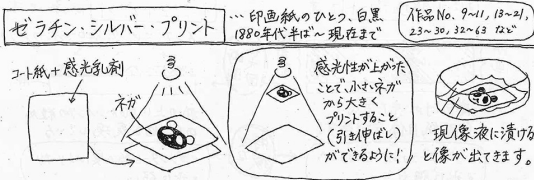
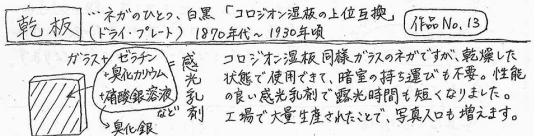
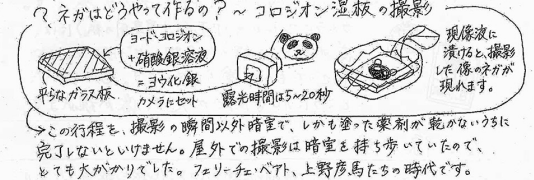
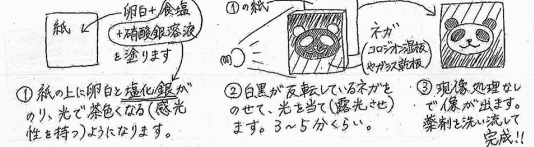


身近なカラープリントは？



### フジフィルム・フォトコレクションの技法

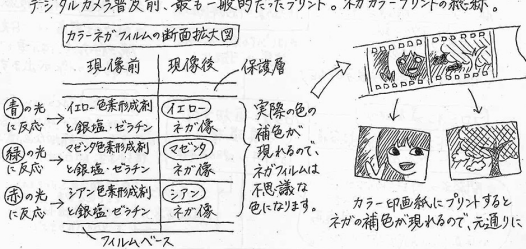
鳥卵紙... 印画紙のヒツ、セピア色 「古写真の代表格」 作品No. 1-3, 5-7  
(アルビオンプリント) 1850年~20世紀はじめ



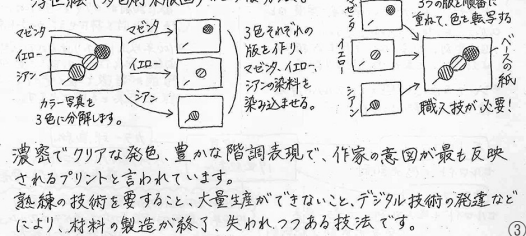
配付資料

写真用語の定義の解釈には幅があります。「銀塩プリント」が白黒写真  
のみを指したり、「ゼラチンシルバークラウド」がデジタル写真の対義語として使われたり。  
フジフィルム・フォトコレクション展では、次のように定義しています。  
銀塩プリント: ハロゲン化銀(銀塩)が光に反応することで像が出る写真の総称  
ゼラチンシルバークラウド: ゼラチンと銀塩と使用した白黒印画紙の総称

発色現像方式印画... プリント方式のヒツ、カラー 作品No. 22, 31, 64, 69, 73, 77, 81, 86, 88, 90, 93, 97, 98  
1940年代~



ダイトランスファープリント... プリント方式のヒツ、カラー 作品No. 68  
1945年頃~1995年頃



企画展

## くまのパディントン™展

会 期：2019(令和元)年7月6日(土)～9月8日(日)  
 主 催：郡山市立美術館、毎日新聞社  
 協 賛：ニューカラー写真印刷  
 後 援：プリティッシュ・カウンスル  
 協 力：コピーライツアジア、(公財) 東京子ども図書館、  
 福音館書店、理論社、WAVE 出版、日本  
 航空  
 監 修：松岡享子(東京子ども図書館名誉理事長)  
 学術協力：三宅興子(梅花女子大学名誉教授)、  
 河野芳英(大東文化大学教授)  
 観 覧 料：一般800円(640)円  
 高校・大学生・65歳以上500(400)円  
 ※( )内は団体料金。中学生以下、障がい者  
 手帳をお持ちの方は無料。

## 趣 旨

イギリスを代表する児童文学「パディントン」シリーズは、1958年に作家マイケル・ボンド(1926-2017)によって誕生した。その後、40以上の言語に翻訳・出版されるとともに、絵本・アニメ・映画やぬいぐるみなど幅広い分野で展開され、世界中で愛され続けている。

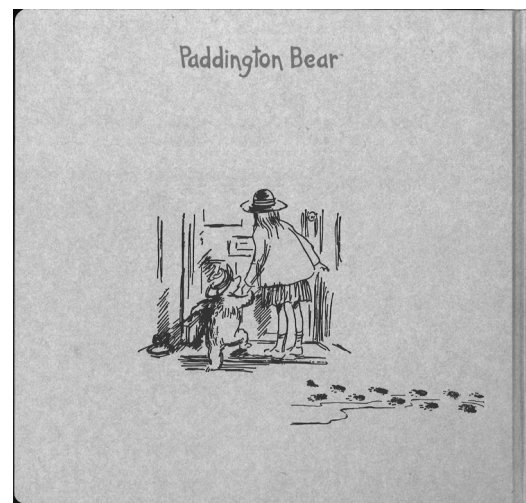
主人公は南米ペルーからロンドンにやってきた子グマで、パディントン駅でブラウン夫妻に会ったことから、パディントンと名付けられて家族として迎えられた。ダッフルコートに帽子をかぶったおちゃめで紳士なこの子グマが、様々な騒動を巻き起こしながら街の人気者になっていく物語である。児童書シリーズの挿絵でなじみのあるペギー・フォートナムをはじめ、様々な作家による絵本やマンガの原画、各国で出版された書籍等に加え、生前のボンド氏の貴重なインタビュー映像など通して、パディントンの世界を紹介した。

## 関連行事

- 講演会：「イギリス児童文学の系譜：ナーサリー・ライムから『くまのパディントン』まで」  
 講師：河野芳英(大東文化大学教授・本展学術協力者)  
 日時：令和元年8月11日(日)午後2時から  
 場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク  
 講師：富岡進一(当館主任学芸員)、菅野洋人(当館主任主査)  
 日時：令和元年7月7日(日)、7月28日(日)午後2時から  
 場所：企画展示室
- 美術講座「パディントンの魅力」  
 講師：富岡進一  
 日時：令和元年7月14日(日)午後2時から  
 場所：講義室
- 美術講座「パディントンとロンドン巡り」  
 講師：菅野洋人  
 日時：令和元年8月18日(日)午後2時から  
 場所：講義室
- 映画会：「パディントン」  
 日時：令和元年7月20日(土)午後2時から  
 場所：多目的スタジオ
- 映画会：「パディントン2」  
 日時：令和元年8月25日(日)午後2時から  
 場所：多目的スタジオ



ポスター



図録



○グリーンディングイベント「パディントンが美術館にやってくる!」

日時:令和元年7月15日(月・祝)、20日(土)、8月25日(日)、9月8日(日)午前11時から

場所:企画展示室前

## 発行物

『くまのパディントン™展図録』

205×215mm 156ページ

発行日:平成30年

編集:大竹真由(美術館「えき」KYOTO学芸員)、田中伶・南田奈穂(毎日新聞社)、コピーライツアジア

デザイン・制作・印刷:ニューカラー写真印刷株式会社

発行:毎日新聞社

内容:ごあいさつ／第I章 パディントンの物語／第II章 パディントン誕生秘話／第III章 世界のパディントン／第IV章 パディントン大活躍／第V章 おわりに／もっとパディントン

## 関連記事

「東北初「くまのパディントン展」 郡山で6日から」、「毎日新聞」福島版、令和元年7月3日付。

「郡山でパディントン展 きょうから 絵本原画、ぬいぐるみなど200点」、「毎日新聞」福島版、令和元年7月3日付。

「「くまのパディントン」原画や縫いぐるみ多彩 東北初、郡山で展示会」、「福島民報」郡山版、令和元年7月7日付。

「パディントン見に来て 東北初 郡山市立美術館で巡回展」、「福島民友」、令和元年7月8日付。

富岡進一「「くまのパディントン展」作品紹介 1 甘い物好き 子グマの紳士」、「毎日新聞」福島版、令和元年7月26日付。

「くまのパディントン展」、「福島民友」、令和元年7月26日付。

富岡進一「「くまのパディントン展」作品紹介 2 フラウン夫妻との出会い」、「毎日新聞」福島版、令和元年7月27日付。

富岡進一「「くまのパディントン展」作品紹介 3 作家によって違う魅力」、「毎日新聞」福島版、令和元年7月31日付。

富岡進一「「くまのパディントン展」作品紹介 4 幼いファン 後に共読者に」、「毎日新聞」福島版、令和元年8月1日付。

富岡進一「「くまのパディントン展」作品紹介 5 英国の文化、生活を反映」、「毎日新聞」福島版、令和元年8月8日付。

「「くまのパディントン展」郡山市立美術館で開催中」、「毎日新聞」、令和元年8月12日付。



ギャラリートーク (令和元年 7月 7日)



美術講座 (令和元年 7月 14日)

出品目録

作家	作品名	制作年	素材・技法
<b>第Ⅰ章 パディントンの物語</b>			
	パディントン駅に設置されているパディントンの銅像(複製)		
	パディントン駅の時刻表	1958年	
	パディントンの奥地帽(映画版複製)	2015年	
ベギー・フォートナム	『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』の挿絵原画	1958年	ペン・インク、紙
ベギー・フォートナム	『パディントン』 シリーズの挿絵(複製) 80点		
ベギー・フォートナム	『パディントン街へ行く(Paddington Goes to Town)』の挿絵(複製) 3点		
<b>第Ⅱ章 パディントン誕生秘話</b>			
ガブリエル・デザインズ社製	クラシック・パディントン	1980年	
エンフィールド・ボックス社製	スーツケース	1980年	
	マイケル・ボンドが原稿をタイプするのに使用していたタイプライター	1960年代	
	マイケル・ボンドが家族の写真を撮る際に使っていた箱型カメラ	1930年代	
	マイケル・ボンドの署名入り 『パディントンのラストダグス(Paddington Takes the Air)』(初版)	1970年	書籍
	マイケル・ボンドが使用していたオックスフォード英語辞典		
	オックスフォードストリート (正面奥にセルフリッジ百貨店)	1952年	写真
	マイケル・ボンドの署名入り写真		
	マイケル・ボンドの初期作品が掲載されている雑誌 『ロンドン・オペニオン』(1947年8月号、1949年9月号、1949年10月号、1949年クリスマス号、1952年6月号)	1947-52年	雑誌5冊
	マイケル・ボンド作『Jumping in at the Deep End: On Writing for Children』に掲載されたベギー・フォートナムによるパディントンの挿絵	1980年	
ラッセル・アッシュ／マイケル・ボンド	The Life and Times of Paddington Bear(くまのパディントンの生涯)	1988年	書籍
マイケル・ボンド	自叙伝Bears & Forebears: A Life so Far(ベアズ・アンド・フォーベアズ)	1996年	書籍
ジュニアファー・ウォーナー	The Unofficial History of the Paddington Bear(非公式パディントン史)	2014年	書籍
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	1993年9月20日	
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド自筆の手紙	1979年7月24日	
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	2017年5月29日	
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	2015年11月9日	
	パディントン宛てのファンレター (3通)		
	パディントンのパペットアニメシリーズが銀メダルを受賞したニューヨークのテレビ映画祭の賞状	1979年	
	マイケル・ボンドの署名入りグリーティング切手シート	1994年	
<b>第Ⅲ章 世界のパディントン</b>			
マイケル・ボンド作/フレッド・バンベリー画	絵本『パディントンのかいもの』(中村妙子訳、偕成社)	1973年	書籍
フレッド・バンベリー	絵本『パディントンのかいもの(Paddington Goes Shopping)』の原画 7点	1973年	水彩、紙
フレッド・バンベリー	絵本『パディントンのかいもの(Paddington Goes Shopping)』の下絵 2点	1973年	ペン・インク・色鉛筆・クレヨン・鉛筆、紙
マイケル・ボンド作/フレッド・バンベリー画	絵本『パディントン サーカスへ』(中村妙子訳、偕成社)	1973年	書籍
フレッド・バンベリー	絵本『パディントン サーカスへ(Paddington at the Circus)』の原画	1973年	水彩、紙
フレッド・バンベリー	絵本『パディントン サーカスへ(Paddington at the Circus)』の下絵	1973年	ペン・インク・色鉛筆、紙
マイケル・ボンド作/ジョン・ロバン画	絵本『パディントン、えきにあられる』(青山南訳、ほるぷ出版)	1993年	書籍
ジョン・ロバン	『ブラウン夫妻、駅でパディントンと出会う』	1992年	ペン・水彩、紙
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンのアイスクリーム』(神鳥統夫訳、アリス館)	1985年	書籍
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのアイスクリーム(Paddington and the Knickerbocker Rainbow)』の原画 2点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンのてんらんかい』(神鳥統夫訳、アリス館)	1985年	書籍
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのてんらんかい(Paddington's Painting Exhibition)』の原画 10点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンとゆうえんち』(神鳥統夫訳、アリス館)	1985年	書籍
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンとゆうえんち(Paddington at the Fair)』の原画 15点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本Paddington Minds the House(パディントン家事をする)の原画 9点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本Paddington at the Palace(パディントンと宮殿)の表紙原画	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本Paddington at the Palace(パディントンと宮殿)の原画 9点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本Paddington and the Marmalade Maze(パディントンとママレード迷路)の表紙原画	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本Paddington and the Marmalade Maze(パディントンとママレード迷路)の原画 11点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのふしぎなクリスマス(Paddington's Magical Christmas)』の原画 3点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(パペット)	1974年	
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(ゴルフ)	1981年	

作家	作品名	制作年	素材・技法
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(オペラ)	1981年	
R.W.アリー	絵本『クマのパディントン(Paddington)』の原画 8点	2007年	ペン・インク・水彩、紙
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本Paddington and the Christmas Surprise(パディントンのクリスマス)	2008年	書籍
R.W.アリー	絵本『パディントンのクリスマス(Paddington and the Christmas Surprise)』の表紙原画	2014年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンのクリスマス(Paddington and the Christmas Surprise)』の原画 4点	1997年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンのサーカス(Paddington at the Circus)』の原画 4点	2000年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンのマーメイド迷路(Paddington and the Marmalade Maze)』の表紙原画(部分)	1999年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンのマーメイド迷路(Paddington and the Marmalade Maze)』の原画 3点	1999年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンの金メダル(Paddington Goes for Gold)』の原画 5点	2012年	ペン・インク・水彩、紙
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本Paddington in the Garden(パディントンのにわづくり)	2002年	書籍
R.W.アリー	絵本『パディントンのにわづくり(Paddington in the Garden)』の表紙原画(部分)	2002年	ペン・インク・水彩、紙
R.W.アリー	絵本『パディントンのにわづくり(Paddington in the Garden)』の原画 3点	2002年	ペン・インク・水彩、紙
シュタイフ社製	パディントン ベア	2017年	
シュタイフ社製	パディントン ベア(オーナメント)	2007年	
シュタイフ社製	パディントン ベア	2014年	
<b>世界のパディントン</b>			
ベギー・フォートナム画	『パディントンの一周年記念(Paddington Helps Out)』の表紙原画	1960年	
マイケル・ボンド	デンマーク語版『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』(初版)	1961年	書籍
マイケル・ボンド	オランダ語版『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』		書籍
マイケル・ボンド作/アイバー・ウッド画	絵本Paddington's Party Book(パディントンのパーティーブック)	1976年	書籍
マイケル・ボンド	ヘブライ語版『パディントンのクリスマス(More About Paddington)』		書籍
マイケル・ボンド	アイスランド語版『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』	1971年	書籍
マイケル・ボンド	韓国語版『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』	1999年	書籍
マイケル・ボンド	ラテン語版『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』	1999年	書籍
マイケル・ボンド	ノルウェー語版『パディントンとテレビ(Paddington at Large)』	1976年	書籍
マイケル・ボンド	フランス語版絵本Paddington in the Kitchen(パディントンとキッチン)	1978年	書籍
マイケル・ボンド	『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』17版	1981年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本Paddington at the Zoo(パディントンと動物園)	1998年	書籍
マイケル・ボンド/フレッド・バンベリー画	絵本『くまのパディントン(Paddington Bear)』	1972年	書籍
マイケル・ボンド	ポルトガル語版『パディントンの一周年記念(Paddington Helps Out)』	2000年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ロシア語版絵本『くまのパディントン』/『パディントンのにわづくり』(2巻1組)	2008年	書籍(2巻1組)
マイケル・ボンド	スペイン語版『くまのパディントン』	1999年	書籍
マイケル・ボンド	スウェーデン語版The Adventures of Paddington(パディントンの冒険)	1966年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	フィンランド語版絵本『パディントンのにわづくり』	2009年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ハンガリー語版絵本『クマのパディントン』	2008年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ポーランド語版絵本『くまのパディントン』	2007年	書籍
マイケル・ボンド、カン・ジョンケル作/R.W.アリー画	絵本Paddington Goes to Hospital(パディントン病院に行く)	2001年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本Paddington Bear My Scrapbook(パディントンの切り抜き帳)	1999年	書籍
マイケル・ボンド	オランダ語版『パディントン(Paddington)』	1963年	書籍
マイケル・ボンド	中国語版『パディントンの大切な家族(Paddington on Top)』(出版50周年記念版)	2008年	書籍
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本Paddington and the Grand Tour(パディントンとグランド・ツアー)	2003年	書籍
<b>日本とパディントン</b>			
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『くまのパディントン』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1967年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンのクリスマス』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1968年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンの一周年記念』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1969年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントン フランスへ』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1970年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンとテレビ』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1971年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンの煙突掃除』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1977年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンの妙技公開』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1989年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントン街へいく』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンのラストダンス』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	日本
マイケル・ボンド作/ベギー・フォートナム画	『パディントンの大切な家族』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	日本
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	『クマのパディントン』(木坂涼訳、理論社)	2012年	日本
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	『パディントンのにわづくり』(木坂涼訳、理論社)	2013年	日本

作家	作品名	制作年	素材・技法
マイケル・ボンズ作/R.W.アリー画	『パディントンの金メダル』(木坂涼訳、理論社)	2013年	日本
マイケル・ボンズ作/R.W.アリー画	『パディントンのマーメイド迷路』(木坂涼訳、理論社)	2015年	日本
マイケル・ボンズ作/R.W.アリー画	『パディントンのクリスマス』(木坂涼訳、理論社)	2017年	日本
マイケル・ボンズ作/R.W.アリー画	『パディントンのサーカス』(木坂涼訳、理論社)	2017年	日本
マイケル・ボンズ作/ベギー・フォートナム画	『パディントン、テストをうける』(三辺律子訳、WAVE出版)	2017年	日本
マイケル・ボンズ作/ベギー・フォートナム、R.W.アリー画	『パディントンのどろぼう退治』(三辺律子訳、WAVE出版)	2018年	日本
マイケル・ボンズ作/ベギー・フォートナム、R.W.アリー画	『パディントン、映画に出る』(三辺律子訳、WAVE出版)	2018年	日本
福音館書店	パディントン出版50周年記念リーフレット『パディントン大好き』	2008年	日本
マイケル・ボンズ	マイケル・ボンズ氏から松岡享子氏への手紙	1974年	
田中琢治	田中琢治氏から松岡享子氏への手紙		
<b>第IV章 パディントン大活躍</b>			
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンと性格診断機」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン マーメイドのネットワークを手がける」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 大きい小さい」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンの鳥笛」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ビルエットをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ブラウンさんの奥さんにプレゼントを贈る」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 手品師のパディントン」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 自分のビンテージマーメイドを掘り出す」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 水やりをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「水泳のパディントン グレース」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
マイケル・ボンズ作/アイバー・ウッド画	絵本Paddington's Pop-Up Book (パディントンの飛び出す絵本)	1977年	書籍
アイバー・ウッド	4コマ漫画「水泳のパディントン アームフロート」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 精神分析医のソファで」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン シネマへ」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンの思い出 寝ること」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
R.ジョン・ライト社製	着せ替え付パディントン	2002年	
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ギターを弾く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 1曲吹く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 「キングコング」を読む」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 偉大な芸術家」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンのなぞなぞ」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ワイン試飲会で」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ミステリーツアー」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 買い物かご」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン グランドコンサートで」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 絵を描く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
エデン社製	クリスマス パディントン ベア(ボードブックPaddington's Holiday Fun!付き)	1996年	
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ビンテージワイン」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンとメイボール」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンと花火」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン トランプをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、紙・フィルム
フィルムフェア社	パベットアニメ「パディントン」で使用されていた登場人物	1974-83年	
マイケル・ボンズ	パベットアニメ第2話「クマとお風呂」の台本		
フィルムフェア社	パベットアニメのための小道具	1974-83年	
アイバー・ウッド	パベットアニメのためのウインザー・ガーデン32番地の玄関のセットとパディントンの可動パベット	1974年-1983年	
アイバー・ウッド	商品化のためのアイデア画 8点	1970年代後半	ペン・ポスターカラー、紙
ハリー・メイシー	商品化のためのアイデア画	1980年	ペン・ポスターカラー・水彩、紙・フィルム
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(ラグビー)	1980年	
ガブリエル・デザインズ社製	ルーシーおばさん	1978年	
レインボー・デザインズ社製	パディントン ベア	2000年代	
レインボー・デザインズ社製	ガブリエル社製モデルの限定パディントン	2001年	
セキグチ社製	モヘア・パディントン ベア(木箱付300体限定モデル#226)	2002年	
カンタベリー・ベアーズ社製	パディントン ベア	2001年	

作家	作品名	制作年	素材・技法
シュタッフ社製	パディントン ベア	2003年	
シュタッフ社製	パディントン ベア(オーナメント)	2004年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2005年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2005年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2007年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2007年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2008年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2009年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2010年	
シュタッフ社製	パディントン ベア(キーリング)	2012年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2012年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2014年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2015年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2017年	
シュタッフ社製	パディントン ベア	2017年	
	パディントン関連雑貨		
バーナード・クリピンス歌	EPLレコード「くまのパディントン(Paddington Bear)」	1974年	
ロバートソン社製	パディントンのママレードプレミアムセット	2010年	
ロイターボーセリン社製	パディントンベアの食器セット	1998年	
バリー・ウィルキンソン	Paddington Goes to Work(パディントン仕事に行く)の原画 2点	1970年代頃	
バリー・ウィルキンソン	「パディントンの家」のストーリーボード 16点		
<b>第V章 おわりに</b>			
	マイケル・ボンドのサイン	2016年12月	色紙
ベギー・フォートナム画	『パディントン、テストをうける(Paddington Takes the Test)』の挿絵原画	1979年	ペン・インク、紙



グリーティング・イベント (令和元年 8月 25日)



グリーティング・イベント (令和元年 9月 8日)

## 志村ふくみ展 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

会 期：2019(令和元)年9月21日(土)～11月4日(月・休)  
 前期：9月21日(土)～10月14日(月・祝)  
 後期：10月16日(水)～11月4日(月・休)  
 ※10月13日(日)は台風19号の影響により臨時休館。

主 催：郡山市立美術館 NHK プラネット東北  
 特別協力：滋賀県立近代美術館  
 制作協力：NHK プロモーション  
 観 覧 料：一般1,000円(800)円  
 高校・大学生・65歳以上800(640)円  
 ※( )内は団体料金。中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

### 趣 旨

志村ふくみは、1924(大正13)年に医師の小野元澄、豊の次女として生まれた。32歳の時、両親の住む滋賀県近江八幡に転居し、独自に染めと織りを学び、以来、染織家としてひたむきに制作活動を続けてきた。2015(平成27)年には文化勲章を受章し、90歳代半ばとなる現在も、その創作意欲と思索する姿勢は変わっていない。

志村の作品は、自然界における色の不思議と摂理、日本文化に対する深い考察に支えられている。植物染色、紬糸、平織りという素朴で伝統的な素材、技術を徹底して追求し、詩想あふれる多彩なテーマと豊かな色彩、そして物事の核心に触れる言葉を調査させた独自のものである。

本展では、滋賀県立近代美術館が所蔵するコレクションと、作家自身の所蔵による重要な作品約100点によって、前期と後期で染織家志村ふくみの歩みをたどった。

### 関連行事

- 講演会：「志村ふくみの作風の展開」  
 講師：佐治ゆかり(当館館長)  
 日時：令和元年11月2日(土)午後2時から  
 ※10月13日(日)に予定していたが台風19号による臨時休館となり日程を変更した。  
 場所：多目的スタジオ
- ギャラリートーク  
 講師：佐治ゆかり  
 日時：令和元年10月5日(土)、26日(土)午後2時から  
 場所：企画展示室

### 発行物

『志村ふくみ いのちを織る』  
 255×190mm 208ページ  
 発行日：平成31年4月6日  
 企画・監修・執筆：佐治ゆかり(郡山市立美術館)、今瀬佐和(茨城県近代美術館)、山口真有香(滋賀県立近代美術館)、大原由佳子(滋賀県立近代美術館)、株式会社NHKプロモーション  
 編集協力：笠井木々路  
 発行：株式会社東京美術



ポスター

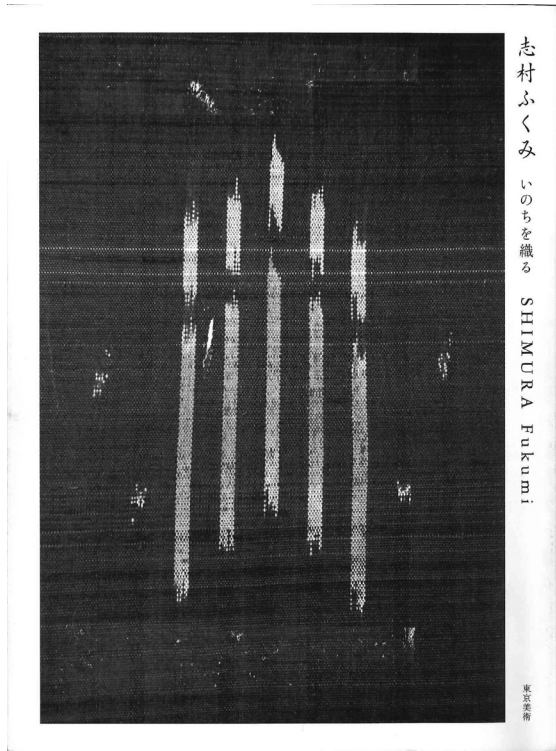


チラシ

内容:ごあいさつ／志村ふくみ「開催によせて」／会期・会場／謝辞／佐治ゆかり「志村ふくみ 機のおゆみ」第一章近江八幡にて／第二章嵯峨Ⅰ／第三章嵯峨Ⅱ／山口真有香「滋賀県立近代美術館の志村ふくみコレクションについて」／今瀬佐和「志村ふくみの織りについて考える」／技法・用語解説／志村ふくみ略年譜／参考文献／作品リスト

## 関連記事

「つむぎ織りの魅力紹介 郡山市立美術館 志村ふくみ展開催中」、「福島民友」令和元年10月30日付。



図録



ギャラリートーク (令和元年 10月5日)

出品目録

第1章 近江八幡にて

No	作品名	参考の読み方	制作年	材質・技法	初出歴・備考	前期	後期
1	方形文綴織単帯	ほうけいもんつづれおりひとえおび	昭和32年(1957)	絹糸、糸糸、植物染料・綴織	第4回日本伝統工芸展 個人蔵	○	○
2	秋霞	あきがすみ	昭和33年(1958)	絹糸、植物染料・紬織	第5回日本伝統工芸展 個人蔵	○	○
3	鈴虫	すずむし	昭和34年(1959)	絹糸、植物染料・紬織		○	
4	七夕	たなばた	昭和35年(1960)	絹糸、植物染料・紬織	第7回日本伝統工芸展	○	
5	蘇芳堅縞	すおうたてじま	昭和35年(1960)	絹糸、植物染料・紬織			○
6	霧	きり	昭和36年(1961)	絹糸、植物染料・紬織	第8回日本伝統工芸展		○
7	芦刈	あしかり	昭和36年(1961)	絹糸、植物染料・紬織		○	
8	竹篋	たけのたかむら	昭和37年(1962)	絹糸、植物染料・紬織	第17回新匠展(高島屋)		○
9	蘇芳格子	すおうこうし	昭和37年(1962)	絹糸、植物染料・紬織	第17回新匠展(高島屋)	○	
10	結紋蘇芳格子	むすびもんすおうこうし	昭和37年(1962)	絹糸、植物染料・紬織	第9回日本伝統工芸展		○
11	朝	あさ	昭和37年(1962)	絹糸、植物染料・紬織		○	
12	藍蘇芳格子	あいすおうこうし	昭和38年(1963)	絹糸、植物染料・紬織			○
13	藍堅暈し	あいたてほかし	昭和38年(1963)	絹糸、植物染料・紬織		○	
14	水煙	すいえん	昭和38年(1963)	絹糸、植物染料・紬織			○
15	竹の秋	たけのあき	昭和38年(1963)	絹糸、植物染料・紬織	第18回新匠展(高島屋)	○	
16	春泥	しゅんでい	昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第1回日本染織展		○
17	杜	もり	昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	第11回日本伝統工芸展	○	
18	みなくれない		昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	第11回日本伝統工芸展		○
19	初雪	はつゆき	昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	第1回個展(資生堂ギャラリー)	○	
20	夕虹	ゆいりじ	昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	第1回個展(資生堂ギャラリー)		○
21	翁格子	おきなこうし	昭和39年(1964)	絹糸、植物染料・紬織	第1回個展(資生堂ギャラリー)	○	
22	絲遊	かぎろひ	昭和40年(1965)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第2回日本染織展	○	
23	蘇芳堅縞	すおうたてじま	昭和40年(1965)	絹糸、植物染料・紬織	第12回日本伝統工芸展		○
24	水草(萍)	みずくさ (うきくさ)	昭和40年(1965)	絹糸、植物染料・紬織	第12回日本伝統工芸展		○
25	楽浪	さざなみ	昭和41年(1966)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第3回日本染織展	○	
26	雁	かり	昭和41年(1966)	絹糸、植物染料・紬織	第13回日本伝統工芸展		○
27	朱の堅縞	しゆのたてじま	昭和41年(1966)	絹糸、植物染料・紬織	第13回日本伝統工芸展	○	
28	藍暈し	あいほかし	昭和42年(1967)	絹糸、植物染料・紬織	第14回日本伝統工芸展		○
29	露	つゆ	昭和42年(1967)	絹糸、植物染料・紬織	第14回日本伝統工芸展	○	
30	茜	あかね	昭和42年(1967)	絹糸、植物染料・紬織	第2回個展(資生堂ギャラリー)		○

第2章 嵯峨I

No	作品名	参考の読み方	制作年	材質・技法	初出歴・備考	前期	後期
31	絲遊(2)	かぎろひ	昭和44年(1969)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第6回日本染織展	○	
32	蓬生	よもぎう	昭和44年(1969)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第6回日本染織展		○
33	窗	まど	昭和44年(1969)	絹糸、植物染料・紬織	第16回日本伝統工芸展	○	
34	色と光のころみ	いろとひかりのころみ	昭和45年(1970)	絹糸、植物染料・紬織	第3回個展(資生堂ギャラリー) 個人蔵	○	○
35	海月	かいげつ	昭和45年(1970)	絹糸、植物染料・紬織	第3回個展(資生堂ギャラリー)	○	
36	梶子熨斗目	くちなしのしめ	昭和45年(1970)	絹糸、植物染料・紬織	第3回個展(資生堂ギャラリー)		○
37	猩猩	しょうじょう	昭和45年(1970)	絹糸、植物染料・紬織	第3回個展(資生堂ギャラリー)	○	
38	シヤム(暹羅)	しゃむ	昭和45年(1970)	絹糸、植物染料・紬織	第3回個展(資生堂ギャラリー)		○
39	藍緋	あいかすり	昭和46年(1971)	絹糸、植物染料・紬織		○	
40	蘇芳赤黒格子	すおうあかくろこうし	昭和46年(1971)	絹糸、植物染料・紬織		○	
41	ヘルシャ格子	へるしゃこうし	昭和49年(1974)	絹糸、植物染料・紬織			○
42	蘇芳無地	すおうむじ	昭和49年(1974)	絹糸、植物染料・紬織			○
43	紫の壺	むらさきのいち	昭和49年(1974)	絹糸、植物染料・紬織	第21回日本伝統工芸展	○	
44	紅糞(桜かさね)	べにかさね (さくらかさね)	昭和51年(1976)	絹糸、植物染料・平織	第4回個展(資生堂ギャラリー)	○	
45	黄格子	きこうし	昭和51年(1976)	絹糸、植物染料・紬織	第4回個展(資生堂ギャラリー)	○	
46	萌黄格子	もえぎこうし	昭和51年(1976)	絹糸、植物染料・紬織	第4回個展(資生堂ギャラリー)		○
47	紫根格子	しこんこうし	昭和51年(1976)	絹糸、植物染料・紬織	第4回個展(資生堂ギャラリー)		○
48	志村ふくみ裂帖	しむらふくみきれちよう	昭和52年(1977)	絹糸、植物染料・紬織		○	○
49	藍十字緋	あいじゅうじかすり	昭和52年(1977)	絹糸、植物染料・紬織			○
50	楸緋紋	ひさぎかすりもん	昭和54年(1979)	絹糸、植物染料・紬織	第8回日本工芸会近畿支部展		○
51	湖上夕照	こじょうせきしやう	昭和54年(1979)	絹糸、植物染料・紬織	第26回日本伝統工芸展	○	
52	桜染熨斗目緋	さくらぞめのしめかすり	昭和55年(1980)	絹糸、植物染料・紬織			○
53	熨斗目(生絹)	のしめ (すずし)	昭和56年(1981)	絹糸、植物染料・平織	第7回個展(壺中居)	○	
54	石斛	せつこく	昭和56年(1981)	絹糸、植物染料・紬織	第7回個展(壺中居)	○	
55	若柳	わかやなぎ	昭和56年(1981)	絹糸、植物染料・紬織	第7回個展(壺中居)	○	
56	紫根緋	しこんかすり	昭和58年(1983)	絹糸、植物染料・紬織			○
57	五節(No.1)	ごせち	昭和58年(1983)	絹糸、植物染料・紬織	第8回個展(資生堂ギャラリー)		○
58	雛祭	ひなまつり	昭和58年(1983)	絹糸、植物染料・紬織			○
59	風鐸	ふうたく	昭和59年(1984)	絹糸、植物染料・紬織	第31回日本伝統工芸展	○	
60	裂の宮(裂づくし)	きれのはこ (きれづくし)	昭和59年(1984)	各(縦)20.8×(横)19.2 紬織裂		○	○
61	山野	さんや	昭和59年(1984)	絹糸、植物染料・紬織	第8回個展(資生堂ギャラリー)		○
62	花かげ(色と光)	はなかげ (いろとひかり)	昭和59年(1984)	絹糸、植物染料・紬織	第8回個展(資生堂ギャラリー)	○	
63	水浅葱段(臭木染)	みずあざぎだん (くさぎぞめ)	昭和59年(1984)	絹糸、植物染料・紬織			○
64	雪の戸	ゆきのと	昭和60年(1985)	絹糸、植物染料・紬織	伝統工芸第22回日本染織展	○	
65	越前緋	えちぜんかすり	昭和60年(1985)	絹糸、植物染料・紬織			○
66	浅緑茶緋(れんげ染)	あさみどりちゃかすり	昭和60年(1985)	絹糸、植物染料・紬織		○	



No.	作品名	参考の読み方	制作年	材質・技法	初出歴・備考	前期	後期
67	冬青段	そよごだん	昭和61年(1986)	絹糸、植物染料・絨織			○
68	織部段	おりべだん	昭和62年(1987)	絹糸、植物染料・絨織		○	
69	匂蘭	こうらん	昭和62年(1987)	絹糸、植物染料・絨織	第9回個展(壺中居)		○
70	紅花すずし(生絹)	べにばなすずし(すずし)	昭和62年(1987)	絹糸、植物染料・平織	第9回個展(壺中居)		○
71	常寂光寺の桜	じょうじくわうじのさくら	昭和62年(1987)	絹糸、植物染料・絨織	第9回個展(壺中居)	○	
72	どんぐりグレイの段	どんぐりぐれいのだん	昭和63年(1988)	絹糸、植物染料・平織			○
73	瑞穂	みずほ	昭和63年(1988)	絹糸、植物染料・絨織		○	
74	小督	こごう	平成元年(1989)	絹糸、植物染料・絨織			○
75	おだまき		平成元年(1989)	絹糸、植物染料・絨織		○	
76	聖堂	みどう	平成元年(1989)	絹糸、植物染料・絨織	伝統工芸第26回日本染織展		○

## 第3章 嵯峨Ⅱ

No.	作品名	参考の読み方	制作年	材質・技法	初出歴・備考	前期	後期
77	回帰	かいき	平成3年(1991)	絹糸、植物染料・絨織	第10回個展(壺中居)	○	
78	谷間の花	たにまのはな	平成4年(1992)	絹糸、植物染料・絨織		○	
79	杜若(緋)	かきつばた(かすり)	平成5年(1993)	絹糸、植物染料・絨織			○
80	切継-鬨斗目拾遺	きりつぎ-のしめしゅうい	平成6年(1994)	絹糸、植物染料・絨織			○
81	水門	すいもん	平成6年(1994)	絹糸、植物染料・絨織		○	
82	塔(雪)	とう(ゆき)	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・絨織	第11回個展(壺中居)	○	
83	塔(月)	とう(つき)	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・絨織	第11回個展(壺中居)	○	
84	塔(華)	とう(はな)	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・絨織	第11回個展(壺中居)	○	
85	風韻	ふういん	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・絨織	第11回個展(壺中居)		○
86	玄	げん	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・絨織	第11回個展(壺中居)		○
87	波羅	はら	平成9年(1997)	絹糸、植物染料・平織	第11回個展(壺中居)		○
88	薄雲(『源氏物語』より)	うすくも	平成10年(1998)	絹糸、植物染料・絨織		○	
89	葵(『源氏物語』より)	あおい	平成11年(1999)	絹糸、植物染料・絨織			○
90	若菜(『源氏物語』より)	わかな	平成11年(1999)	絹糸、植物染料・絨織		○	
91	篝火(『源氏物語』より)	かがりび	平成11年(1999)	絹糸、植物染料・絨織			○
92	裂帖	きれちょう	平成12年(2000)	絨織裂	裂帖展(壺中居)	○	○
93	明石(『源氏物語』より)	あかし	平成12年(2000)	絹糸、植物染料・絨織		○	
94	賢木(『源氏物語』より)	さかき	平成12年(2000)	絹糸、植物染料・絨織			○
95	橋姫(『源氏物語』より)	はしひめ	平成12年(2000)	絹糸、植物染料・絨織		○	
96	朝顔(『源氏物語』より)	あさがお	平成13年(2001)	絹糸、植物染料・絨織			○
97	花散里(『源氏物語』より)	はなちるさと	平成14年(2002)	絹糸、植物染料・絨織			○
98	夕顔(『源氏物語』より)	ゆうがお	平成15年(2003)	絹糸、植物染料・絨織		○	
99	須磨(『源氏物語』より)	すま	平成15年(2003)	絹糸、植物染料・絨織			○
100	明石の姫君(『源氏物語』より)	あかしのひめぎみ	平成15年(2003)	絹糸、植物染料・絨織		○	
101	松風(『源氏物語』より)	まつかぜ	平成15年(2003)	絹糸、植物染料・絨織		○	
102	野分(『源氏物語』より)	のわき	平成15年(2003)	絹糸、植物染料・絨織			○
103	小桜・雪輪屏風	おぐら・ゆきわびょうぶ	平成15年(2003)	絨織裂		○	○
104	絹の染め糸	きぬのそめいと	平成15年(2003)	絹糸、植物染料			展示替

※所蔵者の記載がないものはすべて滋賀県立近代美術館の所蔵である。

## 特別出品

特1	小裂帖(春夏秋冬)	こざれちょう(しゅんかしゅうとう)	平成24年(2012)	絨織裂	個人蔵		展示替有
特2	未来の風	みらいのかぜ	平成23年(2011)	絹糸、植物染料・絨織	個人蔵	○	○
特3	瀧桜	たきざくら	平成26年(2014)	絹糸、植物染料・絨織	個人蔵	○	○

## クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物

会 期：2019(令和元)年11月16日(土)～2020(令和2)年1月26日(日)  
前期:11月16日(土)～12月15日(日)  
後期:12月17日(火)～1月26日(日)

主 催：郡山市立美術館

観 覧 料：一般1,000円(800)円

高校・大学生・65歳以上800(640)円

※( )内は団体料金。中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

### 趣 旨

1876(明治9)年の12月、英国の装飾デザイナーであるクリストファー・ドレッサー(1834～1904)は、念願だった来日を果たした。その目的は、英国から日本政府に対して贈られた約300点の寄贈品を手渡すことだった。

大久保利通などの明治政府高官と交流したドレッサーは、政府の顧問となり、約4ヶ月に及ぶ日本国内の視察の旅に出た。その途中、奈良を訪れたドレッサーは、正倉院の宝物を調査する幸運に恵まれ、正倉院の建物に入ることを許された「初めての西洋人」となった。世界の美術工芸品について豊富な知識を持つドレッサーは、正倉院宝物の美術的価値の高さとその保存状態の良さに驚き、世界中を探してもここにしかない品々であることを日本人に伝えた。

本展は、モダン・デザインの先駆者として位置付けられているドレッサーの作品と、明治の殖産興業と文化財保護政策に大きな影響を与えたドレッサーの業績にスポットを当てて紹介した。ドレッサーがデザインした工芸品、明治以降に制作された正倉院宝物の模造復元品、そして、明治初期の輸出工芸品など、約140点が展示された。さらに、郡山市出土の重要文化財《二彩浄瓶》(奈良時代)も約10年ぶりに公開された。

### 関連行事

- 講演会「クリストファー・ドレッサーの来日と正倉院訪問」  
講師:佐藤秀彦(当館副館長)  
日時:令和元年11月24日(日)午後2時から  
場所:多目的スタジオ
- 講演会:「近代の正倉院宝物」  
講師:西川明彦(宮内庁正倉院事務所長)  
日時:令和元年12月15日(日)午後2時から  
場所:多目的スタジオ
- 特別ギャラリートーク  
講師:吉岡更紗(染織家)  
日時:令和元年12月7日(土)午後2時から  
場所:企画展示室
- ギャラリートーク  
講師:佐藤秀彦、鈴木誠一(当館学芸課長)、中山恵理(当館主任主査)  
日時:令和元年12月8日(日)、22日(日)、令和2年1月19日(日)午後2時から  
場所:企画展示室
- 美術講座「明治初期の輸出工芸品」  
講師:佐藤秀彦  
日時:令和2年1月12日(日)午後2時から  
場所:多目的スタジオ



ポスター



図録

○美術講座「権力者たちと正倉院」  
講師:鈴木誠一  
日時:令和2年1月26日(日)午後2時から  
場所:多目的スタジオ

## 発行物

『「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物」展カタログ』

252×195mm 208ページ

発行日:令和元年11月16日

編集:郡山市立美術館(佐藤秀彦、中山恵理、鈴木誠一)

執筆:佐藤秀彦、山田陽子(美術史家)、竹内有子(大阪大学文学研究科・招へい研究員)

表紙デザイン:デザイナーズメッツ

写真撮影:荒井健二(有限会社スタジオテイク)

制作・印刷:株式会社坂本印刷所

発行:郡山市立美術館

内容:ごあいさつ／謝辞／佐藤秀彦「クリストファー・ドレッサーと正倉院の宝物調査」／山田陽子「サウス・ケンジントン博物館と日本:クリストファー・ドレッサーの運んだ1876年の寄贈品選定基準について」／カタログ／年表／クリストファー・ドレッサー関連文献／出品リスト

## 関連記事

「西洋と日本つなぐ工芸 郡山でドレッサー企画展」、『福島民友』令和元年11月22日付。

「正倉院宝物など並ぶ ドレッサー展 前期は15日まで」、『福島民報』令和元年11月26日付。

佐藤秀彦「正倉院宝物 英国人に衝撃 郡山市立美術館企画展 優れた復元模造品で紹介」、『福島民友』令和元年12月4日付。

「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物」、『福島民友』令和元年12月6日付。

「ドレッサー展PR 市立美術館 来月26日まで」、『福島民報』郡山版、令和元年12月8日付。



特別ギャラリートーク (令和元年 12月7日)

## 出品目録

### 第1章 ドレッサーの活動と来日まで

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
1	『植物学の基礎』	クリストファー・ドレッサー著		1859年刊	郡山市立美術館	
2	『植物学の手引き』	クリストファー・ドレッサー著		1860年刊	郡山市立美術館	
3	『装飾デザイン』	クリストファー・ドレッサー著		1862年刊	郡山市立美術館	
4	シュガー・ボウル	クリストファー・ドレッサー	エルキンソン	1866年(デザイン)	豊田市美術館	
5	小花模様のティーカップ・セット	クリストファー・ドレッサー	ミントン	1875年	東京国立近代美術館	
6	金彩筒型三足花器	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	郡山市立美術館	
7	彩色金彩花模様水差	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	郡山市立美術館	
8	染付鳥文壺	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	郡山市立美術館	
9	ゴシック模様タイル	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	郡山市立美術館	
10	金銀彩植物模様タイル	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	郡山市立美術館	
11	彩色金彩ロータス文大皿	クリストファー・ドレッサー	ウェッジウッド	19世紀後半	郡山市立美術館	
12	『装飾デザインの原理』	クリストファー・ドレッサー著		1873年刊	郡山市立美術館	
13	『デザイン研究』	クリストファー・ドレッサー著		1874-76年刊	郡山市立美術館	
14	ガーデン・チェア	クリストファー・ドレッサー	コールブルックデール	1867年	東京国立近代美術館	
15	帽子掛け	クリストファー・ドレッサー	コールブルックデール	1875年頃	東京国立近代美術館	
16	色絵金彩婦人図皿		ドイツ バイエルン	19世紀	東京国立博物館	
17	鏝絵葡萄図角皿	尾形乾山		江戸時代・18世紀	東京国立博物館	

### 第2章 ドレッサーの来日と英国の寄贈品

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
18	麹町英公使館	五姓田義松		明治時代前期	東京藝術大学	前期
19	青地色絵花卉文花瓶	クリストファー・ドレッサー	ミントン	19世紀後半	東京国立博物館	
20	碧釉七宝写壺		ミントン	19世紀後半	京都国立博物館	
21	染付花卉文皿		ミントン	19世紀後半	京都国立博物館	
22	金彩色絵七宝丸文栗鼠植文皿		ミントン	19世紀後半	京都国立博物館	
23	多彩釉花唐草貼付文飾壺		ミントン	1873年	東京国立博物館	
24	多彩釉双耳瓶	ジョージ・ティンワース	ドルトン	1875年	東京国立博物館	
25	多彩釉鹿図花瓶	フランク・ボラー・ハンナ・バーロー	ドルトン	19世紀後半	東京国立博物館	
26	褐釉貼花藍唐草紋花瓶	ジョージ・ティンワース	ドルトン	19世紀後半	京都国立博物館	
27	褐釉貼花藍唐草紋麦酒注		ドルトン	19世紀後半	京都国立博物館	
28	黒地白花草浮文双耳瓶		ウェッジウッド	19世紀後半	東京国立博物館	
29	色絵婦人半身像		ロイヤル・ウースター	19世紀後半	東京国立博物館	
30	多彩聖人図浮文錫蓋把手付瓶		ドイツ	19世紀後半	東京国立博物館	
31	色絵虫魚浮彫飾皿		ドイツ	19世紀後半	東京国立博物館	
32	白色ガラス蛙蜻蛉刻文瓶		J・グリーン&ニュー	19世紀後半	東京国立博物館	
33	彩色ガラス七宝草花文盆	フィリップ・ジョセフ・プロカール	イギリス	19世紀後半	東京国立博物館	
34	赤地草花文絨氈	クリストファー・ドレッサー	ジョン・ルイス	19世紀後半	東京国立博物館	
35	山下門内博物館写真(5枚)			明治8年(1875)	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻	

### 第3章 ドレッサーの日本視察旅行

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
36	増上寺有章院霊廟入院唐門	ジョサイア・コンドル		明治10年(1877)頃	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻	
37	三彩鳳凰草花文大皿	賀集眠平		江戸時代後期	兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)	
38	色絵金魚文蓮花形鉢	賀集三平		明治時代前期	兵庫陶芸美術館	
39	三彩寿老人図手焙	賀集三平		明治時代前期	兵庫陶芸美術館	
40	青磁牡丹文角皿		三田焼	江戸時代後期	兵庫陶芸美術館	
41	青磁龍文花入		三田焼	江戸時代後期	兵庫陶芸美術館	
42	上絵金彩唐人物図三足香炉	帯山与兵衛(九代)		明治時代前期	京都府立京都市立総合文化博物館(管理)	
43	浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	宮川香山		明治時代前期	岐阜県現代陶芸美術館	
44	有田焼花卉図沈香壺			明治時代	金子皓彦コレクション	
45	色絵龍文蓋付壺(ドレッサー旧蔵日本陶器)			江戸時代	郡山市立美術館	
46	鳳凰文食籠	並河靖之		明治6年(1873)	並河靖之七宝記念館	
47	瑞鳥花卉唐草割付文小花瓶	並河靖之		明治時代前期	並河靖之七宝記念館	
48	菊御紋蝶松唐草文七宝花瓶(一対)	並河靖之		明治時代前期～中期	御寺 泉涌寺	
49	下図「蝶花文壺台座付」	銘・並河靖之		明治時代	並河靖之七宝記念館	
50	寄木細工 飾棚/静岡			明治5年(1872)頃	金子皓彦コレクション	
51	寄木細工 ライティングビューロー/箱根			明治時代	金子皓彦コレクション	
52	寄木細工 チェステーブル/箱根			明治時代	金子皓彦コレクション	
53	籐細工小筆筒			明治時代	金子皓彦コレクション	
54	銅製花形人物図皿(一対)			明治時代	金子皓彦コレクション	
55	温室盆栽時絵額	柴田是真		明治10年(1877)	宮内庁三の丸尚蔵館	前期
56	明治十年社務日誌			明治10年(1877)	春日大社	
57	薩摩反乱記	オーガスタス・H・マウンジー著		1979年刊	郡山市立美術館	
58	石版「懐古東海道五十三驛真景」油彩原画 吉原驛	亀井竹二郎		明治10年(1877)	郡山市立美術館	
59	日光東照宮内部	ジョサイア・コンドル		明治時代	東京藝術大学	後期
60	日光	五百城文哉		明治時代	郡山市立美術館	

第4章 ドレッサーと正倉院宝物の調査

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
61	『明治八年奈良博覧会物品目録』			明治8年(1875)刊	奈良県立図書情報館	
62	『明治九年奈良博覧会物品目録』			明治9年(1876)刊	奈良県立図書情報館	
63	ねずみ燈籠				奈良 長谷寺	
64	正倉院開封の写真	撮影横山松三郎		明治5年(1872)	奈良女子大学	
65	模造 金銀細工唐大刀(正倉院宝物模造品)	刀装 田村宗吉		明治22年(1889)	東京国立博物館	
66	模造 金銀荘横刀(正倉院宝物模造品)	奈良博覧会社		明治時代	奈良国立博物館	前期
67	模造 黒漆三合鞘刀子(正倉院宝物模造品)			明治時代	奈良国立博物館	後期
68	模造 金銀平脱八角鏡(正倉院宝物模造品)	吉田立斎		昭和7年(1932)	東京国立博物館	
69	模造 銀平脱鏡箱(正倉院宝物模造品)	吉田立斎		昭和8年(1933)	東京国立博物館	
70	模造 黄金瑠璃細背十二稜鏡(正倉院宝物模造品)			昭和7年(1932)(買入)	奈良女子大学	
71	模造 木画紫檀双六局(正倉院宝物模造品)	木内省古		昭和時代	奈良国立博物館	後期
72	模造 木画雙六局(正倉院宝物模造品)	木内省古		昭和7年(1932)	東京国立博物館	前期
73	模造 紅牙撥鏝菓子・紺牙撥鏝菓子(正倉院宝物模造品)	村松親月		平成時代	奈良国立博物館	前/後期5枚ずつ
74	模造 蘇芳地金銀鼓楽絵箱(正倉院宝物模造品)	吉田包春		昭和7年(1932)	東京国立博物館	
75	模造 忍冬草鳳凰文小唐櫃 同付銀鍍金漆装(正倉院宝物模造品)			昭和時代	奈良女子大学	前期
76	模造 黒柿蘇芳染金銀山水絵箱	吉田包春		昭和3年(1928)(買入)	奈良女子大学	後期
77	模造 螺鈿箱	川北良造・北村大通・高田義男		昭和51・52・54年(1976・77・79)	宮内庁正倉院事務所	前期
78	模造 紫檀木画箱	大坂弘道		昭和59・60年(1984・85)	宮内庁正倉院事務所	後期
79	模造 密陀絵盆 鴛鴦文	吉田包春		昭和12年(1937)	奈良女子大学	前期
80	模造 密陀絵盆 花昨鳥文	吉田包春		昭和12年(1937)	奈良女子大学	後期
81	正倉院裂 緑地狩狐連珠唐草円文錦			奈良時代	京都国立博物館	前期
82	正倉院裂 淡茶地集花鳥文きょう緞平絹			奈良時代	京都国立博物館	後期
83	正倉院裂 紫地唐花文錦			奈良時代	京都国立博物館	前期
84	正倉院裂 緑青地六弁花鳥文錦			奈良時代	京都国立博物館	後期
85	正倉院裂(8点)			奈良時代	個人蔵	前/後期各5枚ずつ
86	模造 白椽綾錦几褥	高田俊男・協力 喜多川平朗		昭和61年(1986)	宮内庁正倉院事務所	後期
87	伎楽衣装のための復元裂			平成14年(2002)	個人蔵	
88	伎楽衣装(呉王)	制作:染司よしおか		平成14年(2002)	東大寺	
89	伎楽衣装(呉女)	制作:染司よしおか		平成14年(2002)	東大寺	
90	紅牙撥鏝(正倉院宝物模造品)	村松親月		昭和時代	奈良国立博物館	前期
91	紅牙撥鏝尺(正倉院宝物模造品)	村松親月		平成時代	奈良国立博物館	後期
92	緑牙撥鏝尺(正倉院宝物模造品)	村松親月		平成時代	奈良国立博物館	前期
93	模造 磁鼓	加藤卓男		昭和62年(1987)	宮内庁正倉院事務所	前期
94	重要文化財 二彩浄瓶			奈良時代	円寿寺	
95	銅仙蓋形水瓶			中国・唐時代 8世紀	奈良国立博物館	
96	百万塔			奈良時代	奈良国立博物館	
97	百万塔 附無垢浄光陀羅尼			奈良時代	奈良国立博物館	

企画展

第5章 帰国後のドレッサーと日本

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
98	『日本—その建築・美術・工芸』	クリストファー・ドレッサー著		1882年刊	郡山市立美術館	
99	茶褐釉渦文鉢	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1880年頃	東京国立博物館	
100	褐釉白斑文瓢瓶	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1880年頃	京都国立博物館	
101	黄釉竹節型小皿	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1879-82年頃	郡山市立美術館	
102	緑釉龍波瀟文水差	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1879-82年頃	郡山市立美術館	
103	緑釉蓮花刻文皿	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1879-82年頃	郡山市立美術館	
104	彩釉細首水差	クリストファー・ドレッサー	リソ・アート・ボタリー	1879-82年頃	郡山市立美術館	
105	緑釉山羊面四耳壺	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1892-95年頃	郡山市立美術館	
106	黄緑釉水差(一対)	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1892-95年頃	郡山市立美術館	
107	色絵花鳥模様壺	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1892-95年頃	郡山市立美術館	
108	色絵蝶花鳥模様瓢箪形壺	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1892-95年頃	郡山市立美術館	
109	色絵花模様大皿	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1886年	郡山市立美術館	
110	色絵草花文隅切角皿	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1886年	郡山市立美術館	
111	色絵花模様隅切角皿	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1886年	郡山市立美術館	
112	色絵花模様皿とボウルのセット	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1886年	郡山市立美術館	
113	色絵椿文龍花瓶(一対)	クリストファー・ドレッサー	オールド・ボタリー	1886年	郡山市立美術館	
114	銅製昇龍形大花瓶			明治時代	金子皓彦コレクション	
115	クラレット・ジャグ(ぶどう酒用容器)	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
116	デカンター・セット(栓付き細首ぶどう酒瓶)	クリストファー・ドレッサー	ジェムズ・デヴィッドソン	19世紀後半	郡山市立美術館	
117	蓋つきスプ入れ	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
118	三角型薬味入れセット	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
119	トーストラック(青海波)	クリストファー・ドレッサー	ジェムズ・デヴィッドソン	19世紀後半	郡山市立美術館	
120	トーストラック(楕円型)	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
121	トーストラック(ポイントアーチ型)	クリストファー・ドレッサー	ジェムズ・デヴィッドソン	1881年	郡山市立美術館	
122	ナイフとフォークのセット	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
123	柳編み把手付きケトル	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
124	蓋付きバスケット・黒檀把手	クリストファー・ドレッサー	ヒューキン&ヒース	19世紀後半	郡山市立美術館	
125	孔雀象嵌模様円形皿	クリストファー・ドレッサー	ベナム&フロード	19世紀後半	郡山市立美術館	
126	柄付き三脚燭台	クリストファー・ドレッサー	ベナム&フロード	1880-1889年頃	東京国立近代美術館	
127	ケトルとスタンド	クリストファー・ドレッサー	ベナム&フロード	19世紀後半	郡山市立美術館	

No.	作品名	作者名	製作	時代・世紀・制作年	所蔵	展示期間
128	真鍮製燭台(一対)	クリストファー・ドレッサー	リチャード・ベリー・サン	19世紀後半	郡山市立美術館	
129	把手付き燭台	クリストファー・ドレッサー	リチャード・ベリー・サン	19世紀後半	郡山市立美術館	
130	花瓶(赤色クルーサ・ガラス)	クリストファー・ドレッサー	ジェームズ・カーバー&サンズ	19世紀後半	郡山市立美術館	
131	瓶(淡緑色クルーサ・ガラス)	クリストファー・ドレッサー	ジェームズ・カーバー&サンズ	19世紀後半	郡山市立美術館	
132	プロペラ瓶(緑色クルーサ・ガラス)	クリストファー・ドレッサー	ジェームズ・カーバー&サンズ	19世紀後半	郡山市立美術館	
133	花瓶(緑色クルーサ・ガラス)	クリストファー・ドレッサー	ジェームズ・カーバー&サンズ	19世紀後半	郡山市立美術館	
134	瓶(茶色クルーサ・ガラス)	クリストファー・ドレッサー	ジェームズ・カーバー&サンズ	19世紀後半	郡山市立美術館	
135	『国華余芳 正倉院御物之部』			明治13年(1880)刊	郡山市立美術館	
136	『チャールズ・ホームの日本旅行記』	チャールズ・ホーム著		平成23年(2011)刊	郡山市立美術館	
137	荒れ模様	アルフレッド・イースト		1889年	郡山市立美術館	
138	雨後の傘干し	アルフレッド・イースト		1889年	郡山市立美術館	
139	村の茶店・箱根	アルフレッド・イースト		1889年	郡山市立美術館	
140	『ステューディオ』第15号			1899年刊	郡山市立美術館	

## 石田智子展 雑華—ありのままに

会 期：2020(令和2)年3月1日(日)～3月31日(火)～4月19日(日)  
主 催：郡山市立美術館  
観 覧 料：一般500円(400)円  
          高校・大学生・65歳以上300(240)円  
          ※( )内は団体料金。中学生以下、障がい者  
          手帳をお持ちの方は無料。

### 趣 旨

石田智子は、紙撚を幾層にも重ね合わせて独自の世界を  
表出する美術作家である。彼女が作り出す幻想的な作品  
は、国内外で高い評価を得ている。

寺に嫁いだ石田は、そこでの膨大な仕事を日々こなすな  
かで、紙撚による作品制作を始める。参拝者が持参する  
想いのこもった供え物の包装紙がきっかけとなり、制作の  
時間・素材・場所など、すべてが日常生活の営みと共存  
するかたちで始まった作業だった。そして紙撚ひとつひとつ  
を織るように組み合わせ、展示空間を含めた大きな作品を  
生み出したのである。

石田の作品は、会場の特徴を活かしながら展示方法や  
演出を変えるため、ひとつとして同じものはない。本展で  
は、壮大にして静謐な世界を当館の企画展示室に展開さ  
せた。

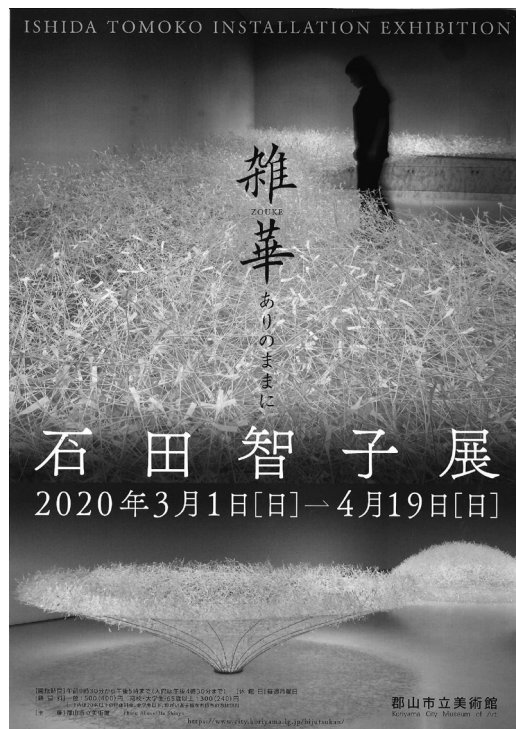
なお、展覧会出品作「重重無尽シリーズII」は、当館  
へ見学に来た小中学生との共同制作。

### 関連行事(すべて新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止)

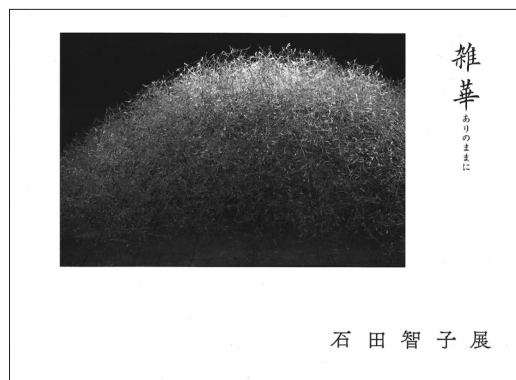
- 対談「撚る手と自分と紙撚達」  
講師:石田智子、佐治ゆかり(当館館長)  
日時:令和2年3月15日(日)午後2時から  
場所:多目的スタジオ
- 公開ワークショップ「紙のヨコガオ・紙のスキマ」  
講師:石田智子、新田量子(当館学芸員)  
日時:令和2年3月7日(土)、8日(日)各日午前10時から12時、午後1時から3時  
場所:企画展示室前
- アーティストトーク  
講師:石田智子(聞き手:当館学芸員)  
日時:令和2年4月11日(土)午後2時から  
場所:企画展示室

### 発行物

『展覧会カタログ「石田智子展 雑華—ありのままに」』  
210×288mm 32ページ  
発行日:令和2年3月  
編集:郡山市立美術館(新田量子、杉原聡)  
翻訳・制作:株式会社アム・プロモーション  
発行:郡山市立美術館  
内容:石田智子「雑華—ありのままに」／佐治ゆかり「拈紙象心～石田智子の世  
界」／石田智子「むすんでひらいて」／石田智子「摇篮」／石田智子「逍遙:聖  
なる散歩」／石田智子「重重無尽シリーズI」／石田智子「重重無尽シリーズII」/  
Document／新田量子「紙撚が結ぶもの」／過去の主な作品／石田智子略歴



ポスター



図録

## 関連記事

「15万本の「紙燃」アート 郡山市立美術館 石田さん作品展」、『福島民友』令和2年3月3日付。

新田量子「紙燃で作品「気持ち」重ね 供え物の包装紙から着想 石田智子展来月19日まで」、『福島民友』令和2年3月25日付。

「こよりで幻想的作品 郡山市立美術館 石田さん(三春)制作」、『福島民報』郡山版、令和2年3月9日付。

(投稿欄)長谷部利恵子「15万本の紙燃 非日常的な空間」、林ミチ子「美しく幻想的 作品見て感激」、『福島民友』令和2年3月31日付。

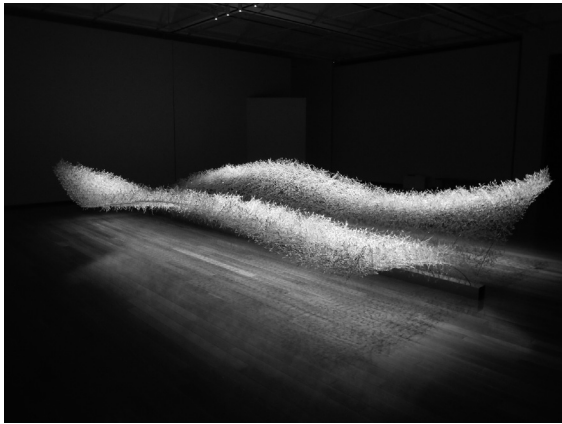
## 出品リスト

作品名	制作年	材質	サイズ(cm)
むすんでひらいて	2020(令和2)年	白紙、ステンレス	直径400×高さ90(2点)、直径370×高さ120、直径70×高さ230
揺籃	2020(令和2)年	白紙、ステンレス	幅700×奥行400×高さ120
逍遥:聖なる散歩	2020(令和2)年	新聞広告紙、トタン	縦356×横398(縦20×横20を323個)
重重無尽シリーズI	1996-2020 (平成8-令和2)年	新聞広告紙、包装紙	幅57×奥行53×高さ57(①)、幅180×奥行20×高さ20(②)、直径20×高さ15(③)、直径10×長さ1000(④)、直径50×高さ90、直径80、直径65
重重無尽シリーズII	2020(令和2)年	新聞広告紙、ボイド管	直径20、直径15



むすんでひらいて



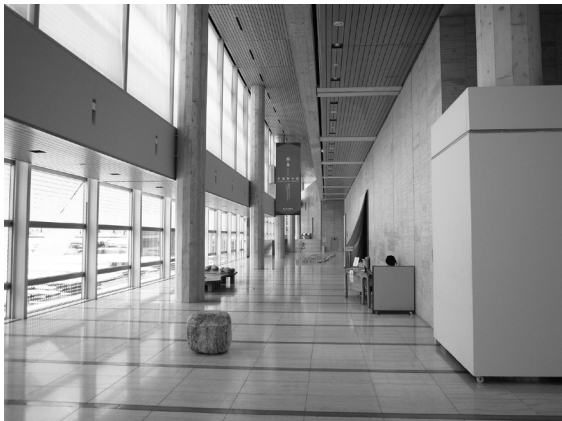


揺籃



逍遙：聖なる散歩

重重無尽シリーズI



①



②



③



④

重重無尽シリーズII



### Ⅲ 教育普及事業

#### 1) 美術館文化講座「アート・テーク」 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 3回 参加者数 248名

文化資源としてのアートという視点から独自のテーマを設定し「アートを捉える」、「アートから捉える」ことを目的とした年6回の講座だが、本年度は10月から臨時休館となるため3回の開催となった。講師は当該領域の第一人者および最先端で研究・活動する講師を招聘した。

回	実施日	講座名	講師	参加者数
1	令和元年5月25日(土)	脊椎動物と霊長類の色覚の由来から見たヒト色覚の多様性の意味	河村正二 (東京大学大学院教授)	83
2	7月27日(土)	ジャパンプルー	福本潮子 (染色家)	83
3	9月28日(土)	色香と艶の日本文化	井上章一(国際日本文化研究センター教授)	82
4	11月30日(土)	日本の色について	吉岡幸雄 (染色史家)	中止※1
5	令和2年3月21日(土)	色は言葉でできている	佐治ゆかり (当館館長)	中止※2
合 計				248

※1 講師の吉岡幸雄氏逝去のため。

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため。



河村正二氏 (令和元年 5月 25日)



福本潮子氏 (令和元年 7月 27日)



井上章一氏 (令和元年 9月 28日)

#### 2) 講演会 会場：多目的スタジオ 午後2時～ 5回 参加者数 376名

回	実施日	演題	講師	開催企画展	参加者数
1	令和元年5月18日(土)	日本の写真史をひもとく	飯沢耕太郎 (写真・映像評論家)	フィルム・フォトコレクション展	75
2	8月11日(日)	イギリス児童文学の系譜:ナーサリー・ライムから『くまのバディントン』まで	河野芳英 (大東文化大学教授・本展学術協力者)	くまのバディントン™展	48
3	11月2日(土)※1	志村ふくみの作風の展開	佐治ゆかり (当館館長)	志村ふくみ展	108
4	11月24日(日)	クリストファー・ドレッサーの来日と正倉院訪問	佐藤秀彦 (当館副館長)	クリストファー・ドレッサーと	30
5	12月15日(日)	近代の正倉院宝物	西川明彦(宮内庁正倉院事務所長)	正倉院宝物	115
6	令和2年3月15日(日)	対談 燃る手と自分と紙燃達	石田智子(作家)、佐治ゆかり(当館館長)	石田智子展	中止※2
合 計					376

※1 10月13日(日)に予定していたが台風19号による臨時休館となり日程を変更した。

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため。



飯沢耕太郎氏 (令和元年 5月 18日)



河野芳英氏 (令和元年 8月 11日)



西川明彦氏 (令和元年 11月 24日)

### 3) 美術講座 午後2時～ 5回 参加者数172名

回	実施日	演題	講師	会場	開催企画展	参加者数
1	令和元年6月16日(日)	写真と絵画の出会いと関係	永山多貴子(当館主任主査)	講義室	フジフィルム・フォトコレクション展	25
2	7月14日(日)	パティントンの魅力	富岡進一(当館主任学芸員)	講義室	くまのパティントン™展	28
3	8月18日(日)	パティントンとロンドン巡り	菅野洋人(当館主任主査)	講義室		40
4	令和2年1月12日(日)	明治初期の輸出工芸品	佐藤秀彦(当館副館長)	講義室	クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物	37
5	1月26日(日)	権力者たちと正倉院	鈴木誠一(当館学芸課長)	多目的スタジオ		42
合 計						172

### 4) ギャラリートーク 午後2時～ 会場：企画展示室 18回 参加者数470名

回	実施日	講師(当館学芸員)	開催企画展	参加者数
1	平成31年4月27日(土)	永山多貴子(当館主任主査)	フジフィルム・ フォトコレクション展	8
2	4月28日(日)	田中有沙子(当館学芸員)		17
3	4月29日(月・祝)	永山多貴子(当館主任主査)		22
4	4月30日(火)	田中有沙子(当館学芸員)		13
5	令和元年5月1日(水)	杉原聡(当館主任主査)		22
6	5月2日(木)	杉原聡(当館主任主査)		16
7	5月3日(金)	杉原聡(当館主任主査)		14
8	5月4日(土)	菅野洋人(当館主任主査)		22
9	5月5日(日)	田中有沙子(当館学芸員)		27
10	5月6日(月・休)	永山多貴子(当館主任主査)		25
11	7月7日(日)	富岡進一(当館主任学芸員)	くまのパティントン™展	28
12	7月28日(日)	菅野洋人(当館主任主査)		20
13	10月5日(土)	佐治ゆかり(当館館長)	志村ふくみ展	42
14	10月26日(土)	佐治ゆかり(当館館長)		58
15	12月7日(土) ※特別ギャラリートーク	吉岡更紗(染織家)	クリストファー・ドレッサーと 正倉院宝物	42
16	12月8日(日)	佐藤秀彦(当館副館長)		50
17	12月22日(日)	鈴木誠一(当館学芸課長)		22
18	令和2年1月19日(日)	中山恵理(当館主任主査)		22
合 計				470

### 5) ワークショップ 会場：多目的スタジオ他 4回 参加者数160名

回	実施日	講座名	講師	参加者数
1	令和元年6月22日(土)、 23日(日)	簡単自作ピンホールカメラでインスタント 写真を撮ってみよう	増谷 寛(植田正治事務所)	53
2	8月3日(土)	第14回風土記の丘発 図工&美術 の時間へようこそ!	小中学校教諭	87
3	8月17日(土)	手作りカホンでセッション	ジブシー・ポット(酒井淳、酒井志穂)	10(4組)
4	10月19日(土)、20日 (日)、27日(日)	虹を織る 織の仕組みを体験しよう	佐治ゆかり(当館館長)	10
5	令和2年3月7日(土)、 8日(日)	紙のヨコガオ・紙のスキマ	石田智子(作家)、当館学芸員	中止※
合 計				160

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため。

## 公開ワークショップ

### 「簡単自作ピンホールカメラでインスタント写真を撮ってみよう」

「フジフィルム・フォトコレクション展」関連企画。カメラの原理を学びながら空き缶等でピンホールカメラを作り、インスタント写真撮影を行った。

講師：増谷 寛（植田正治事務所）

日時：令和元年6月22日（土）、23日（日）午後1時～午後4時

会場：企画展示室前、図書室

協力：富士フィルム株式会社、株式会社コンタクト

参加者：53名



## 公開ワークショップ

### 「第14回風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!」

「第18回風土記の丘の美術展～郡山市内の小学生の作品展～」関連企画。小・中学校で行われている図工と美術の授業内容を紹介するワークショップを自由参加型で実施した。

講師：小中学校の教諭

日時：令和元年8月3日（土）午前11時～正午、午後2時～午後3時

会場：多目的スタジオ

参加者：87名



## 「手作りカホンでセッション」

「くまのパディントン<sup>TM</sup>展」関連企画。パディントンがペルー出身ということから、ペルー発祥の打楽器カホンを段ボールで制作した。制作後は階段ホールで講師のジプシー・ポットのおふたりと演奏会を開き、約30名が見学した。

講師：ジプシー・ポット（酒井淳・酒井志穂）（演奏家）

日時：令和元年8月17日（土）午後1時～午後4時

会場：多目的スタジオ、階段ホール

参加者：10名（4組）



### 「虹を織る 織の仕組みを体験しよう」

「志村ふくみ展」関連企画。織りの最も基本的な技法「平織り」で毛糸のマフラーを制作した。

講師：佐治ゆかり（当館館長）

日時：令和元年10月19日（土）、20日（日）、27日（日）

午前10時～午後3時

会場：創作スタジオ

参加者：10名



## 6) ミュージアム・シアター 会場：多目的スタジオ 4回 参加者数 316名

映画もまた芸術の一表現手段であるという観点から、一般上映館ではあまり上映されない過去の名作や実験映画、美術映画などを上映する。

回	実施日	上映時間	上映作品	監督・出演等	関連企画展	参加者数
1	令和元年6月8日(土)午後1時30分～	160分	「あゝ、荒野 前篇」	原作：寺山修司 監督：岸善幸 出演：菅田将暉 ヤン・イクチュン 他 2017年	フジフィルム・フォトコレクション展	66
2	6月9日(日)午後1時30分～	150分	「あゝ、荒野 後篇」	原作：寺山修司 監督：岸善幸 出演：菅田将暉 ヤン・イクチュン 他 2017年		46
3	7月20日(土)	95分	「パディントン」	原作：マイケル・ボンド 監督・脚本：ポール・キング 出演：ヒュー・ボネヴィル他 2014年	くまのパディントン™展	97
4	8月25日(日)	103分	「パディントン2」	原作：マイケル・ボンド 監督・脚本：ポール・キング 出演：ヒュー・ボネヴィル他 2017年		107
合 計						316

## 7) グリーティング・イベント 午前11時～ 4回 参加者数 222名

「くまのパディントン™展」関連イベントとして、来館者がパディントンと会い、写真撮影をした。

回	実施日	タイトル	出演者	会場	参加者数
1	令和元年7月15日(月・祝)	パディントンが美術館にやってくる!	パディントン(着ぐるみ)	エントランス・ホール、企画展示室前	45
2	7月20日(土)				36
3	8月25日(日)				55
4	9月8日(日)				86
合 計					222

## 8) 学校との連携事業

①第18回風土記の丘の美術展 ～郡山市内の小学生による作品展～

主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

郡山市内の小学生が図工教科の授業で制作した造形作品を美術館内に展示した。子どもたちの造形活動を促し、教科研究に役立てるとともに、市民が美術館に身近に接する機会をつくる目的で毎年開催している。

会期：令和元年7月15日（月・祝）～8月18日（日）

1期（7月15日～7月21日）

安積第一、安積第二、安積第三、永盛、守山、御代田、高瀬、谷田川、田母神、栃山神、橘、小原田、桜

2期（7月23日～7月28日）

日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、富田、富田東、西田学園

3期（7月30日～8月4日）

柴宮、穂積、三和、多田野、多田野堀口分校、河内、開成、薫、大槻、大成、朝日が丘、ザベリオ学園

4期（8月6日～8月11日）

金透、芳山、芳賀、桃見台、赤木、白岩、東芳、大島、緑ヶ丘第一、宮城、海老根、御館

5期（8月12日～8月18日）

片平、喜久田、熱海、熱海石筵分校、安子島、湖南、富田西、桑野、小山田

参加校：56校

作品点数：336点

会場：美術館ロビー

観覧者数：4,304名



第18回風土記の丘の美術展



博物館実習生たちによる展示替え作業  
（令和元年8月5日）

②第11回風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部による作品展～

郡山市内の中学校が、美術部活動において制作した作品を美術館内に展示した。この展覧会は、美術館と中学校との連携と美術活動の活性化を目的に実施し、額装や展示等も中学生が行っている。

参加校／日和田中学校、守山中学校、郡山第四中学校、

郡山第五中学校、郡山第七中学校、緑ヶ丘中学校、小原田中学校（計7校）

会期：令和元年11月19日（火）～12月24日（火）

会場：美術館ロビー

観覧者数：1,793名



第11回風土記の空



郡山市立小原田中学校生徒たちによる展示作業（令和元年11月10日）

### ③鑑賞学習対応

幼稚園 4園 221名 小学校 12校 669名 中学校 25校 2,628名  
高等学校 4校 185名 大学・専門学校他 2校 77名  
合計 47校 3,780名

### ④講師派遣

- ・令和元年度郡山市小学校造形教育研究会・研修会  
日 時：令和元年 5月15日(水) 午後3時～4時  
場 所：多目的スタジオ  
講 師：永山多貴子(当館主任主査)  
参加者数：65名
- ・令和元年度郡山市小学校教育研究会図画工作科研究部・部会研修会  
日 時：令和元年 7月25日(木) 午後1時～2時  
場 所：多目的スタジオ  
講 師：永山多貴子(当館主任主査)  
参加者数：60名
- ・令和元年度郡山市内高等学校美術連盟・研修会  
日 時：令和元年 9月8日(日) 午前10時～11時  
場 所：多目的スタジオ  
講 師：富岡進一(当館主任学芸員)  
参加者数：68名



郡山市内高等学校美術連盟・研修会  
(令和元年 9月8日)

## 9) 対外協力

### ①博物館実習(1件)

期 間：令和元年 7月31日(水)～8月10日(土)

受入校及び実習生数：5校5名

学習院大学文学部 1名/富山大学芸術文化学部 1名/茨城大学教育学部 1名 宮城学院女子大学学芸学部 1名/東京工芸大学芸術学部 1名

実習内容：作品の取扱(平面・立体)、各概論(収集・保存・展示・普及)、機器取扱(カメラ・温湿度計など)、野外彫刻洗浄、ワークショップ補助、体験実習(ギャラリートーク、企画展立案及びプレゼンテーション)



博物館実習生たちによる野外彫刻洗浄  
(令和元年 8月7日)

### ②ジュニア・インターンシップ(2件)

期 間：令和元年 10月9日(水)～11日(金)

受入校及び実習生数：福島県立田村高等学校 2名

期 間：令和元年 11月12日(火)～14日(木)

受入校及び実習生数：福島県立清陵情報高等学校 2名

実習内容：概論(美術館に関する職業について)、作業補助(広報作業、図書整理など)、体験実習(教材使用、監視業務等)



福島県立清陵情報高等学校生徒たちによる「第11回 風土記の空」作品展示作業(令和元年 11月13日)

## 10) 図書資料・視聴覚資料

調査研究及び教育普及を目的とし、昭和 63 年から図書、ビデオ、レーザーディスク、CD-ROM、DVD などの二次資料を収集し、一部は開架式図書コーナーにおいて公開している。

この二次資料は、令和元年度末現在 23,000 件を越えているが、専門職員（司書）の配置がなされていないために、慢性的な未整理状態が続いている。早急な司書の配置が望まれる。

## 11) 刊行物

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4 判カラー 8 ページ  
第 54 号（令和元年 6 月 18 日発行）

記事

藤島武二《かくの花》	表紙
富岡進一「あの紳士な子ゲマが、ロンドンから郡山にやってくる」	p.2
佐治ゆかり「志村ふくみ展 滋賀県立近代美術館コレクションを中心に」	p.4
田中有沙子「報告：フジフィルム・フォトコレクション展」、菅野洋人「平成 30 年度新たに作品が収蔵されました」、表紙解説	p.5
ヨースト・クラルト「寄稿：「ブリューゲル展」をふりかえって」	p.6
Report（ワークショップ等）	p.7
INFORMATION、TOPICS	p.8

美術館ニュース「ザ・ルーフ」 A4 判カラー 8 ページ  
第 55 号（令和元年 10 月 30 日発行）

記事

クリストファー・ドレッサー《クラレット・ジャグ》	表紙
佐藤秀彦「クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物調査の謎」	p.2
新田量子「石田智子展 紙縊が織りなす幻想的な世界」	p.4
「常設展示」、「表紙解説」	p.5
Jun S./GypsyPot(ジプシーポット)「寄稿：ワークショップ「手作りカホンでセッション」をふりかえって」	p.6
Report（ワークショップ等）	p.7
INFORMATION、TOPICS	p.8

郡山市立美術館年報 平成 30 年度  
A4 判 64 ページ（令和元年 9 月 27 日発行）

ザ・ルーフ・ミュージアム・カレンダー  
A4 判三つ折り、片面 4 色、片面 1 色

常設展示目録

- 「常設展示目録 第 1 期 平成 31 年 4 月 24 日～令和元年 7 月 21 日」 B4 判二つ折り、両面 1 色
- 「常設展示目録 第 2 期 令和元年 7 月 24 日～10 月 20 日」 B4 判二つ折り、両面 1 色
- 「常設展示目録 第 3 期 令和元年 10 月 23 日～令和 2 年 1 月 31 日」 B4 判二つ折り、両面 1 色
- 「常設展示目録 第 4 期 令和 2 年 3 月 1 日～5 月 10 日」 B4 判二つ折り、両面 1 色

ポスター、チラシ、パンフレット

郡山市立美術館文化講座「アート・テーク」チラシ

A4 判片面 2 色、片面 1 色

郡山市立美術館 2019 夏・秋プログラム

A4 判四つ折り、両面 4 色

「郷土を学ぶ体験学習」学習シート

A3 判二つ折り、両面 4 色

フジフィルム・フォトコレクション展

ポスター B2 判 4 色、チラシ A4 判両面 4 色

くまのパディントン™展

ポスター B2 判 4 色、チラシ A4 判両面 4 色



志村ふくみ展

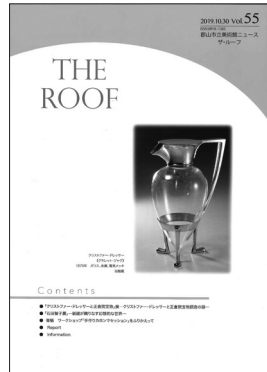
ポスター B2判 4色、チラシ A4判両面 4色  
クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物

ポスター B2判 4色、チラシ A4判両面 4色  
石田智子展

ポスター B2判 4色、チラシ A4判両面 4色



ザ・ルーフ 第54号



ザ・ルーフ 第55号



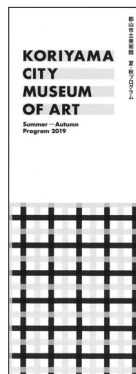
年報 平成30年度



カレンダー



アートテークチラシ



夏・秋チラシ

## 12) 館外での活動及び関連記事・報道

### 他機関からの委嘱

- ・佐治ゆかり: 仙台市文化財保護審議会委員 (平成26年12月~)、美術館連絡協議会理事 (平成28年4月~)、全国美術館会議理事 (平成28年4月~)、鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審議会委員。
- ・佐藤秀彦: 茨城県陶芸美術館美術資料審査委員会委員 (平成23年度~)。
- ・杉原 聡: 福島大学芸術による地域創造研究所客員研究員 (平成21年度~)。
- ・中山恵理: 福島県立美術館収集評価委員会委員 (令和元年12月~)

### 市政きらめき出前講座講師

- ・菅野洋人 「郡山ゆかりの美術講座」 さわやか女性学級「郡山再発見①」(郡山市立田村公民館)、令和元年6月11日(火)。
- ・永山多貴子 「郡山ゆかりの美術講座」 郡山市あさかの学園大学15研修クラブ1年(当館)、令和元年8月6日(火)。
- ・富岡進一 「美術に関する教養講座 くまのパティント<sup>TM</sup>展」 郡山市あさかの学園大学専門課程1年芸術・文化学科(ビッグアイ7F)、令和元年8月30日(金)。
- ・菅野洋人 「郡山ゆかりの美術講座」 郡山市あさかの学園大学OB研友クラブ(ミュージカルがくと館小ホール)、令和2年2月4日(火)。
- ・菅野洋人 「郡山ゆかりの美術講座」 郡山市あさかの学園大学(ビッグアイ7F)、令和2年2月7日(金)。

### その他講師

- ・中山恵理、杉原聡、永山多貴子、田中有沙子 「古墳まつり春 ワークショップ」(大安場史跡公園)、令和元年5月4日(土)。
- ・田中有沙子 「郡山写真部フォトまちセミナー」(当館)、令和元年6月15日(土)、郡山市観光課主催。

関連記事

新聞

- ・「画業 最後まで魅了 ブリュール展が閉幕」、『福島民友』平成31年4月1日付。
- ・「洋画冬の時代 日英交流に光」、『福島民友』令和元年10月2日付。パーソンズ《鎌倉の茶店》掲載。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 1 心が解き放たれる場所」、『福島民友』令和元年11月25日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 2 勤を信じて飛び込んだ」、『福島民友』令和元年11月26日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 3 時空を超えてつながる」、『福島民友』令和元年11月27日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 4 埋もれた宝 掘り起こす」、『福島民友』令和元年11月28日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 5 辞める選択肢なかった」、『福島民友』令和元年11月29日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 6 今やりたいことをやる」、『福島民友』令和元年11月30日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 7 10分あれば1行書ける」、『福島民友』令和元年12月2日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 8 できること すべきこと」、『福島民友』令和元年12月3日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 9 立場変わり新たな挑戦」、『福島民友』令和元年12月4日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 10 はぎ物通して社会見る」、『福島民友』令和元年12月5日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 11 忘れられぬ2人の作家」、『福島民友』令和元年12月6日付。
- ・「マイストーリー 郡山市立美術館長 佐治ゆかり 12 考えた先に発見がある」、『福島民友』令和元年12月7日付。
- ・安藤智重「みんゆう随想 画心」、『福島民友』令和元年12月12日付。

雑誌その他

- ・「新・美の巨人たち」テレビ東京系、令和元年5月25日22:00～22:30放送。《故高橋由一享年六十七歳像》。
- ・城郭談話会第3回特別例会「存廃決定（いわゆる廃城令）から明治中期における城郭—その軍事・保存・改変—」発表資料、亀山市教育委員会生涯学習課、令和元年6月8日。亀井竹二郎《懐古東海道五十三駅 真景 亀山駅 城内ノ図》掲載。
- ・『ぴあ MOOK「日本の美術館でみたい 世界の名画と日本の名品 100」』ぴあ、令和元年8月2日。バーン＝ジョーンズ《フローラ》掲載。
- ・瀧音能之監修『TJMBOOK 最新調査でわかった日本の古代史 完全保存版』宝島社、令和元年5月25日。三木宗策《威容抱慈（坂上田村麻呂像）》掲載。
- ・「ラファエル前派の軌跡展」グッズの飾りタイル、マルチクロス、マグネット。あべのハルカス美術館ミュージアムショップ、令和元年10月5日～12月15日販売。バーン＝ジョーンズ《フローラ》画像使用。
- ・「神話の世界展」グッズの絵葉書、マルチクロス、マグネット。美術館「えき」KYOTO、群馬県立近代美術館、岡崎市美術館、高知県立美術館で会期中販売。ウォーターハウス《フローラ》画像使用。
- ・「開館30周年記念展 豊岡を彩る画家たち」豊岡市立美術館、令和元年12月5日～令和2年2月2日。小坂象堂《釈迦と賤婦之図》パネル展示。
- ・小田嶋景子「修士論文「ウィリアム・ホガースの《ビール街》と《ジン横丁》」、『立教大学文学研究科比較文明学紀要 境界を越えて』、令和2年2月。ホガース《ビール街とジン小路 ビール街》《ビール街とジン小路 ジン小路》掲載。
- ・『MINERVA2020』クオリアート、令和2年3月16日。原撫松《霧の広場》、栗原忠二《オックスフォード》掲載。
- ・林誠「丸山晚霞の作品とその署名について」、『長野県立歴史館研究紀要』第26号、長野県立歴史館、令和2年3月。大下藤次郎《蓮池》掲載。

## IV 作品収集・保存管理事業

### 1) 新収蔵作品・美術資料一覧

美術品の収集は、(1)イギリスの近代美術、(2)日本の近代美術、(3)郡山ゆかりの美術、(4)本(版)の美術、の4つの柱を基本方針として行っている。

令和元年度の収集状況は、購入9件、寄贈24件で、内訳は下表のとおりである。

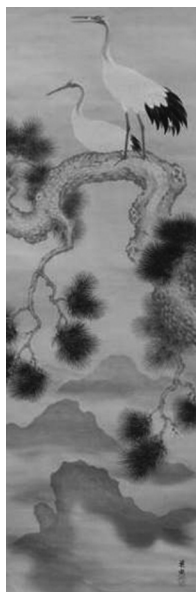
	油彩画	水彩画、素描画	日本画	版画	彫刻	工芸	計	美術資料
平成24年度まで	277	397	50	1,251	40	189	2,204	105
平成25年度	2	0	0	0	0	1	3	0
平成26年度	1	0	0	3	1	22	27	7
平成29年度	5	0	0	7	4	0	16	0
平成30年度	2	6	0	4	2	9	23	4
令和元年度	1	0	5	4	3	20	33	0
合計	288	403	55	1,269	50	241	2,306	116

#### ■令和元年度新収蔵作品

No.	作者名	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	取得形態
1	渡辺晨畝	溪流に鶴		絹本着色	111.0×40.0	購入
2	渡辺晨畝	松上に鶴		絹本着色	126.0×41.0	購入
3	湯田玉水	冬村図	1921(大正10)年	絹本墨画	126.5×41.0	購入
4	湯田玉水	ぶどうに栗鼠	1921(大正10)年	紙本墨画	131.0×29.5	購入
5	湯田玉水	夏		紙本墨彩	139.0×35.0	購入
6	フランク・ブランギン	エリザベス女王の乗船時ゴールデン・ハインド号	1903-05年頃	油彩・キャンバス	76.2×61.0	畑中俊彦氏寄贈
7	フランク・ブランギン	版画集【WORK BY FRANK BRANGWYN】	1914年	ファクシミリ版・紙/ポートフォリオ	41.2×55.7	株式会社リーチアート寄贈
8	フランク・ブランギン	詩画集『プリュージュ』	1919年	木版・紙/ポートフォリオ	48.8×60.3	購入
9	フランク・ブランギン	版画集【20の素描 版画集】	1921年	エッチング、写真製版・紙/ポートフォリオ	47.3×39.0	株式会社リーチアート寄贈
10	フランク・ブランギン	版画集【ブランギンポートフォリオ】	1927年	リグラフ、エッチング、写真製版、手彩色・紙/ポートフォリオ	64.0×47.0	株式会社リーチアート寄贈
11	西野康造	ヴァイオリン	1986(昭和61)年	ステンレス	60.0×22.0×11.0	購入
12	西野康造	ホルン	1987(昭和62)年	ステンレス	31.0×66.0×36.0	購入
13	西野康造	翼の森	2019(令和元)年	ステンレス、鉄	100.0×15.5×101.0他(8点組)	購入
14	吉村正郎	パッキングクロス	1978(昭和53)年	布	70.0×50.0×50.0	吉村正郎氏寄贈
15	吉村正郎	Wa 2	1991(平成3)年	布	22.0×22.0×4.0	吉村正郎氏寄贈
16	吉村正郎	ローリングクロス/スリズーベベル	1993(平成5)年	布	60.0×90.0×90.0(6点組)	吉村正郎氏寄贈
17	吉村正郎	Air Cloth -95.04-	1995(平成7)年	布	8.0×27.0×11.0	吉村正郎氏寄贈
18	吉村正郎	NUKEGA Series No.2	1996(平成8)年	布	12.0×20.0×10.0	吉村正郎氏寄贈
19	吉村正郎	Spongy Cloth No.2	1998(平成10)年	絹糸、綿糸、和紙	60.0×60.0	吉村正郎氏寄贈
20	吉村正郎	(Foam Cloth 泡状)	2001(平成13)年	麻紐、針金	30.0×13.0×13.0	吉村正郎氏寄贈
21	吉村正郎	スパイダリークロス	2004(平成16)年	麻紐、針金	60.0×60.0×60.0(7点組)	吉村正郎氏寄贈
22	吉村正郎	ぬのころ	2007(平成19)年	布	13.0×10.0×10.0	吉村正郎氏寄贈
23	吉村正郎	PACKING-A	2010(平成22)年	布、綿	15.0×15.0×15.0	吉村正郎氏寄贈
24	吉村正郎	(日用品モチーフ) 掃除機	2015(平成27)年	綿布、綿糸	80.0×10.0×40.0	吉村正郎氏寄贈
25	吉村正郎	(日用品モチーフ) たこ焼きセキ	2015(平成27)年	綿布、綿糸	11.0×34.0×40.0	吉村正郎氏寄贈
26	吉村正郎	(日用品モチーフ) 卓上コンロ	2015(平成27)年	綿布、綿糸	10.0×36.0×29.0	吉村正郎氏寄贈
27	吉村正郎	(日用品モチーフ) 土鍋	2015(平成27)年	綿布、綿糸	27.0×35.0×25.0	吉村正郎氏寄贈
28	吉村正郎	(日用品モチーフ) ドライヤー	2015(平成27)年	綿布、綿糸	8.0×27.0×27.0	吉村正郎氏寄贈
29	吉村正郎	(日用品モチーフ) ブラシ	2015(平成27)年	綿布、綿糸	6.0×20.0×5.0	吉村正郎氏寄贈
30	吉村正郎	(日用品モチーフ) めがね	2015(平成27)年	綿布、綿糸	5.0×7.0×4.0	吉村正郎氏寄贈
31	吉村正郎	(日用品モチーフ) アイロン	2015(平成27)年	綿布、綿糸	25.0×20.0×20.0	吉村正郎氏寄贈
32	吉村正郎	(日用品モチーフ) 霧吹き	2015(平成27)年	綿布、綿糸	20.0×10.0×10.0	吉村正郎氏寄贈
33	吉村正郎	(日用品モチーフ) 裸電球	2015(平成27)年	綿布、綿糸	60.0×25.0×25.0	吉村正郎氏寄贈



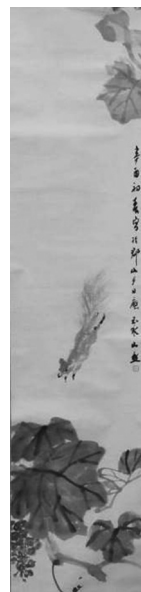
1 渡辺晨畝  
溪流に鶴



2 渡辺晨畝  
松上に鶴



3 湯田玉水  
冬村図



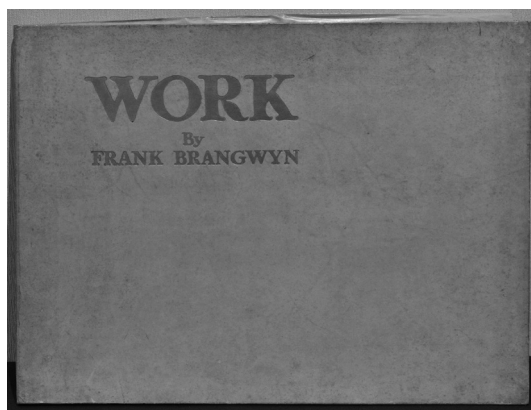
4 湯田玉水  
ぶどうに栗鼠



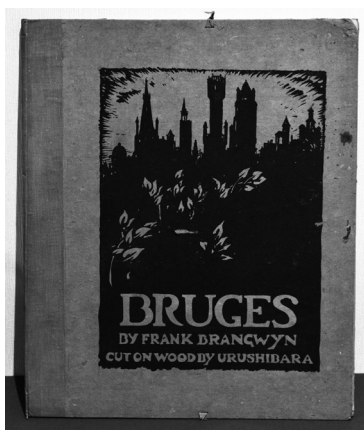
5 湯田玉水  
夏



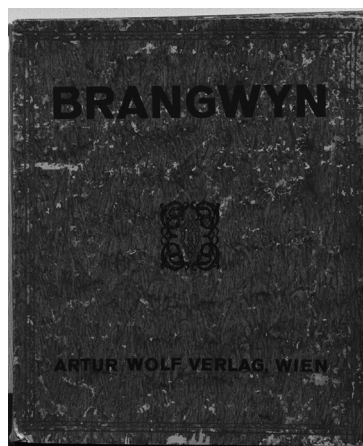
6 フランク・ブランギン  
エリザベス女王の乗船を待つ  
ゴールデン・ハインド号  
畑中俊彦氏寄贈



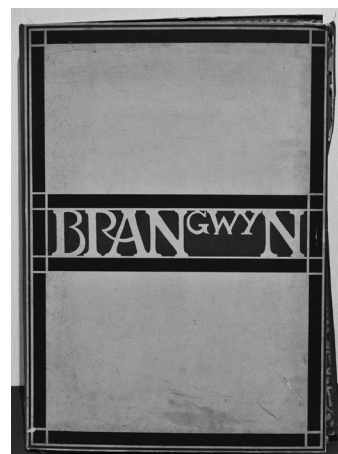
7 フランク・ブランギン  
版画集『WORK By FRANK BRANGWYN』  
株式会社リーチアート寄贈



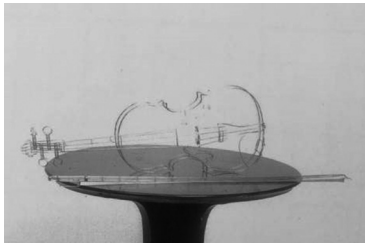
8 フランク・ブランギン  
詩画集『ブリュージュ』



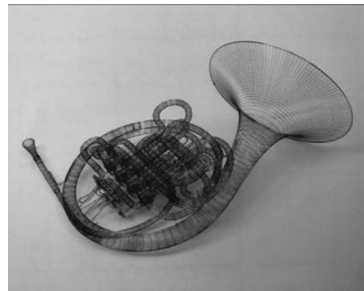
9 フランク・ブランギン  
版画集『20の素描・版画集』  
株式会社リーチアート寄贈



10 フランク・ブランギン  
版画集『ブランギン・ポートフォリオ』  
株式会社リーチアート寄贈



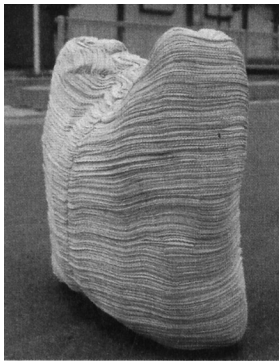
11 西野康造 ヴァイオリン



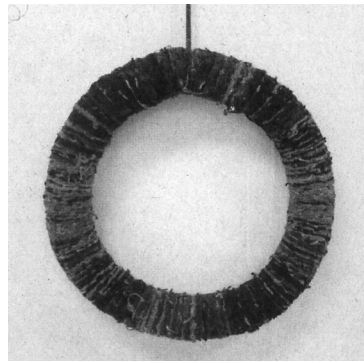
12 西野康造 ホルン



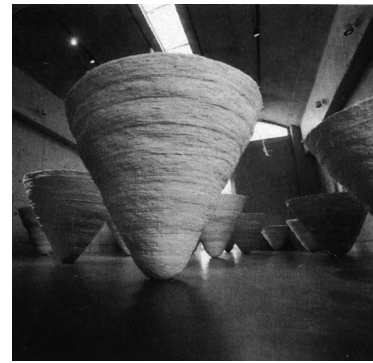
13 西野康造 翼の森



14 吉村正郎  
パッキングクロス  
吉村正郎氏寄贈



15 吉村正郎 Wa 2  
吉村正郎氏寄贈



16 吉村正郎  
ローリングクロスシリーズーベゼル  
吉村正郎氏寄贈



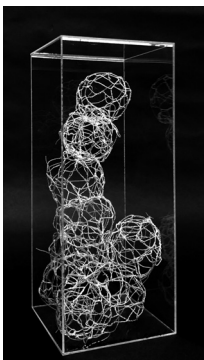
17 吉村正郎  
Air Cloth -95.04-  
吉村正郎氏寄贈



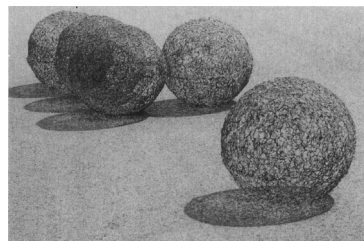
18 吉村正郎  
NUKEGA Series No.2  
吉村正郎氏寄贈



19 吉村正郎  
Spongy Cloth No.2  
吉村正郎氏寄贈



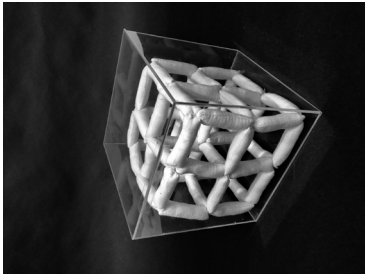
20 吉村正郎  
(Foam Cloth 泡状)  
吉村正郎氏寄贈



21 吉村正郎  
スパイダリークロス  
吉村正郎氏寄贈



22 吉村正郎 ぬのころ  
吉村正郎氏寄贈



23 吉村正郎 PACKING-A  
吉村正郎氏寄贈



24 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
掃除機 吉村正郎氏寄贈



25 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
たこ焼きセット 吉村正郎氏寄贈



26 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
卓上コンロ 吉村正郎氏寄贈



27 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
土鍋 吉村正郎氏寄贈



28 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
ドライヤー 吉村正郎氏寄贈



29 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
ブラシ 吉村正郎氏寄贈



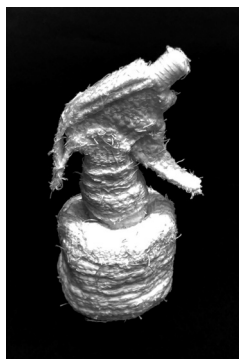
30 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
めがね 吉村正郎氏寄贈



31 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
アイロン 吉村正郎氏寄贈



32 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
霧吹き 吉村正郎氏寄贈



33 吉村正郎 (日用品モチーフ)  
裸電球 吉村正郎氏寄贈

## 2) 収蔵作品貸出状況

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期		
ウィリアム・ブレイク	ヴァージルの『田園詩』第1巻	黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた 夕日・夕景	山梨県立 美術館	令和元年6月22日(土) ～8月25日(日)		
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より「秋の夕暮れ」 『イングランドの風景』より「夏の夕」					
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ワイ川					
サミュエル・パーマー	サミュエル・パーマーによるヴァージルの『田園詩』の英語版 疲れ果てた農夫(牧夫またはタードゥス・ブルクス) 疲れ果てた農夫(牧夫またはタードゥス・ブルクス)		島根県立 美術館	令和元年9月4日(水) ～11月4日(月)		
亀井竹二郎	石版『懐古東海道五十三驛真景』 油彩原画 島田驛		神戸市立 小磯記念 美術館	令和元年11月16日(土) ～令和2年1月26日(日)		
	石版『懐古東海道五十三驛真景』 油彩原画 大磯驛 海濱晴景					
	『懐古東海道五十三驛真景』 島田驛 『懐古東海道五十三驛真景』 大磯驛 海濱晴景					
高村真夫	風景					
吉田博	夕暮					
	滞船、薄暮					
岸田劉生	銀座数寄屋橋	没後90年記念 岸田劉生展	東京ステーションギャラリー	令和元年8月31日(土) ～10月20日(日)		
	銀座と数寄屋橋畔		山口県立 美術館	令和元年11月2日(土) ～12月23日(月・祝)		
	築地風景					
	天地創造:怒れるアダム					
	天地創造:欲望		名古屋市 美術館	令和2年1月8日(水) ～3月1日(日)		
天地創造:石を噛む人 The Earth (大地)						
浅井忠	収穫					
諫山麗吉	甲州猿橋	府中市政施行 65周年記念 おかえり美しき明治	府中市 美術館	令和元年9月14日(土) ～12月1日(日)		
	神戸付近の風景					
石川欽一郎	ロンドン・テムズ河岸ハマースミス					
	サウス・ケンジントン					
	牛荘 (Newchowang)					
	信州の田舎					
伊藤快彦	子供像					
アルフレッド・ウィリアム・パーソンズ	箱根の秋					
	鎌倉の茶店					

作者名	作品名	展覧会名	会場	会期
ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光の茶屋	府中市政施行 65周年記念 おかえり美しき明治	府中市 美術館	令和元年9月14日(土) ～12月1日(日)
	宮島の街並			
	雪の京都、祇園へゆく道			
	東京、麻布			
	赤羽、芝公園の麓			
チャールズ・ワーグマン	西洋紳士スケッチの図			
大下藤次郎	蓮池			
亀井竹二郎	石版『懐古東海道五十三驛真景』 油彩原画 舞阪驛 自渡口望新井			
	石版『懐古東海道五十三驛真景』 油彩原画 平塚驛 馬入川			
	石版『懐古東海道五十三驛真景』 油彩原画 草津驛 姥ヶ餅屋			
河合新蔵	ノウゼンカズラのある宿場			
栗原忠二	オックスフォード			
栗原忠二	ハマースミス・ブリッジ			
高橋勝蔵	水辺			
	桃と葡萄			
武内鶴之助	英国南部ミル牧場			
中川八郎	早春			
	薄暮の街			
	おぼろ月夜			
	秋郊			
野崎華年	富士			
百武兼行	風車のある風景			
牧野義雄	ハイド・パークのアキレス像			
真野紀太郎	ウェリントン植物園			
吉田博	風景			
和田英作	上総風景			
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘	古代への情熱—18 世紀イタリア・考古 学と芸術の出会い	静岡県立 美術館	令和元年10月2日(水) ～11月17日(日)
アレクサンダー・カズンズ	川岸に神殿のある風景			
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	ラファエル前派の軌 跡展	あべのハル カス美術館	令和元年10月5日(土) ～12月15日(日)
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	西洋近代美術にみ る神話の世界	美術館「えき」 KYOTO	令和元年10月18日(金) ～11月17日(日)
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より10点		群馬県立近 代美術館	令和2年2月8日(土) ～3月22日(日)
ジョン・フラクスマン	ホメロス『イリアッド』より8点		岡崎市美 術博物館	令和2年4月4日(土) ～5月17日(日)
	ホメロス『オデュッセイア』より16点		高知県立 美術館	令和2年5月30日(土) ～7月12日(日)
『神統記、仕事と日々とヘシオドスの 生きた時代』より8点				
岸田劉生	照子像	岸田劉生展—写実 から、写意へ—	ひろしま美 術館	令和元年11月9日(土) ～令和2年1月13日(月・祝)



### 3) 収蔵作品修復状況

#### ◆リチャード・ウィルソン「キケロの別荘」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：不詳

寸法：141.6×95.3cm

修復者：(有) 修復研究所 21

#### 修復前の状況

- 旧ワニスが全体に塗布されており、黄化している。
- 旧処置により、絵具層は安定している。
- 絵具表層の擦れが散在している。
- 乾性油の焼けにより、下部の色調が褐色化している。
- 馬の描写は描換えたようであり、旧修復時の洗浄過多のためか、描換え前の描写が薄く表層に現れている。
- オリジナルの支持体の張りしろは四辺とも切断され、裏打ちされている。張りは良好で安定している。
- 額縁には旧処理跡が多数見られる。剥落部分に補彩が施されているが、色調と光沢が合わず目立っている。
- 額縁側面に虫食い穴が広範囲に確認できる。
- 作品を差し入れる部分が浅いため、作品が額縁裏面に飛び出した状態で危険である。

#### 修復内容

- 画面洗浄（精製水）。旧ワニス除去（セロソルブ）
- 支持体裏面の清掃、殺菌（エタノール水）。
- 絵具層の剥落部に充填剤（ワックス）を詰め整形。
- 充填箇所や絵具の擦れた部分に、溶剤型アクリル樹脂絵具で補彩。
- ダンマル樹脂ワニスを塗布し、光沢を調整。
- 額縁の厚みを調整するため、角材を裏面に取り付け。
- 額縁の清掃、接着不良部分に膠水を注し、固着強化。
- 石膏の剥落部分に充填剤（ポローニャ石膏+膠水）を注し整形。
- 充填部や絵具の剥落箇所をアクリル絵の具で補彩。
- T字金具で額縁と作品を固定。
- 裏蓋としてレキサンポリカーボネート板を設置。
- 耐荷重の高い吊り金具に新調。

#### ◆アルバート・ジョゼフ・ムーア「黄色いマーガレット」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：不詳

寸法：65.2×49.5cm

修復者：(有) 修復研究所 21

#### 修復前の状況

- 旧ワニスが全体に塗布されており、劣化は少ない。
- 四辺には絵具層の細かな剥落が点在している。
- 旧補彩が施されているため、過去に修復歴があると考える。
- 左辺の旧補彩には劣化が見られるが、顔の部分などは状態が良好。
- 絵具層には亀裂も少なく、浮き上がりなども見られないため、固着状態は良い。
- 支持体は貼り直しの跡が見られ、張りしろ部分には破れなどもあり、状態は良くない。
- 支持体を固定する釘に錆が付着している。
- 上部に波形の変形が見られる。
- 針で刺したような穴が広範囲に点在している。
- 額縁には後方に加工した形跡が見られる。入れ子部に取り付けられた角材の幅が合っていないため、内側に飛び出し、鑑賞を妨げている。

#### 修復内容

- 浮き上がり接着（膠水、加温加圧）。
- 画面洗浄（精製水）。
- 支持体裏面の清掃、殺菌（エタノール水）。
- 絵具層の剥落部に充填剤（ワックス）を詰め整形。
- 充填箇所や絵具の擦れた部分に、溶剤型アクリル樹脂絵具で補彩。
- ダンマル樹脂ワニスを塗布し、光沢を調整。
- 支持体を固定する釘の錆を除去、錆止め剤を塗布。
- 抜けやすい状態の釘は、釘穴を埋め、ステンレス製の釘で固定。
- 入れ子に取り付けられた角材を外し、フェルトを貼り付け。
- 額縁の擦れなどに、アクリル絵の具で補彩。
- T字金具で額縁と作品を固定。
- 裏蓋としてレキサンポリカーボネート板を設置。
- 耐荷重の高い吊り金具に新調。

#### ◆鎌田正蔵「祝日B」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：1966（昭和41）年

寸法：169.3×104.2cm

修復者：（有）修復研究所 21

#### 修復前の状況

- 1995年に同研究所で修復されている。
- ケトン樹脂にマイクロクリスタリンワックスを加えたワニス塗布されている。
- 背景の白色には全体に光沢があるが、中央の彩色部には光沢のむらが生じている。
- 背景の白色部分には、1995年時と同様、四隅を中心に弧を描くように全体に亀裂が生じている。
- 赤色、オレンジ色、紫色、黄緑色などの彩色部に、亀裂に伴った浮き上がりが生じている。
- オレンジ色部分は1995年にはほとんど浮き上がりは見られなかったが、現在は多数の著しい浮き上がりが生じている。
- 旧処置によって接着された箇所では、灰色や黄色は現在も固着が良好だが、赤色・黄緑色部分は再び浮き上がりが生じている。
- 支持体は、既製の画布がラワン材の既製木枠に張られている。
- 地塗り層が非常に薄く、固着が弱いため、絵具層の浮き上がりは麻布と地塗り層間で生じている。
- 1995年に打ち付け式の棒縁が新調されたが、吊り金具を取り付けた部分に、左右ともに割れが生じている。

#### 修復内容

- 破損部・剥落部周縁の絵具層の浮き上がり箇所に膠水を注し入れ緩衝剤とし、膠水では接着できなかった箇所については、パラロイドB 72 キシレン溶液を用いて固着を強化。
- 希アンモニア水溶液を含ませた麴棒で画面全体を洗浄。
- 支持体裏面の清掃、殺菌（エタノール水）。
- 絵具層の欠損部を、強化ワックスに炭酸カルシウムを加えた充填剤で整形。
- 充填箇所を、溶剤型アクリル樹脂絵具で補彩。
- ダンマル樹脂ワニスを塗布し、光沢を調整。
- 旧吊り金具を除去、木枠部分に新たにステンレス製の吊り金具を取り付け。
- 絵具層の浮き上がりについては、画布の地塗り層の脆弱さに起因すると考えられるため、要経過観察。

#### ◆原撫松「霧の広場」

技法材質：油彩・キャンバス

制作年：1906（明治39）年

寸法：91.7×71.1cm

修復者：（有）修復研究所 21

##### 修復前の状況

- 旧ワニスが全体に、少なくとも2層塗布されている。
- 旧ワニスの劣化が著しく、褐色化が進み鑑賞を大きく妨げている。
- 絵具層には広範囲に亀裂が生じ、亀裂に伴った浮き上がりも見られる。
- 過去に画布の破れが生じ、処置されているが、不完全であり、危険な状態かつ鑑賞の妨げにもなっている。
- 左右両端の茶色の線は下塗りの色と考えられる。
- 支持体裏面には油性の染み跡が見られる。亀裂が生じた後に塗布されたワニスが亀裂から染み出た跡と推察される。
- 額縁の状態は良好。

##### 修復内容

- 浮き上がり接着（膠水、加温加圧）。
- 画面洗浄（精製水）。旧ワニス除去（セロソルブ）
- 支持体裏面の清掃、殺菌（エタノール水）。
- 旧処置を刃物などで削り除去。
- 支持体の破れに麻布をあてがい、膠水で接着補強。
- 支持体の張りしろ部裏面に、麻布をBEVAシートで接着。
- 絵具層の剥落部分を充填整形。
- 充填箇所や絵具の擦れた部分に、溶剤型アクリル樹脂絵具で補彩。
- ダンマル樹脂ワニスを塗布し、光沢を調整。
- T字金具で額縁と作品を固定。
- 裏蓋としてレキサソボリカーボネイト板を設置。
- 耐荷重の高い吊り金具に新調。

#### ◆岸田劉生「男之像」

技法材質：水彩、コンテ・紙

制作年：1919（大正8）年

寸法：34.0×39.1cm

修復者：（有）修復研究所 21

##### 修復前の状況

- 支持体には、細やかな凹凸のある、クリーム色の洋紙を使用している。経年による黄ばみがある。
- 全体に緩やかな波打状の変形が生じている。上下辺に画鋏穴がある。
- 四辺の切断は、右辺以外は直線ではなく歪な線となっており、左下角は欠損している。
- 上辺及び左辺に折れ跡がある。折り込まれていた左辺の裏側以外は、裏面に黄化が見られる。
- 水彩で着色した上から、黒色のコンテ（またはパステル）のような描画剤を用いて陰影を付けている。
- 上辺および左辺の折れ跡部分に絵具の剥落がある。
- 作品は木製のウインドーマットの裏側に、三角コーナーで固定、マットを挟み合板の裏蓋で閉じられていた。

##### 修復内容

- グレージングをガラスから低反射アクリル（オプティウム・ミュージウム・アクリル）へ新調。
- Book型布張りマット新調。
- 和紙ヒンジとカルボキシメチルセルロースを用いて、作品をBook型マットのベースマット側に固定。
- 泥足部分に付着していた水貼りテープを除去、裏蓋としてポリカーボネイト板（レキサソボインカーボ）を取り付け、ステンレソボで固定。

## V 利用者数

美術館総利用者数 65,965 人

### 1) 展覧会 54,115 人

展覧会観覧者数

(人)

展覧会	会期	日数	観覧者数
フジフィルム・フォトコレクション展	平成31年4月20日～令和元年6月23日	57	5,110
くまのパディントン™展	令和元年7月6日～9月8日	56	12,325
志村ふくみ展	令和元年9月21日～11月4日	38	4,959
クリストファー・ドレッサーと正倉院宝物	令和元年11月16日～令和2年1月26日	56	6,207
石田智子展	令和2年3月1日～3月31日(～4月19日)	26	4,472
企画展小計			33,073
常設展	平成31年4月2日～令和2年3月31日	279	2,997
企画展観覧券で常設展も観覧した人数		230	18,045
合計			54,115

(内訳)

(人)

		企画展計	フジフィルム・ フォトコレクション展	くまの パディントン™展	志村ふくみ展	クリストファー・ドレッサー と正倉院宝物	石田智子展	常設展	企画展観覧券で 常設展も観覧 した人数	
有料	個人	一般	12,842	2,293	4,713	1,765	2,215	1,856	834	7,047
		高・大	671	99	331	38	70	133	81	410
		65歳以上	6,859	1,221	811	1,486	1,949	1,392		3,264
		計	20,372	3,613	5,855	3,289	4,234	3,381	915	10,721
	団体	一般	140	8	81	33	15	3	31	118
		高・大	198	38	159	1	0	0	7	124
		65歳以上	277	30	110	62	75	0		277
		計	615	76	350	96	90	3	38	519
	友の会	一般	413	84	96	100	90	43	22	148
		高・大	25	5	5	4	6	5	3	12
		65歳以上	429	74	67	96	126	66		127
		計	867	163	168	200	222	114	25	287
小計		21,854	3,852	6,373	3,585	4,546	3,498	978	11,527	
無料	高齢者							664		
	シルバー=友の会							7		
	一般							235		
	高・大							6		
	中学生以下(個人)	2,154	107	1,637	75	139	196	162	962	
	中学生以下(団体)	2,834	156	2,272	388	18	0	788	2,787	
	減免	249	106	78	46	19	0	18	184	
	ピラ下券	2,149	356	727	300	541	225		826	
	招待券	938	112	313	184	218	111		407	
	関係者	1,043	132	347	137	207	220	79	519	
	障がい者	950	174	237	145	273	121	21	493	
	療育/精神	435	51	195	36	115	38	22	133	
	同伴者	467	64	146	63	131	63	17	207	
	小計	11,219	1,258	5,952	1,374	1,661	974	2,019	6,518	
合計		33,073	5,110	12,325	4,959	6,207	4,472	2,997	18,045	

## 2) 教育普及事業 11,850人

事業名	回数	参加者数	備考
アート・トーク	3	248	
講演会	5	376	
美術講座	5	172	
ギャラリートーク	18	470	
ワークショップ	4	160	
ミュージアム・シアター	4	316	
グリーティング・イベント	4	222	
風土記の丘の美術展	1	4,304	6日×5期 令和元年7月15日～8月18日
風土記の空	1	1,793	令和元年11月19日～12月24日
鑑賞学習対応	-	3,780	幼稚園4園、小学校12校、中学校25校、高校4校、大学・専門学校他2校 計47校
博物館実習	1	5	期間 令和元年7月31日～8月10日
ジュニア・インターンシップ	2	4	期間 令和元年10月9日～11日、11月12日～14日
合計	48	11,850	

### 3) 過去5年間の利用者数推移状況

年 度	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	
総利用者数(人)	100,056	111,342	42,039	104,151	65,965	
展覧会	展覧会観覧者数(人)	82,202	87,516	33,313	89,305	54,115
	企画展本数(本)	5	6	2	3	5
普及事業	普及事業参加者数(人)	17,854	19,036	8,726	14,846	11,850
	普及事業回数(回)	52	57	62	58	48

### 4) 教育普及事業別参加者数推移状況

年 度	平成27 (2015)年度	平成28 (2016)年度	平成29 (2017)年度	平成30 (2018)年度	令和元 (2019)年度	主な使用場所	
アート・テーク	参加者数(人)	551	593	239	395	248	多目的スタジオ、 講義室など
	回数	6	6	3	4	3	
講演会	参加者数(人)	526	493	143	482	376	多目的スタジオ
	回数	6	5	3	4	5	
美術講座	参加者数(人)	280	394	42	482	172	講義室、多目的スタ ジオ
	回数	6	9	4	9	5	
ギャラリートーク	参加者数(人)	375	499	66	208	470	企画展示室
	回数	10	17	4	8	18	
ワークショップ	参加者数(人)	322	197	253	107	160	多目的スタジオ、 講義室、階段ホール、 ロビーなど
	回数	10	7	10	4	4	
ミュージアム シアター	参加者数(人)	850	593	67	181	316	多目的スタジオ
	回数	9	8	2	2	4	
ミュージアム コンサート	参加者数(人)	185	180	150	630		多目的スタジオ、 階段ホールなど
	回数	1	1	1	2		
グリーティング・ イベント	参加者数(人)	0	0	0	0	222	企画展示室前
	回数	0	0	0	0	4	
風土記の丘の 美術展	参加者数(人)	6,757	9,410	3,335	5,431	4,304	ロビー
	回数	1	1	1	1	1	
風土記の空	参加者数(人)	2,923	6,608	0	2,351	1,793	ロビー
	回数	1	1	0	1	1	
鑑賞学習対応	参加者数(人)	5,080	4,845	3,325	3,773	3,780	企画展示室、常設 展示室、多目的スタ ジオなど
	受入れ校数	59	55	48	50	47	
博物館実習	参加者数(人)	4	5	5	5	5	講義室など
	受入れ校数	4	4	3	3	5	
ジュニア・ インターンシップ	参加者数(人)	1	9	3	3	4	講義室など
	受入れ校数	1	2	2	2	2	

## VI 管理運営

### 1) 関係法規

#### 郡山市立美術館条例

##### 【設置】

**第1条** 地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条第1項及び博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

##### 【名称及び位置】

**第2条** 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市立美術館	郡山市安原町字大谷地130番地の2

##### 【管理】

**第3条** 郡山市立美術館（以下「美術館」という。）は、郡山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が、これを管理する。

##### 【事業】

**第4条** 美術館の事業は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 美術品その他美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会及び映写会等を開催すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業を行うこと。

（平22条例78・一部改正）

##### 【観覧料】

**第5条** 美術館の常設展（美術品等の常設展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする者は、別表第1に定める常設展観覧料を納入しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、常設展観覧料を無料とする。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日に観覧する場合
  - (2) 次項に定める企画展を観覧する場合
- 2 美術館の企画展（常設展以外の展示をいう。以下

同じ。）を観覧しようとする者は、別表第2に定める企画展観覧料を納入しなければならない。

（平10条例35・一部改正）

##### 【撮影等の許可及び特別観覧料】

**第6条** 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術品等の撮影、模写又は模造等（以下「撮影等」という。）をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める特別観覧料を納入しなければならない。

##### 【観覧料等の不返還】

**第7条** 既納の常設展観覧料、企画展観覧料及び特別観覧料（以下「観覧料等」という。）は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなかったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

##### 【観覧料等の免除】

**第8条** 市長は、公用又は公益上特に必要があると認めるときは、観覧料等の全部又は一部を免除することができる。

##### 【入館の制限等】

**第9条** 次の各号のいずれかに該当するときは、教育委員会は、美術館への入館を拒み、又は退館させることができる。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 施設、設備又は美術品等をき損又は汚損するおそれがあると認めるとき。
- (3) この条例及びこれに基づく規則に違反し、又はそのおそれがあると認めるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、管理運営上適当でないとき。

（平22条例78・一部改正）

【賠償責任】

第10条 施設、設備又は美術品等をき損、汚損、又は滅失した者は、教育委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し又は免除することができる。

(平22条例78・一部改正)

【美術館協議会】

第11条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に郡山市立美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10名以内とし、その任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例31・一部改正)

【職員】

第12条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

【委任】

第13条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、平成4年7月1日から施行する。ただし、第5条から第9条の規定は、平成4年11月21日から施行する。

附 則（平成10年郡山市条例第35号）

この条例は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第5条第1号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成13年郡山市条例第31号）

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成15年郡山市条例第25号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成22年郡山市条例第78号）

（施行期日）

1 この条例は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日前に撮影等の許可を受けた者に係る特別観覧料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成24年郡山市条例第31号）

（施行期日）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際にこの条例による改正前の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員である者は、この条例による改正後の郡山市立美術館条例の規定に基づく郡山市立美術館協議会の委員とみなす。

附 則（平成30年郡山市条例第41号）

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

別表第1 【第5条関係】

（平10条例35・平13条例31・平22条例78・一部改正）  
常設展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき 100円	1人1回につき 70円
一 般	1人1回につき 200円	1人1回につき 150円

備考

- 「団体」とは、20名以上をいう。
- 65歳以上の者は、無料とする。

別表第2 【第5条関係】

（平13条例31・平15条例25・平30条例41・一部改正）  
企画展観覧料

区 分	観 覧 料	
	個人	団体
高校生、大学生及びこれらに準ずる者	1人1回につき1,500円の範囲内でそのつと市長が定める額	
一 般		

備考

- 「団体」とは、20名以上をいう。
- 団体観覧料は、個人観覧料の10分の8に相当する額とし、10円未満の端数が生じた場合は、これを10円に切り上げる。



### 別表第3【第6条関係】

(平22条例78・一部改正)

#### 特別観覧料

区 分		観 覧 料	
撮影	モノクローム	1点1回につき	1,600円
	カラー	1点1回につき	3,100円
模 写 模 造		1点1日につき	2,100円
熟 覧		1点1回につき	200円

#### 備考

- 1 一双屏風は、一双以内を1点とする。
- 2 一揃えの卷子（巻物をいう。）は、一揃え以内を1点とする。
- 3 対幅は、対幅以内を1点とする。
- 4 写真撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

## 郡山市立美術館条例施行規則

### 【趣旨】

**第1条** この規則は、郡山市立美術館条例（平成4年郡山市条例第29号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

### 【観覧券の交付】

**第2条** 郡山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、常設展観覧料を納入した者に対して郡山市立美術館常設展観覧券（第1号様式）を、企画展観覧料を納入した者に対してそのつど定める郡山市立美術館企画展観覧券を交付する。

### 【撮影等の許可】

**第3条** 美術品その他美術に関する資料の撮影、模写又は模造等（以下「撮影等」という。）をしようとする者は、郡山市立美術館撮影等許可申請書（第2号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する撮影等を許可したときは、郡山市立美術館撮影等許可書（第3号様式）を申請人に交付する。

### 【観覧料等の返還】

**第4条** 条例第7条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧又は撮影等をしようとする者の責めによらない理由により、観覧又は撮影等ができなくなった場合 当該観覧料等の全額

(2) その他教育委員会が特別の理由があると認めた場合 教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市立美術館観覧料等返還請求書（第4号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

### 【観覧料等の免除】

**第5条** 条例第8条に規定する観覧料等の免除は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 市（市の機関を含む。）が主催する事業の活動として常設展を観覧する場合 常設展観覧料を全部免除

(2) その他教育委員会が観覧料等を免除することが適当と認める場合 教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市立美術館観覧料等免除申請書（第5号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請に基づき観覧料等の免除を決定したときは、郡山市立美術館観覧料等免除決定通知書（第6号様式）を申請人に交付する。

### 【開館時間】

**第6条** 郡山市立美術館（以下「美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたとときは、これを変更することができる。

### 【休館日】

**第7条** 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたとときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。）

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

### 【遵守事項】

**第8条** 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、設備、美術品等をき損若しくは汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

- (2) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (4) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (5) その他職員の指示に従うこと。

#### 【委任】

**第9条** この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

#### 附 則

この規則は、平成4年11月21日から施行する。

附 則（平成6年教委規則第3号）  
（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。  
（経過措置）

2 この規則の施行の際、現に様式の規定に基づいて作成されている用紙は、この規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則（平成15年教委規則第4号）

- 1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前の様式の規定により作成されている用紙は、改正後の規則の様式の規定にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

### 郡山市立美術館協議会規則

#### 【趣旨】

**第1条** この規則は、郡山市立美術館協議会（以下「協議会」という。）の会議運営について必要な事項を定めるものとする。

#### 【招集】

- 第2条** 協議会は、郡山市立美術館長（以下「館長」という。）が招集する。
- 2 会議開催の場所及び日時は、付議すべき事項とともに、あらかじめ委員に通知しなければならない。

#### 【定例会及び臨時会】

- 第3条** 協議会は、定例会及び臨時会とする。
- 2 定例会は年2回とし、臨時会は必要があるときに招集する。

#### 【会長及び副会長】

**第4条** 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長及び副会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

#### 【職務】

- 第5条** 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

#### 【会議】

- 第6条** 協議会は、委員の過半数で成立する。
- 2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長が決する。

#### 【庶務】

**第7条** 協議会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

#### 【委任】

**第8条** この規則に定めるもののほか、協議会の会議に必要な事項は、会長が定める。

#### 附 則

この規則は、平成4年7月1日から施行する。

### 郡山市美術品収集評価委員会設置要綱

#### 【設置】

**第1条** 郡山市が美術品を収集するため、その適正な評価等を行うに当たり、有権者の意見を聴くために開催する郡山市美術品収集評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

#### 【委員会の役割】

- 第2条** 会議は次の事項について意見交換を行う。
- (1) 美術品の選定評価に関すること。
  - (2) 美術品の寄託又は、寄贈に関すること。
  - (3) 美術品選定のための資料の収集その他専門的な事項に関すること。

#### 【委員会の構成】

- 第3条** 委員会の委員は、8名以内とし、美術に関する専門的知識を有する者のうちから教育長が依頼する。
- 2 委員の依頼期間は、2年以内とする。
- 3 委員会に座長を置き、委員の互選により定める。

【会議】

- 第4条 委員会の会議は、教育長が招集する。
- 2 会議は、座長が進行する。
- 3 座長に事故あるときは、あらかじめ座長の指名する者が会議を進行する。

【庶務】

- 第5条 委員会の庶務は、郡山市立美術館において処理する。

【委任】

- 第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、昭和63年6月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年7月1日から施行する。

## 2) 名簿・組織（平成31年度・令和元年度）

### 郡山市立美術館協議会

◎会長 ○副会長

（任期：平成30年6月1日～令和2年5月31日）

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 鈴木 亨尚  | 郡山市立御代田小学校長             |
| 佐藤 士郎  | 郡山市立守山中学校長              |
| 矢森 健一  | 福島県立あさか開成高等学校長          |
| 馬場 典枝  | FMいわきパーソナリティ            |
| ○宗像 利訓 | 本郷焼・宗像窯9代目              |
| 高澤 俊郎  | 福島県立郡山支援学校講師            |
| 中村亞都子  | 学校法人尚志学園高等学校講師          |
| ◎荒木 康子 | 福島県立美術館学芸課長             |
| 瀬谷 賢次  | 福島交通株式会社郡山支社長           |
| 古川 文子  | 「幼稚園等新規採用教員研修」<br>研修指導員 |

### 郡山市立美術館職員

- |          |        |
|----------|--------|
| 館長       | 佐治 ゆかり |
| 主幹兼副館長   | 佐藤 秀彦  |
| 主幹兼総務課長  | 神 彰    |
| 総務課主査    | 田母神知恵  |
| 総務課主任学芸員 | 佐々木直人  |
| 学芸課長     | 鈴木 誠一  |
| 学芸課主任主査  | 菅野 洋人  |
| 学芸課主任主査  | 中山 恵理  |
| 学芸課主任主査  | 杉原 聡   |
| 学芸課主任主査  | 永山多貴子  |
| 学芸課主任学芸員 | 富岡 進一  |
| 学芸員      | 田中有沙子  |
| 学芸員      | 新田 量子  |

### 郡山市美術品収集評価委員会

（平成元年7月1日に郡山市美術品収集評価選定委員会から改称）

◎会長 ○副会長

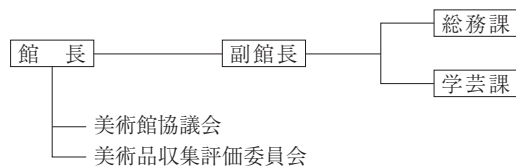
（任期：平成29年7月1日～令和元年6月30日）

- |        |                |
|--------|----------------|
| ◎金子 賢治 | 茨城県陶芸美術館長      |
| 齋藤美保子  | 郡山女子大学短期大学部教授  |
| ○古田 亮  | 東京芸術大学大学美術館准教授 |
| 早川 博明  | 福島県立美術館長       |
| 猿渡紀代子  | （公財）三溪園保勝会副理事長 |
| 吉田 尊子  | 岩手県立美術館学芸普及課長  |
| 濱崎 礼二  | 宮城県美術館学芸部長     |
| 杉村 浩哉  | 栃木県立美術館技幹兼学芸課長 |

（任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日）

- |       |                |
|-------|----------------|
| 唐澤 昌宏 | 東京国立近代美術館工芸課長  |
| 齋藤美保子 | 郡山女子大学短期大学部副学長 |
| 古田 亮  | 東京芸術大学大学美術館准教授 |
| 早川 博明 | 福島県立美術館長       |
| 猿渡紀代子 | （公財）三溪園保勝会副理事長 |
| 吉田 尊子 | 岩手県立美術館学芸普及課長  |
| 濱崎 礼二 | 宮城県美術館副館長兼学芸部長 |
| 杉村 浩哉 | 栃木県立美術館技幹兼学芸課長 |

### ■組織図



### 3) 建築設備概要・平面図・面積表

■敷地面積	38,420.24㎡
[ 建築概要 ]	
■建築面積	3,776.52㎡
■建築床面積	6,848.37㎡
■駐車場面積	3,300㎡ 収容台数 乗用車 123 台 バス 8 台
■構造及び規模	鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階
■仕上	
外壁	杉小幅板本実化粧型枠ホワイトコンクリート打放し
屋根	ステンレス鋼板フッ素樹脂加工
サッシ	アルミ電解二次着色
	カーテンウォール爪かけバックマリオン方式ペアガラス（二面サンドブラスト加工）
展示室壁	不燃クロス貼ベンキ拭取仕上げ
展示室床	木製フローリング（ホワイトオーク）
■設計	（株）TAK 建築・都市計画研究所
■設計協力	
基本計画・ガラスデザイン	川上喜三郎
木製家具デザイン	（株）方圓館 坂本和正
サインデザイン	永原浄デザイン研究所 永原浄
造園	（株）和泉屋・石のアトリエ 和泉正敏
■施工	
主体工事	大林・東洋特定建設工事共同企業体
電気工事	（株）ユアテック郡山営業所
空調調和建設工事	高砂・菱和特定建設工事共同体
情報防火設備工事	（株）ニノテック
給排水設備工事	東北設備工業（株）
昇降機設置工事	フジテック（株）仙台営業所
■工期	着工：1990（平成2）年12月18日 竣工：1992（平成4）年6月30日
■建築費	40億円

#### [ 設備概要 ]

■電気設備	
受電	3相3線、6KV、50Hz
変圧器	電灯：単相3線、210/15V、100KVA×3 動力：3相3線、210V、500KVA×2、300KVA×2
蓄電池	シール形鉛蓄電池 100AH/10HR
非常用発電機	ディーゼルエンジン 228PS、出力 3相 200V、180KVA
照明設備	白熱灯、高輝度放電灯、蛍光灯、LED スポットライト、直管式 LED
■情報防災設備	
防災設備	自動火災報知機、防排煙、非常放送、誘導灯
防犯設備	ITV 監視装置（監視カメラ、14型カラーモニター・四分割型）
その他	視聴覚設備、放送設備、中央監視設備

## ■空気調和設備

### 熱源設備

空冷ヒートポンプチラー（圧縮機 50KW）4 台

暖房能力：524KW、冷房能力：724KW

水冷チラー（圧縮機 40KW）

暖房能力：198KW、冷房能力：157KW

### 空調設備

4管式恒温恒湿制御方式（収蔵庫系統）、4管式再熱制御方式（展示室系統）

VAV 方式（普及部門諸室系統）

外調機+ファンコイルユニット方式（事務管理諸室系統）

空調機+ファンコイルユニット方式（エントランスホール・ロビー系統）

### その他

自動制御設備、換気設備、機械排煙設備

## ■給排水設備

### 給水設備

圧力給水方式 受水槽 10m<sup>3</sup>、副受水槽 1.5m<sup>3</sup>

### 給湯設備

電気温水器（貯湯量 224ℓ、10KW）電気湯沸器（貯湯量 40ℓ、4KW）

### 消火設備

屋内消火栓、連結散水設備、ハロンガス消化設備（収蔵庫）

## ■くん蒸設備

常圧・減圧兼用式 4.0m<sup>3</sup>、ミニガスベンベ脱着方式

## ■昇降機設備

### 乗用

750Kg、11 人乗り（車椅子対応）

### 荷物用

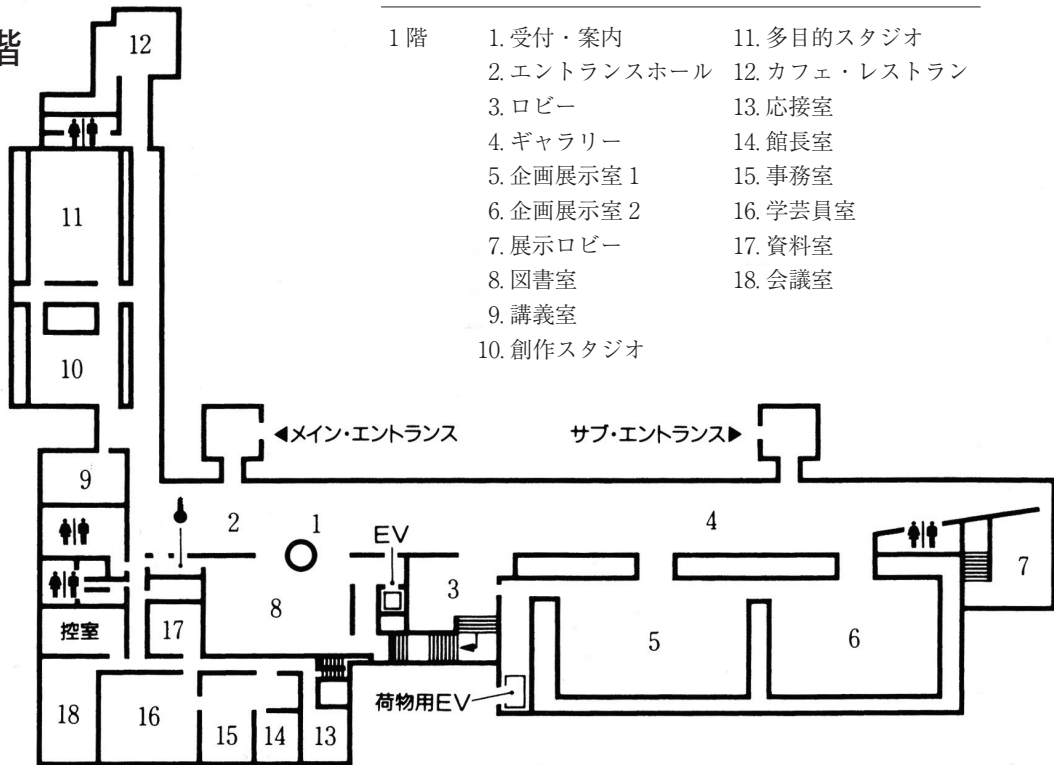
3,000 Kg、油圧加速制御

### テーブルリフター

2,000 Kg

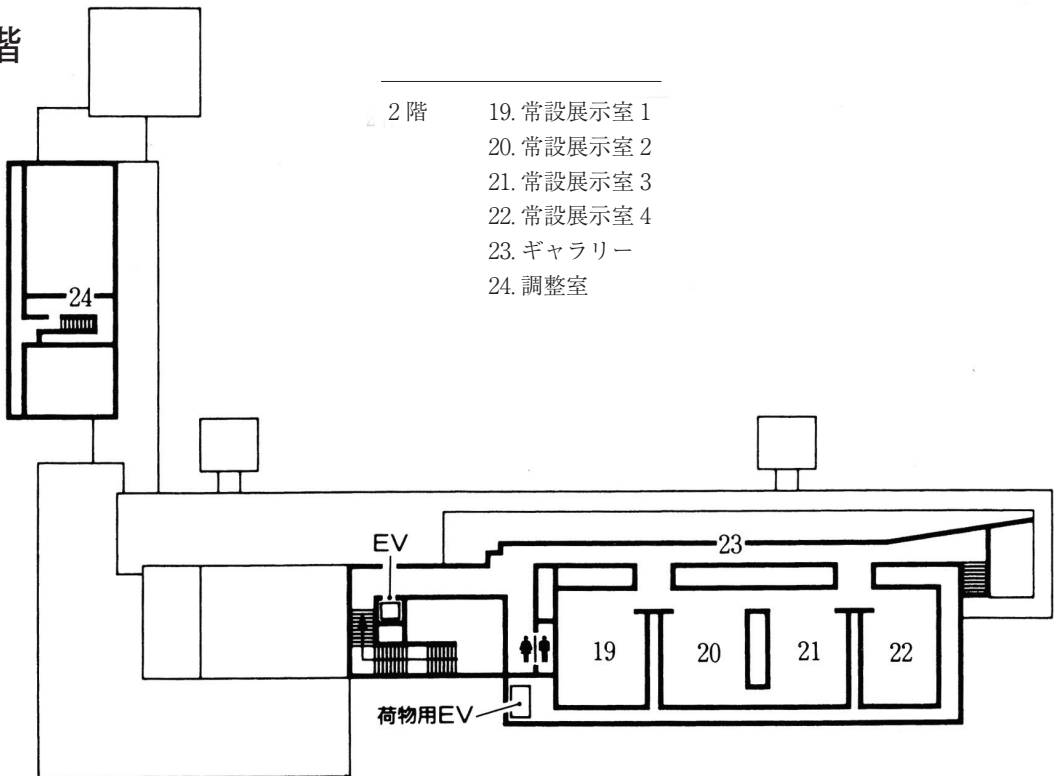
■平面図・面積表

1階



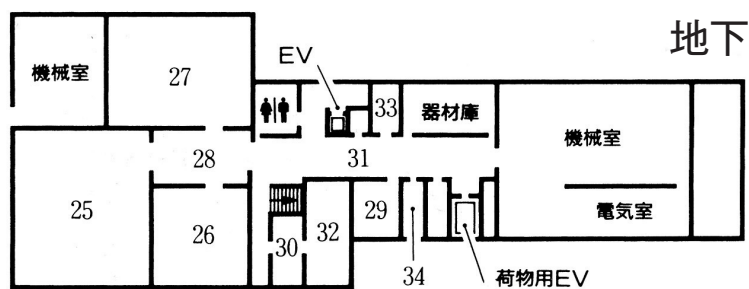
- |    |              |               |
|----|--------------|---------------|
| 1階 | 1. 受付・案内     | 11. 多目的スタジオ   |
|    | 2. エントランスホール | 12. カフェ・レストラン |
|    | 3. ロビー       | 13. 応接室       |
|    | 4. ギャラリー     | 14. 館長室       |
|    | 5. 企画展示室 1   | 15. 事務室       |
|    | 6. 企画展示室 2   | 16. 学芸員室      |
|    | 7. 展示ロビー     | 17. 資料室       |
|    | 8. 図書室       | 18. 会議室       |
|    | 9. 講義室       |               |
|    | 10. 創作スタジオ   |               |

2階



- |    |             |
|----|-------------|
| 2階 | 19. 常設展示室 1 |
|    | 20. 常設展示室 2 |
|    | 21. 常設展示室 3 |
|    | 22. 常設展示室 4 |
|    | 23. ギャラリー   |
|    | 24. 調整室     |

- 地下
- 25. 収蔵庫 1
  - 26. 収蔵庫 2
  - 27. 収蔵庫 3
  - 28. 収蔵庫前室
  - 29. 修復室
  - 30. 中央監視室
  - 31. 荷解場
  - 32. トラックヤード
  - 33. くん蒸室
  - 34. 清掃員室



部門名	面積	階	室名	面積
展示部門	2,330.38 m <sup>2</sup>	2	常設展示室 1~4	932.51 m <sup>2</sup>
		1	企画展示室 1~2、展示ロビー	1,333.24 m <sup>2</sup>
		B1・1	器材庫、エレベーター前室	64.63 m <sup>2</sup>
収蔵部門	1,040.28 m <sup>2</sup>	B1	収蔵庫 1~3	618.35 m <sup>2</sup>
		B1	収蔵庫前室	61.48 m <sup>2</sup>
		B1	器材庫	69.25 m <sup>2</sup>
		B1	荷解場	238.71 m <sup>2</sup>
		B1	くん蒸室	19.10 m <sup>2</sup>
		B1	修復室	33.39 m <sup>2</sup>
教育普及部門	570.34 m <sup>2</sup>	1	多目的スタジオ	196.42 m <sup>2</sup>
		1	創作スタジオ	122.40 m <sup>2</sup>
		1	講義室	56.87 m <sup>2</sup>
		1	図書室 (ビデオコーナーを含む)	194.65 m <sup>2</sup>
研究研修部門	117.45 m <sup>2</sup>	1	学芸員室	117.45 m <sup>2</sup>
管理部門	852.19 m <sup>2</sup>	B1	中央監視室	24.22 m <sup>2</sup>
		B1	機械室	520.43 m <sup>2</sup>
		1	事務室	79.85 m <sup>2</sup>
		1	館長室	32.48 m <sup>2</sup>
		1	会議室	73.92 m <sup>2</sup>
		1	応接室	38.10 m <sup>2</sup>
		B1・1	控室	54.52 m <sup>2</sup>
		1	資料室	28.67 m <sup>2</sup>
サービス部門	702.62 m <sup>2</sup>	1	エントランスホール	222.77 m <sup>2</sup>
		1	ギャラリー	344.72 m <sup>2</sup>
		1	ロッカールーム	16.69 m <sup>2</sup>
		1	カフェ・レストラン	118.44 m <sup>2</sup>
その他	1,235.11 m <sup>2</sup>	B1・1・2	廊下、階段、便所、その他	1,235.11 m <sup>2</sup>
計	6,848.37 m <sup>2</sup>			6,848.37 m <sup>2</sup>

## 4) 利用案内

### ■所在地

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地 130-2

Tel : 024-956-2200 Fax : 024-956-2350

E-mail : bijutsukan@city.koriyama.lg.jp

ホームページ

<https://www.city.koriyama.lg.jp/bijutsukan/>

### ■開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

### ■休館日

毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

### ■交通案内

●郡山駅から美術館まで約 4km

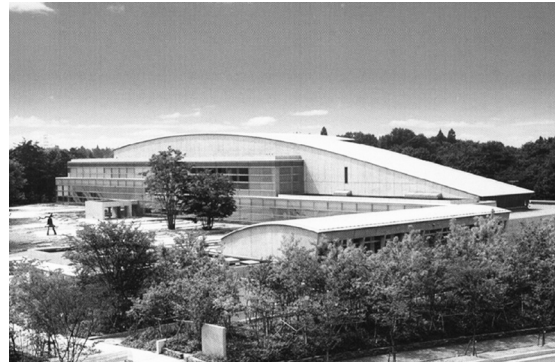
●乗用車 駐車場 (123 台、バス 8 台収容・料金は無料)

●バス

郡山駅前 5 番のりばから『美術館経由 東部ニュータウン行』乗車、「郡山市美術館」下車すぐ。(所要時間 10 分)

### ■観覧料

	常設展		企画展	
	個人	団体 (20名以上)	個人	団体 (20名以上)
一般	200円	150円	規模・内容等に応じて、 その都度定めた額	
高大生	100円	70円		
65歳以上	無料		無料	
中学生以下			無料	
障害者手帳をお持ちの方			無料 (手帳を提示)	



## 郡山市立美術館年報

平成31年度・令和元年度

令和2年7月10日発行

### 発行 郡山市立美術館

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2

TEL 024-956-2200 FAX 024-956-2350

E-mail bijutsukan@city.koriyama.lg.jp